

令和 3 年度

平群町政策基本体系表

令和 4 年 8 月

平群町政策基本体系表について

1 はじめに

平群町では、平成19年度より「行政評価」の一環として、“PDCA”マネジメントサイクル(P:Plan計画立案、D:Do実施、C:Check検証、A:Action見直し)での行政運営を行うため、各課所管の全事務事業を対象に事務事業評価を実施し、「平群町政策基本体系表」を作成しています。

本体系表は、令和3年度に実施した事業の事務事業評価について、概要を取りまとめたものです。

2 平群町政策基本体系表の目的

「平群町政策基本体系表」は、行政活動(行政サービス)などの事務事業を体系別に分類し、個々の事業を自ら点検(行政評価)し、その結果を今後の「予算」や「平群町総合計画」及び「住民意識調査」に反映させるとともに、住民の皆さまに説明していくことを目的としています。

これは、職員が住民の視点に立って、事務事業が何の目的で誰のために行っているのかを明確にし、その成果は何か、本当に望んでいるものなのかを検討し、公表することにより、行政の責任と信頼の向上を図り、各事務事業の現状を認識し、課題や改善方策を検討するなど、効果的で効率的な行政運営を目指すものです。

【目的】

①効果的かつ効率的な行政運営に資すること

- ・職員の意識改革の推進(例えば、成果・コストなどへの気づき)や、政策形成能力の向上(達成度による評価と企画立案能力)が期待され、効率性の高い行政サービスの実現が図られる。
- ・施策や事業の成果志向が高まることで、施策・事業の重点化が図られ、結果重視の行政運営が進められる。

②住民に対する説明責任を全うすること

- ・住民への情報公開が進み説明責任が高まり、住民参加型の行政が推進される。

3 評価対象

令和3年度平群町予算書に計上されている予算を基本に、原則として、全事務事業を対象にしています。(一般会計・特別会計すべて)「予算書における事業別予算(目)」と「政策体系表」との区分を一致させるため、各事務事業ごとに予算科目(款項目)を一致させています。

「平群町政策基本体系表 目次」

頁	事務・事業名	主務担当課	予算科目			
			款	項	目	目の名称
1	令和3年度新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金実施事業					
2						
3	議会広報事業（議会だより）	議会事務局	1	1	1	議会費
4	議会インターネット中継	議会事務局	1	1	1	議会費
5	議会報告会	議会事務局	1	1	1	議会費
6	職員の資質向上と人材育成	総務防災課	2	1	1	一般管理費
7	業者格付・業者選定・指名願の受付	総務防災課	2	1	1	一般管理費
8	広報広聴事業（広報紙/ホームページ）	政策推進課	2	1	2	文書広報費
9	各種伝票処理	会計課	2	1	3	会計管理費
10	公金管理及び資金運用	会計課	2	1	3	会計管理費
11	予算執行管理（決算書等の作成）	会計課	2	1	3	会計管理費
12	公共施設の総合管理	政策推進課	2	1	4	財産管理費
13	ふるさと納税事業	政策推進課	2	1	6	企画費
14	緊急財政健全化の取り組み	政策推進課	2	1	6	企画費
15	総合計画・総合戦略（人口ビジョン）	政策推進課/ まち未来推進室	2	1	6	企画費
16	定住促進奨励金交付事業	政策推進課/ まち未来推進室	2	1	6	企画費
17	公平委員会業務	監査委員事務局	2	1	7	公平委員会費
18	交通安全対策	住民生活課	2	1	8	交通対策費
19	防犯対策事業	住民生活課	2	1	9	防犯対策費
20	住民協働事業（自治会及 NPO 等との連携）	政策推進課	2	1	10	自治振興費
21	防災体制の充実	総務防災課	2	1	11	防災諸費
22	防災行政無線の運用	総務防災課	2	1	11	防災諸費
23	非常用食料等の防災備蓄	総務防災課	2	1	11	防災諸費
24	コミュニティバス推進事業	総務防災課	2	1	24	コミュニティバス推進事業
25	情報基盤整備事業	政策推進課	2	1	25	情報政策費
26	地域公共交通連携事業	総務防災課	2	1	27	デマンド運行推進事業費
27	住民税等課税業務	税務課	2	2	2	賦課徴収費
28	固定資産税課税業務	税務課	2	2	2	賦課徴収費
29	徴収対策業務	税務課	2	2	2	賦課徴収費
30	住宅新築資金等貸付償還業務	税務課	住宅新築資金等貸付事業特別会計			
31	固定資産評価審査委員会業務	監査委員事務局	2	2	3	固定資産評価審査委員会
32	住民基本台帳事務	住民生活課	2	3	1	戸籍住民基本台帳費
33	戸籍事務	住民生活課	2	3	1	戸籍住民基本台帳費
34	監査業務	監査委員事務局	2	6	1	監査委員費
35	民生児童委員業務	福祉こども課	3	1	1	社会福祉総務費
36	国民健康保険事業	健康保健課	国民健康保険特別会計			
37	地域包括支援センター	福祉こども課	3	1	2	老人福祉費
38	介護保険事業	福祉こども課	介護保険特別会計			

頁	事務・事業名	主務担当課	予算科目			
			款	項	目	目の名称
39	緊急通報サービス事業	福祉こども課	介護保険特別会計			
40	食の自立支援サービス	福祉こども課	介護保険特別会計			
41	障害福祉事業	福祉こども課	3	1	4	障害者福祉費
42	子ども等医療費助成事業	健康保険課	3	1	9	福祉医療費
43	プリズムへぐり管理業務	健康保健課	3	1	32	プリズムへぐり管理費
44	後期高齢者医療制度	健康保健課	後期高齢者医療特別会計			
45	住民税非課税世帯等に対する臨時特別給付金	福祉こども課	3	1	38	住民税非課税世帯等に対する臨時特別給付金支援事業費
46	支援対象児見守り強化事業	福祉こども課	3	2	1	児童福祉総務費
47	町外保育事業	福祉こども課	3	2	1	児童福祉総務費
48	西和地域病児保育	福祉こども課	3	2	1	児童福祉総務費
49	子育て世帯等生活支援特別給付金事業	福祉こども課	3	2	2	児童措置費
50	児童手当支給事業	福祉こども課	3	2	2	児童措置費
51	子育て家庭の拠点づくり(子育て支援センター)	福祉こども課	3	2	7	子育て支援センター管理費
52	親育ち・子育て支援の充実(子育て支援センター)	福祉こども課	3	2	7	子育て支援センター管理費
53	放課後児童健全育成事業	教育委員会	3	2	8	学童保育運営費
54	幼保連携型認定こども園事業	教育委員会	3	2	11	こども園費
55	子育て世帯等臨時特別支援事業	福祉こども課	3	2	15	子育て世帯等臨時特別支援事業費
56	人権啓発事業	総務防災課	3	8	2	ふれあい推進総務費
57	平和啓発推進事業	総務防災課	3	8	3	平和啓発推進事業
58	男女共同参画事業	総務防災課	3	8	4	男女共同参画社会推進事業費
59	予防接種業務(プリズムへぐり)	健康保健課	4	1	2	予防費
60	母子保健事業(プリズムへぐり)	健康保健課	4	1	3	母子保健事業費
61	各種健(検)診事業(プリズムへぐり)	健康保健課	4	1	4	健康増進推進事業費
62	健康増進事業(プリズムへぐり)	健康保健課	4	1	4	健康増進推進事業費
63	生活排水対策事業	住民生活課	4	1	5	環境衛生費
64	合併処理浄化槽設置補助事業	住民生活課	4	1	5	環境衛生費
65	野菊の里斎場管理運営	住民生活課	4	1	14	斎場運営費
66	ごみ減量化・リサイクル推進事業	住民生活課	4	2	1	清掃総務費
67	塵芥処理事業(清掃センター)	住民生活課	4	2	1	清掃総務費
68	センターの環境対策(清掃センター)	住民生活課	4	2	2	塵芥処理費
69	清掃センター延命化対策	住民生活課	4	2	2	塵芥処理費
70	し尿処理業務	住民生活課	4	2	3	し尿処理費
71	上水道事業	上下水道課	4	3	2	上水道施設費
72	土砂等による土地埋立て等の規制	観光産業課	6	1	3	農林業振興費
73	森林環境整備事業	観光産業課	6	1	3	農林業振興費
74	有害鳥獣駆除事業	観光産業課	6	1	3	農林業振興費
75	地域産業活性化促進事業	観光産業課	6	1	3	農林業振興費
76	平群ブランド推進事業	観光産業課	6	1	3	農林業振興費
77	農業基盤整備事業	観光産業課	6	1	3	農林業振興費
78	地籍調査事業	観光産業課	6	1	12	国土調査費
79	農業集落排水事業	上下水道課	6	1	39	農村集落環境整備事業費

頁	事務・事業名	主務担当課	予算科目			
			款	項	目	目の名称
80	消費者行政事業	観光産業課	7	1	1	商工総務費
81	商工業者支援事業	観光産業課	7	1	2	商工業振興費
82	観光資源整備事業	観光産業課	7	1	3	観光費
83	観光 PR 事業	観光産業課	7	1	3	観光費
84	道路整備事業	都市建設課	8	2	1	道路新設改良費
85	竜田川遊歩道整備事業	都市建設課	8	2	1	道路新設改良費
86	都市計画事業	都市建設課	8	4	1	都市計画総務費
87	空き家対策・利活用	都市建設課	8	4	1	都市計画総務費
88	公園管理事業	都市建設課	8	4	3	公園管理費
89	下水道事業	上下水道課	8	4	4	下水道費
90	住宅管理	都市建設課	8	5	1	住宅管理費
91	非常備消防管理事業	総務防災課	9	1	1	非常備消防費
92	消防施設整備事業	総務防災課	9	1	2	消防施設費
93	官学連携事業	教育委員会	10	1	2/9	事務局費
94	学校図書館の充実強化	教育委員会	10	2/3	1/2	事務局費
95	就学援助事業（要介護・準要介護）	教育委員会	10	2/3	2	事務局費
96	教育環境施設の整備	教育委員会	10	2/3	5/6	事務局費
97	小・中学校情報教育推進事業	教育委員会	10	2/3	7	事務局費
98	外国語教育事業	教育委員会	10	3	1	学校管理費
99	青少年地域活動事業	教育委員会	10	5	1	社会教育総務費
100	青少年健全育成事業（青少年補導委員会）	教育委員会	10	5	1	社会教育総務費
101	成人式事業	教育委員会	10	5	1	社会教育総務費
102	文化財保護事業	教育委員会	10	5	4	文化財保護費
103	家庭教育学級開講事業	教育委員会	10	5	5	生涯教育学習事業費
104	へぐり友遊教室開催事業	教育委員会	10	5	5	生涯教育学習事業費
105	人権問題地区別懇談会事業	教育委員会	10	5	6	人権教育推進事業費
106	人権教育学習講座開設事業	教育委員会	10	5	6	人権教育推進事業費
107	人権交流センター運営事業	教育委員会	10	5	22	総合文化センター運営費
108	公民館教室	教育委員会	10	5	22	総合文化センター運営費
109	図書館運営事業	教育委員会	10	5	22	総合文化センター運営費
110	子ども読書活動推進事業	教育委員会	10	5	22	総合文化センター運営費
111	総合文化センターの運営	教育委員会	10	5	22	総合文化センター運営費
112	体育施設管理事業	教育委員会	10	6	1	保健体育総務費
113	社会体育事業	教育委員会	10	6	1	保健体育総務費
114	学校給食事業	教育委員会	10	6	2	学校給食センター費
115	給食・地産地消の推進（地元産食材）	教育委員会	10	6	2	学校給食センター費

令和3年度新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金実施事業

事業名	担当課	目(目名称)	事業概要	対象	事業費	成果
生活応援クーポン配布事業	観光産業課	生活応援クーポン配布事業	町独自のクーポン券を発行し、住民生活支援及び地域経済の活性化を促す。	町内住民	42,939	発行枚数:75,136枚(18,784セット) 発行額:37,568千円
出産祝い金支給事業	総務防災課	新生児出生特別定額給付金事業	令和3年度に生まれた新生児へ1人100千円を支給。	新生児	7,600	76人へ支給
防災備蓄品の支給事業	総務防災課	防災諸費	生活困窮者への支援として防災備蓄品を支給し、また安心安全な避難所運営に必要な物資の確保する。	生活困窮者 避難所	727	支援・整備物資等:アルファ米 350袋、保存用ビスコ 10箱、粉ミルク 8缶、紙おむつ 10ケース等
教育活動における感染症対策事業	教育委員会総務課	学校管理費	安心して教育活動を行う為必要な物資の確保及び環境整備を行う。	小中学校 こども園	31,500	整備備品等:自動水栓整備、CO ² 測定器 114台、アクリル仕切り板 86個等
発熱外来検査実施体制整備事業	健康保険課	保険衛生総務費	近隣町合同で発熱外来(PCR)検査所を整備。		888	コロナ感染者の低減及び感染拡大防止に努めた。
「3密」対策実施による公共的空間整備事業	総務防災課	一般管理費等	快適で安心な公共施設の運営に必要な物資の確保及び環境整備を行う。	役場庁舎等	7,704	整備備品等:エアコン整備、自動水栓整備、消毒液、アクリルスタンド、CO ² 測定器、電気代等
	観光産業課	農林業振興費		道の駅	2,460	屋外広場の拡張
	健康保険課	プリズムへぐり管理費等		プリズムへぐり	6,086	整備備品等:消毒液、フェイスシールド、CO ² 測定器、電気代等
図書館パワーアップ事業	教育委員会総務課	総合文化センター運営費	非接触による図書貸出が可能なICゲート整備を行い、安心安全な読書活動の場を提供。	図書館	8,940	コロナ感染者の低減及び感染拡大防止に努めた。

事業名	担当課	目(目名称)	事業概要	対象	事業費	成果目標
行政手続きのスマート推進事業	政策推進課 観光産業課	情報政策費 観光費	行政手続きのスマート化に向けた環境整備及び観光 HP のリニューアルを行う。		12,375	スマート化に向けたセキュアな状態で実施できる環境整備と観光 HP のリニューアルを行った。
医療機関に対する慰労事業	健康保険課	予防費	医療機関への慰労として感染症対策に必要な物資を支給。	町内医療機関	2,503	19 医療機関
ワクチン接種推進事業	健康保険課	予防費	円滑なワクチン接種促進のため、国基準の接種単価に上乘せを行う。		4,345	500 円×8,645 回 1,000 円×22 回(小児)
観光拠点施設業務継続支援事業	観光産業課	観光費	町内観光拠点施設の施設運営者に対し事業継続支援金を支給。	道の駅 信貴山 i センター	4,000	支援金を支給し施設運営支援を行った。

令和3年度 平群町政策基本体系表(個別シート)

事務事業名	議会広報事業 (議会だより)	担当課名	款	項	目
		議会事務局	1	1	1

I 事務事業の目的・概要

①目的	対象	議会	意図 (対象をどうするのか)	住民にわかりやすく伝える
②事務事業の概要		<ul style="list-style-type: none"> 議会活動等を、住民にわかりやすい形で情報発信をおこなうことにより、議会会議や議員活動に対する関心や理解を求めることを目的とする。 		
③環境分析(事業開始からの状況変化や、今度の見込・住民意向など)		<ul style="list-style-type: none"> 議会だよりの発行 第1号発行 昭和44年9月より 定例会(3月、6月、9月、12月)、臨時会(5月) 		

II 改革・改善内容(=事務事業をよりよく実施するための方策)

令和3年度を含む 今後の予定・取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> 定例会ごとの議会だより発行に向け、効率的な編集作業を進める。
--------------------------	--

III 事務事業の成果やコストの状況

①令和3年度の事業概要 及び執行状況	<ul style="list-style-type: none"> 議会だより280号～284号発行。 活字だけではなく、スマートフォンで「議会インターネット中継」を視聴してもらいやすくするために、各議員の一般質問欄にQRコードを掲載している。 					
②成果を表す 指標	指標名称	R元年度	R2年度	R3年度	単位	算定根拠
i	議会だより	5	5	5	発行回数	1回あたり7,400部
ii	編集委員会	14	14	14	回	
iii						
③事務事業のコスト		631	632	591	千円	議会だより 印刷製本費

IV 評価・検討

①課題(目的に対する現状など)	<ul style="list-style-type: none"> 住民に対し、見やすく、分かりやすい、充実した内容となるように努める。
-----------------	--

令和3年度 平群町政策基本体系表(個別シート)

事務事業名	議会インターネット中継	担当課名	款	項	目
		議会事務局	1	1	1

I 事務事業の目的・概要

①目的	対象	住民	意図 (対象をどうするのか)	議会での審議や議論を視聴する
②事務事業の概要		<ul style="list-style-type: none"> ・本会議のインターネット録画中継を公開し、情報発信を行うことで、実際に議会を傍聴することができない方をはじめ、多くの方々に議会の審議や議論を視聴してもらえる環境を整備している。 		
③環境分析(事業開始からの状況変化や、今度の見込・住民意向など)		<ul style="list-style-type: none"> ・インターネット録画配信 平成26年10月1日から 		

II 改革・改善内容(=事務事業をよりよく実施するための方策)

令和4年度を含む今後の予定・取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> ・今後もより多くの方に見ていただくように、引き続き議会だより等で周知を行う。(目標アクセス数 月間 200件 年間 2,400件)
----------------------	---

III 事務事業の成果やコストの状況

①令和3年度の事業概要及び執行状況	【令和3年度アクセス数】						
	4月 207件、5月 172件、6月 118件、7月 123件、8月 85件、9月 195件、10月 113件、11月 27件、12月 127件、1月 44件、2月 57件、3月 113件						
②成果を表す指標	指標名称	R元年度	R2年度	R3年度	単位	算定根拠	
	i	アクセス数	2,057	2,190	1,381	件数	
	ii						
	iii						
③事務事業のコスト		1,774	1,630	1,136	千円	ソフト使用料等	

IV 評価・検討

①課題(目的に対する現状など)	<ul style="list-style-type: none"> ・スマホでも視聴ができることから、議会だよりの紙面にQRコードを掲載しているが、アクセス数は低調気味。
-----------------	---

令和3年度 平群町政策基本体系表(個別シート)

事務事業名	議会報告会	担当課名	款	項	目
		議会事務局	1	1	1

I 事務事業の目的・概要

①目的	対象	住民	意図 (対象をどうするのか)	議会と直接対話
②事務事業の概要		<ul style="list-style-type: none"> 議会の説明責任を果たすとともに、住民との信頼関係を深めるため、議会での意思決定を直接説明できる場となる。また民意を汲み取ることに有効である。 		
③環境分析(事業開始からの状況変化や、今後の見込・住民意向など)		<ul style="list-style-type: none"> 平成 22 年から毎年開催 		

II 改革・改善内容(=事務事業をよりよく実施するための方策)

令和 4 年度を含む今後の予定・取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から 2 年間中止としてきたが、引き続き新型コロナウイルス感染症の状況等を考慮しながら、開催手法等について検討する。
------------------------	--

III 事務事業の成果やコストの状況

①令和 3 年度の事業概要及び執行状況	<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染拡大防止により中止。 					
②成果を表す指標	指標名称	R 元年度	R2 年度	R3 年度	単位	算定根拠
i	報告会開催数	1	中止	中止	回	
ii	参加者数	29	中止	中止	人	
iii						
③事務事業のコスト		—	—	—	千円	

IV 評価・検討

①課題(目的に対する現状など)	<ul style="list-style-type: none"> 参加者が少ないことから、周知方法や日程等を検討する必要がある。 住民の関心あるテーマ等、内容について精査検討していく必要がある。
-----------------	---

令和3年度 平群町政策基本体系表(個別シート)

事務事業名	職員の資質向上と人材育成	担当課名	款	項	目
		総務防災課	2	1	1

I 事務事業の目的・概要

①目的	対象	職員	意図 (対象をどうするのか)	能力開発と意識改革
②事務事業の概要		<ul style="list-style-type: none"> ・職務に関する自分の能力レベルを知り、職員に「気づき」を与えることにより、能力開発・人材育成に役立てる。 		
③環境分析(事業開始からの状況変化や、今年度の見込・住民意向など)		<ul style="list-style-type: none"> ・上記概要に基づき、平成 22 年度から人事考課制度を導入した。令和 2 年度において、人事考課結果を給与等に反映すべく運用に向けて取り組み、令和 3 年度から実施している。 		

II 改革・改善内容(=事務事業をよりよく実施するための方策)

令和4年度を含む 今後の予定・取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> ・人事考課結果を職員の任用・給与・分限・その他の人事管理の基礎として活用する。(管理職のみ) ・管理職を対象とした人事考課制度の研修会の実施。
--------------------------	--

III 事務事業の成果やコストの状況

①令和3年度の事業概要及び執行状況	<ul style="list-style-type: none"> ・町主催研修及び派遣研修の市町村アカデミー研修、JIAM研修は新型コロナウイルス感染拡大防止の為中止。 ・派遣研修として奈良県市町村研修センターでの研修、刈払機取扱安全教育、パソコン研修等を行った。 ・人材育成を目的とした人事交流を実施。 					
②成果を表す指標	指標名称	R 元年度	R2 年度	R3年度	単位	算定根拠
	i 町主催研修	11	0	0	回	
	ii 派遣研修	16	5	16	人	
	iii 交流・相互派遣	1	2	2	人	奈良県、地域振興センター
③事務事業のコスト		—	—	—	千円	

IV 評価・検討

①課題(目的に対する現状など)	<ul style="list-style-type: none"> ・各種研修は、職員の階級等に沿った受講計画とする。 ・接遇マニュアルについて、職員間の意思統一を図る。
-----------------	--

令和3年度 平群町政策基本体系表(個別シート)

事務事業名	業者格付・業者選定・指名願の受付	担当課名	款	項	目
		総務防災課	2	1	1

I 事務事業の目的・概要

①目的	対象	指名業者	意図 (対象をどうするのか)	入札制度の透明性確保
②事務事業の概要		<ul style="list-style-type: none"> ・入札制度のより一層の透明性・競争性を図る。 		
③環境分析(事業開始からの状況変化や、今度の見込・住民意向など)		<ul style="list-style-type: none"> ・郵便入札の実施 平成 19 年から ・随意契約ガイドライン 令和元年から 		

II 改革・改善内容(=事務事業をよりよく実施するための方策)

令和 4 年度を含む 今後の予定・取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> ・随時、業者選定委員会や指名業者の選定を実施。 ・随意契約ガイドラインの共有化を図る。
----------------------------	--

III 事務事業の成果やコストの状況

①令和 3 年度の事業概要 及び執行状況	<ul style="list-style-type: none"> ・令和 4、5 年度入札参加資格審査申請の受付を実施。 (建設工事 441 件、測量・建設コンサルタント等 294 件、物品・その他 664 件) ・建設工事等業者格付委員会を開催し、町内事業者の格付けを実施。 ・契約に伴う各種変更 随意契約の発注金額変更、随意契約ガイドライン改正 					
②成果を表す 指標	指標名称	R1 年度	R2 年度	R3 年度	単位	算定根拠
	i 指名願受付件数	1,479	1,400	1,400	件	
	ii 入札件数	110	87	98	件	
	iii					
③事務事業のコスト		—	—	—	千円	

IV 評価・検討

①課題(目的に対する現状など)	<ul style="list-style-type: none"> ・作成した随意契約ガイドラインの共有化を図る。
-----------------	---

令和3年度 平群町政策基本体系表(個別シート)

事務事業名	広報広聴事業 (広報紙/ホームページ)	担当課名	款	項	目
		政策推進課	2	1	2

I 事務事業の目的・概要

①目的	対象	住民	意図 (対象をどうするのか)	わかりやすく伝える	
②事務事業の概要		<ul style="list-style-type: none"> ・住民と町行政をつなぐ情報提供・情報交換の重要なツールとして、広報紙、HP、SNS等を活用し行政情報を発信 			
③環境分析(事業開始からの状況変化や、今度の見込・住民意向など)		HP 開設 (平成 14 年 10 月～【令和 3 年 3 月全面リニューアル】) フェイスブック(平成 26 年～)・ツイッター(平成 28 年～) LINE(令和 3 年 6 月～)・広報紙の減量化(令和 4 年 5 月号～)			

II 改革・改善内容(=事務事業をよりよく実施するための方策)

令和 4 年度を含む 今後の予定・取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> ・広報紙の表紙と裏面のカラー印刷については、紙面は年 3 回程度、HP での閲覧用はカラーで、令和 4 年度から中ページの写真もカラーとしている。 ・SNS によるイベント、防災・防犯情報のスピーディーな発信に努める。 ・各課での投稿を政策推進課において、確認を行い統一性を図る。 ・見やすい HP を目指し、記事のまとめ方をテーマにした職員研修を 6 月 21 日に実施。
----------------------------	--

III 事務事業の成果やコストの状況

①令和 3 年度の事業概要 及び執行状況	<ul style="list-style-type: none"> ・「新型コロナウイルス対策」のように速報性が重要な情報について、迅速な情報発信に努めた。 ・発信内容を限定する「LINE」に対し、「フェイスブック」や「ツイッター」では、町の PR となるような情報を積極的に掲載し、発信力の強化に努めた。 					
②成果を表す指標	指標名称	R 元年度	R2 年度	R3 年度	単位	算定根拠
	i 広報紙	92,400	92,050	91,830	部数	印刷部数
	ii ホームページアクセス数	192,260	302,486	420,710	件	Google アナリティクス数値
	iii フェイスブック「いいね」	914	976	1,031	いいね	FB インサイト数値
③事務事業のコスト		3,258	2,619	2,510	千円	広報紙印刷製本費

IV 評価・検討

①課題 (目的に対する現状など)	<ul style="list-style-type: none"> ・HPの記事が増えすぎているページの整理など、検索する人の視点で、見やすく・探しやすいサイト運営を心掛け、随時見直しを図っていく。 ・広報紙は、文字を少なく写真を多く掲載するなど、読みやすく手に取ってもらえる紙面づくりを心掛けている。
---------------------	--

令和3年度 平群町政策基本体系表(個別シート)

事務事業名	各種伝票処理	担当課名	款	項	目
		会計課	2	1	3

I 事務事業の目的・概要

① 目的	対象	行政	意図 (対象をどうするのか)	事務効率の向上
② 事務事業の概要		<ul style="list-style-type: none"> ・歳入・歳出の各種伝票審査を行い、事務効率の向上を目指し、迅速かつ正確な会計事務を進める。 		
③ 環境分析(事業開始からの状況変化や、今度の見込・住民意向など)		<ul style="list-style-type: none"> ・現在の財務会計システム 平成 21 年度導入 		

II 改革・改善内容(=事務事業をよりよく実施するための方策)

令和 4 年度を含む 今後の予定・取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> ・マニュアル「会計事務の手引き」を活用しながら不備伝票を減少させ、事務効率の向上及び迅速かつ正確な会計事務を進めていくためには、職員指導をより徹底していく。(職員へのメール配信や定例部課長会議での周知の強化)
----------------------------	--

III 事務事業の成果やコストの状況

① 令和 3 年度の事業概要及び執行状況	<ul style="list-style-type: none"> ・マニュアル「会計事務の手引き」を活用し、不備伝票を減少させ事務効率を向上させるため、職員指導を徹底した。(職員へのメール配信や定例部課長会議での周知) 						
② 成果を表す指標	指標名称	R 元年度	R2 年度	R3 年度	単位	算定根拠	
	i	総処理伝票数	81,526	68,274	68,542	件	
	ii	支払伝票件数	46,311	42,554	41,910	件	
	iii	収入伝票件数	35,215	25,720	26,632	件	
③ 事務事業のコスト		1,846	660	660	千円	財務会計電算委託料	

IV 評価・検討

① 課題 (目的に対する現状など)	<ul style="list-style-type: none"> ・更なる事務効率の向上及び正確な会計処理を徹底する。 ・各支払日ごとに相当数の伝票が作成され公正な事務執行には、伝票審査に多大な時間が必要である。
----------------------	--

令和3年度 平群町政策基本体系表(個別シート)

事務事業名	公金管理及び資金運用	担当課名	款	項	目
		会計課	2	1	3

I 事務事業の目的・概要

① 目的	対象	行政	意図 (対象をどうするのか)	効率的な資金管理
② 事務事業の概要		・公金管理の徹底及び効率的な資金運用に努める。		
③ 環境分析(事業開始からの状況変化や、今度の見込・住民意向など)		・基金件数 (一般会計 11 基金、 特別会計 6 基金)		

II 改革・改善内容(=事務事業をよりよく実施するための方策)

令和4年度を含む 今後の予定・取り組み内容	・厳しい財政状況から、収入・支出を厳格に精査し、一時借入を実行する場合は、借入額・借入利息の低減に努める。
--------------------------	---

III 事務事業の成果やコストの状況

① 令和3年度の事業概要及び執行状況	・資金不足にならなかったため、一時借入を実行しなかった。					
② 成果を表す指標	指標名称	R元年度	R2年度	R3年度	単位	算定根拠
	i 一時借入	1,000	0	0	百万円	
	ii 基金残高	789	855	1,216	百万円	
	iii					
③ 事務事業のコスト		419	0	0	千円	

IV 評価・検討

① 課題 (目的に対する現状など)	・資金ショートを起こさないため、厳正な収入・支出見込みの把握が必要である。
----------------------	---------------------------------------

令和3年度 平群町政策基本体系表(個別シート)

事務事業名	予算執行管理 (決算書等の作成)	担当課名	款	項	目
		会計課	2	1	3

I 事務事業の目的・概要

① 目的	対象	行政	意図 (対象をどうするのか)	事務効率の向上
② 事務事業の概要		<ul style="list-style-type: none"> ・予算の執行管理を正確に行い、出納閉鎖後、速やかに決算書等を調整・作成し、監査委員による監査終了後、議会に提出する。 		
③ 環境分析(事業開始からの状況変化や、今度の見込・住民意向など)				

II 改革・改善内容(=事務事業をよりよく実施するための方策)

令和4年度を含む今後の予定・取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> ・令和3年度予算執行管理を正確に行い、決算業務を進めていく。令和4年9月定例議会に決算書・決算附属資料等を提出する。
----------------------	--

III 事務事業の成果やコストの状況

① 令和3年度の事業概要及び執行状況	<ul style="list-style-type: none"> ・令和2年度出納閉鎖後、決算速報値を6月定例部課長会議にて報告する。令和3年度9月定例議会に決算書・付属資料等を提出した。 					
② 成果を表す指標	指標名称	R元年度	R2年度	R3年度	単位	算定根拠
	i					
	ii					
	iii					
③ 事務事業のコスト		74	72	66	千円	決算書印刷製本費

IV 評価・検討

① 課題 (目的に対する現状など)	<ul style="list-style-type: none"> ・予算の執行管理を厳正に行い、適正で迅速な業務を遂行する。
----------------------	---

令和3年度 平群町政策基本体系表(個別シート)

事務事業名	公共施設の総合管理	担当課名	款	項	目
		政策推進課	2	1	4

I 事務事業の目的・概要

①目的	対象	公共施設	意図 (対象をどうするのか)	全体マネジメント
②事務事業の概要		<ul style="list-style-type: none"> ・町による利用の見込みがない町有財産を売却処分し財源確保に努める。 ・用途廃止した公共施設を地域の活性化に資するため、民間活力等の導入を視野に入れた活用方法を具体化する。 ・公共施設総合管理計画の進捗管理を行う。 		
③環境分析(事業開始からの状況変化や、今度の見込・住民意向など)		<ul style="list-style-type: none"> ・平群町公共施設等総合管理計画の策定(平成 29 年 3 月～) ・土地開発公社解散による遊休資産の移譲 ・旧西小学校、旧南保育園の跡地利用について協議 ・旧中央公民館の敷地整理後、公売の実施 		

II 改革・改善内容(=事務事業をよりよく実施するための方策)

令和 4 年度を含む 今後の予定・取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> ・公共施設の今後あり方について、個別計画を含めた「平群町公共施設総合管理計画」を策定する。 ・旧南保育園跡について、「建物付き売却」を基本に実施。 ・旧中央公民館跡について、売却処分を行う。 ・旧西小学校跡について、6 月に利用候補者より辞退の届け出があった。引き続き活用について協議する。
----------------------------	--

III 事務事業の成果やコストの状況

①令和 3 年度の事業概要 及び執行状況	<ul style="list-style-type: none"> ・若葉台ゲートボール場について 4 回ネットオークションに参加したが、成立には至らなかった。 						
②成果を表す指標	指標名称	R 元年度	R2 年度	R3 年度	単位	算定根拠	
	i	インターネット公売	5	5	4	回数	
	ii						
	iii						
③事務事業のコスト		—	—	—	千円		

IV 評価・検討

①課題 (目的に対する現状など)	<ul style="list-style-type: none"> ・公共施設の今後のあり方について、個別計画を作成できておらず具体的な方針を策定する必要がある。(公共施設等総合管理計画改訂中)
---------------------	---

令和3年度 平群町政策基本体系表(個別シート)

事務事業名	ふるさと納税事業	担当課名	款	項	目
		政策推進課	2	1	6

I 事務事業の目的・概要

①目的	対象	寄附者	意図 (対象をどうするのか)	町の魅力を発信
②事務事業の概要		<ul style="list-style-type: none"> 主に町外の方に対し、町の魅力を発信し町行政やコミュニティ団体への関係人口を創出する。 		
③環境分析(事業開始からの状況変化や、今度の見込・住民意向など)		<ul style="list-style-type: none"> 平成 20 年度スタート、平成 28 年度コミュニティ団体への寄附制度制定、平成 28 年度ふるさと納税サイト利用開始 		

II 改革・改善内容(=事務事業をよりよく実施するための方策)

令和 4 年度を含む今後の予定・取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> 更なる寄附獲得にむけ、PR・返礼品管理・お礼状等の一連の処理を一括して中間業者に委託する。 企業版ふるさと納税の寄附額を増やす取り組みを検討。
------------------------	--

III 事務事業の成果やコストの状況

①令和 3 年度の事業概要及び執行状況	<ul style="list-style-type: none"> 新規協力事業者 2 団体追加(かんぼの宿、吉川薬店) 新規ポータルサイト 1 サイト追加(さとふる) 					
②成果を表す指標	指標名称	R 元年度	R2 年度	R3 年度	単位	算定根拠
i	寄附額	9,445	15,901	24,153	千円	県現況調査
ii	寄附件数	419	971	1,384	件	県現況調査
iii	返礼品数	35	50	61	品	県現況調査
③事務事業のコスト		1,679	5,664	9,532	千円	

IV 評価・検討

①課題 (目的に対する現状など)	<ul style="list-style-type: none"> 古都華や酵素玄米の寄附件数が年々増加しており、常に返礼品の上位を占めている。安定供給のため生産者の協力体制や更なる返礼品等の開拓が必要。
---------------------	--

令和3年度 平群町政策基本体系表(個別シート)

事務事業名	緊急財政健全化の 取り組み	担当課名	款	項	目
		政策推進課	2	1	6

I 事務事業の目的・概要

①目的	対象	行政	意図 (対象をどうするのか)	健全財政の確立
②事務事業の概要		<ul style="list-style-type: none"> ・厳しい財政状況、奈良県の重症警報を受け策定した「緊急財政健全化計画」に基づき、各種事務事業の見直しや財源確保の取り組みを行い、財政の健全化を目指す。また地方債残高に注視し、起債の抑制に努める。 		
③環境分析(事業開始からの状況変化や、今年度の見込・住民意向など)		<ul style="list-style-type: none"> ・行財政改革大綱(平成 16～25 年)、新財政健全化計画(平成 19 年～)、第 2 次行財政改革大綱(平成 26～34 年)、第 2 次財政健全化計画(平成 29～33 年)、緊急財政健全化計画(令和 3～7 年) 		

II 改革・改善内容(=事務事業をよりよく実施するための方策)

令和 4 年度を含む 今後の予定・取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> ・策定した緊急財政健全化計画を確実に実行することで、将来負担の軽減に努め、安定した財政運営を実現する。
----------------------------	---

III 事務事業の成果やコストの状況

①令和 3 年度の事業概要 及び執行状況	<ul style="list-style-type: none"> ・新たに策定した「緊急財政健全化計画」を推進。自主財源や奈良県の支援を受け地方債の繰上償還を実施。 ・令和 4 年度当初は、令和 3 年度に引き続き「未確定財源なし」での予算編成を実現。予算執行については、効率的な執行に努め単年度収支は黒字となった。 					
②成果を表す 指標	指標名称	R 元年度	R2 年度	R3 年度	単位	算定根拠
	i 将来負担比率	241.3	222.8	183.3	%	
	ii 実質公債費比率	16.1	16.7	16.0	%	
	iii 経常収支比率	99.9	95.7	89.9	%	
③事務事業のコスト		—	—	—	千円	

IV 評価・検討

①課題 (目的に対する現状など)	<ul style="list-style-type: none"> ・財政健全化に向け、特に「早期集中プラン(R3～R5)」の期間において、地方債の繰上げ償還など効果的な改善策に着手する。
---------------------	--

令和3年度 平群町政策基本体系表(個別シート)

事務事業名	総合計画・総合戦略 (人口ビジョン)	担当課名	款	項	目
		政策推進課/まち未来推進室	2	1	6

I 事務事業の目的・概要

①目的	対象	行政	意図 (対象をどうするのか)	まちづくりの方針
②事務事業の概要		<ul style="list-style-type: none"> ・第6次総合計画とまち・ひと・しごと総合戦略の整合性を図り、町が目指すべき方向性を明確にするとともに、より効果的で実効性のある町政運営の指針となる計画策定を行う。 		
③環境分析(事業開始からの状況変化や、今度の見込・住民意向など)		<ul style="list-style-type: none"> ・第6次総合計画(令和5～14年度) ・まち・ひと・しごと総合戦略(令和5～9年度) ・人口ビジョン(平成25～令和42年度) 		

II 改革・改善内容(=事務事業をよりよく実施するための方策)

令和4年度を含む 今後の予定・取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> ・第6次総合計画の策定に向け、課題整理を行い社会状況の変化や町を取り巻く状況等を認識し、今後のまちづくりに向け取り組むべき施策等について協議を行う。 ・人口ビジョンの時点修正を行う。 ・第6次総合計画(案)に対するパブリックコメントを実施する。
--------------------------	--

III 事務事業の成果やコストの状況

①令和3年度の事業概要及び執行状況	<ul style="list-style-type: none"> ・第5次総合計画の達成度や住民からみた満足度・重要度の意識調査や中学生アンケート調査を実施し、次期総合計画の基礎資料の収集を行った。 ・次期総合計画の策定に向けた各種会議を開催した。 					
②成果を表す指標	指標名称	R元年度	R2年度	R3年度	単位	算定根拠
i	検討委員会	—	—	1	回	開催数
ii	まちづくり会議	—	—	2	回	開催数
iii						
③事務事業のコスト		—	—	—	千円	

IV 評価・検討

①課題 (目的に対する現状など)	<ul style="list-style-type: none"> ・人口対策や地方創生の実現に向けた具体的な取組を推進していく必要がある。
---------------------	--

令和3年度 平群町政策基本体系表(個別シート)

事務事業名	定住促進奨励金交付事業	担当課名	款	項	目
		政策推進課/まち未来推進室	2	1	6

I 事務事業の目的・概要

①目的	対象	令和2年12月末までに新規に住宅を取得した方	意図 (対象をどうするのか)	奨励金の交付
②事務事業の概要		・町の人口増加と定住化により活力あるまちづくりを推進するため、対象となる住宅の家屋の固定資産税額に相当する金額を限度として、固定資産税を納付した翌年度に定住促進奨励金として最長3年にわたり交付する。		
③環境分析(事業開始からの状況変化や、今後の見込・住民意向など)		・平成28年制度施行(定住促進奨励金制度要綱制定) 令和2年12月末で資格者の対象期間が終了したが、交付は令和6年度末まで継続して実施する。		

II 改革・改善内容(=事務事業をよりよく実施するための方策)

令和4年度を含む今後の予定・取り組み内容	・要綱に基づき、引き続き申請者に対し3回目までの交付事務を行う。
----------------------	----------------------------------

III 事務事業の成果やコストの状況

①令和3年度の事業概要及び執行状況	申請件数 165件、交付額 12,308,220円					
②成果を表す指標	指標名称	R元年度	R2年度	R3年度	単位	算定根拠
i	申請件数	156	158	165	件	
ii						
iii						
③事務事業のコスト		9,816	11,252	12,308	千円	

IV 評価・検討

①課題 (目的に対する現状など)	・住民税などの税収面においては一定の効果が見込める施策であるが、費用対効果を分析しながら制度について検証する。
---------------------	---

令和3年度 平群町政策基本体系表(個別シート)

事務事業名	公平委員会業務	担当課名	款	項	目
		監査委員事務局	2	1	7

I 事務事業の目的・概要

①目的	対象	町職員の勤務条件等の審査など	意図 (対象をどうするのか)	行政委員会として審査
②事務事業の概要		<ul style="list-style-type: none"> ・地方自治法第202条の2第2項及び地方公務員法により定められた、職員の勤務条件に関する措置の要求、及び職員に対する不利益処分を審査し、これについて必要な措置を講ずる。 		
③環境分析(事業開始からの状況変化や、今度の見込・住民意向など)		<ul style="list-style-type: none"> ・職員が、任命権者によって不利益な処分を受けたとして不服申立があった場合、公平委員会が公正・中立な第三者機関として審査を実施 		

II 改革・改善内容(=事務事業をよりよく実施するための方策)

令和4年度を含む 今後の予定・取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> ・随時、委員会の開催 ・「人事行政の運営等の状況の公表に関する条例」に基づく報告
--------------------------	---

III 事務事業の成果やコストの状況

①令和3年度の事業概要及び執行状況	・審査件数 0件					
②成果を表す指標	指標名称	R元年度	R2年度	R3年度	単位	算定根拠
	i 委員会開催	2	1	1	回	
	ii 研修会	1	0	0	回	
	iii					
③事務事業のコスト		96	92	92	千円	公平委員会費

IV 評価・検討

①課題(目的に対する現状など)	<ul style="list-style-type: none"> ・業務内容が専門的な知識を有することから、委員及び事務局職員のスキルアップを図っていく必要があり、研修会等に積極的に参加をしていく。個々の事案について中立・公正な判断が求められることから、審査機関としての信頼性と透明性の向上を更に目指す。
-----------------	---

令和3年度 平群町政策基本体系表(個別シート)

事務事業名	交通安全対策	担当課名	款	項	目
		住民生活課	2	1	8

I 事務事業の目的・概要

①目的	対象	住民	意図 (対象をどうするのか)	交通安全の啓発
②事務事業の概要		<ul style="list-style-type: none"> 交通安全の啓発、及び正しい交通道德の確立に努め、事故の無い安全な町づくりを目指す。交通ルールを順守する習慣づくりと環境整備に向けての取組を推進。 		
③環境分析(事業開始からの状況変化や、今度の見込・住民意向など)		<ul style="list-style-type: none"> 通学路の改善は少しずつ行われてきているが、全国ニュースなどで見る登下校中の小学生が巻き込まれる事故などをうけ、交通安全への関心は高まっている。 		

II 改革・改善内容(=事務事業をよりよく実施するための方策)

令和4年度を含む今後の予定・取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> 街頭啓発を中心に、交通安全啓発事業を実施。
----------------------	---

III 事務事業の成果やコストの状況

①令和3年度の事業概要及び執行状況	<ul style="list-style-type: none"> 春及び秋の交通安全運動(4/6～4/15、9/21～30)として、小学校・こども園において児童・生徒の通学指導を実施した。 町内商業施設にて交通安全運動街頭啓発を行った。 					
②成果を表す指標	指標名称	R元年度	R2年度	R3年度	単位	算定根拠
i	通学指導立哨	340	462	496	人	
ii	交通安全教室参加者	756	395	461	人	
iii						
③事務事業のコスト		3,482	3,463	3,430	千円	

IV 評価・検討

①課題 (目的に対する現状など)	<ul style="list-style-type: none"> 交通安全教室の開催手法について、より効果的な開催を検討。
---------------------	--

令和3年度 平群町政策基本体系表(個別シート)

事務事業名	防犯対策事業	担当課名	款	項	目
		住民生活課	2	1	9

I 事務事業の目的・概要

① 目的	対象	住民	意図 (対象をどうするのか)	防犯意識の普及
② 事務事業の概要		・明るく住みよい地域づくりを行い、犯罪の未然防止、防犯意識の普及を行う。		
③環境分析(事業開始からの状況変化や、今後の見込・住民意向など)		【防犯カメラの設置 総数 15 台】 ・街頭防犯カメラ 13 台稼働(自販機 3 台、4 駅周辺 6 台、国道 168 号コメリ前 1 台、若井 1 台、くまがし橋 1 台、西宮竜田川河川沿い 1 台) ・山間部防犯カメラ 2 台稼働(十三峠 1 台、櫛原 1 台) 平成 29 年度 2 台 平成 30 年度 2 台 令和元年度 2 台 令和 2 年度 3 台		

II 改革・改善内容(=事務事業をよりよく実施するための方策)

令和 4 年度を含む 今後の予定・取り組み内容	・防犯意識高揚のための啓発を行う。 ・LED 防犯灯の未整備箇所について、協議していく。
----------------------------	---

III 事務事業の成果やコストの状況

①令和 3 年度の事業概要 及び執行状況	・LED 防犯灯設置補助事業(自治会管理防犯灯 9 灯設置 7 自治会) ・令和 3 年度の防犯カメラ設置台数 櫛原 1 台 ・こども 110 番旗の配布 271 件					
②成果を表す 指標	指標名称	R 元年度	R2 年度	R3 年度	単位	算定根拠
i	防犯灯設置数	3,000	3,002	3,052	基	
ii	防犯カメラ	11	14	15	台	
iii	こども 110 番旗	246	261	271	箇所	
③ 事務事業のコスト		5,531	5,334	5,002	千円	

IV 評価・検討

①課題 (目的に対する現状など)	・防犯灯 LED 化の未整備箇所の取替推進 ・効果的な防犯カメラの設置
---------------------	--

令和3年度 平群町政策基本体系表(個別シート)

事務事業名	住民協働事業 (自治会及び各種団体・NPO等との連携)	担当課名	款	項	目
		政策推進課	2	1	10

I 事務事業の目的・概要

①目的	対象	自治会・各種団体	意図 (対象をどうするのか)	協働によるまちづくり
②事務事業の概要		<ul style="list-style-type: none"> ・第5次総合計画に基づき、住民協働の「まちづくり」を目指す。 ・大字・自治会とは定期的な会議で情報共有を図り、各種団体とは随時情報交換し、広報紙では「協働のまちづくり」の周知に努めている。 		
③環境分析(事業開始からの状況変化や、今年度の見込・住民意向など)				

II 改革・改善内容(=事務事業をよりよく実施するための方策)

令和4年度を含む 今後の予定・取り組み内容	<p>【自治連合会事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・総代・自治会長会議は、新型コロナの影響により5月は中止した。 ・自治連合会の事業として、今年度は県外研修に代えて、7月に講演型研修会「平群町デマンド型乗合タクシーを学ぶ」を実施した。(25名参加) ・令和5年2月に公開講演会を予定。
--------------------------	---

III 事務事業の成果やコストの状況

①令和3年度の事業概要及び執行状況	<ul style="list-style-type: none"> ・総代・自治会長会議を5月と12月に開催する予定であったが、新型コロナの影響により、5月、12月は中止した。 ・自治連合会の事業として、県外研修会・公開講演会は新型コロナの影響により中止した。 					
②成果を表す指標	指標名称	R元年度	R2年度	R3年度	単位	算定根拠
i	自治会加入率	87.3	86.7	86.0	%	加入世帯/世帯数
ii	連合会研修	1	1	0	回	
iii						
③事務事業のコスト		—	—	—	千円	

IV 評価・検討

①課題 (目的に対する現状など)	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍での活動制限による、つながりの希薄化や組織の弱体化を防ぐため、町行政と大字・自治会が継続した情報共有が必要。
---------------------	---

令和3年度 平群町政策基本体系表(個別シート)

事務事業名	防災体制の充実	担当課名	款	項	目
		総務防災課	2	1	11

I 事務事業の目的・概要

①目的	対象	住民	意図 (対象をどうするのか)	防災意識の向上
②事務事業の概要		<ul style="list-style-type: none"> ・地域防災計画に基づき、自主防災意識の向上と、必要となる住民主体による防災活動の支援を行う。また関係団体と防災協定の締結を推進する。 		
③環境分析(事業開始からの状況変化や、今度の見込・住民意向など)		<ul style="list-style-type: none"> ・「平群町地域防災計画」の見直し完了(令和2年3月改訂) ・「指定避難所における新型コロナウイルス感染症への対応指針」(令和2年10月公表) ・「災害時のペット飼育と同行マニュアル」作成(令和4年8月公表予定) 		

II 改革・改善内容(=事務事業をよりよく実施するための方策)

令和4年度を含む今後の予定・取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> ・自主防災組織未結成の大字・自治会への結成支援 ・高齢者へのスマートフォン教室開催 ・避難行動要支援者名簿の大字及び自治会、自主防災組織への配布
----------------------	--

III 事務事業の成果やコストの状況

①令和3年度の事業概要及び執行状況	<ul style="list-style-type: none"> ・自主防災組織は合計 29 団体(自警団 5、自主防 24) 結成率 87.7% ・防災出前講座等 2 件(9.13 北小、9.21 平小) ・感染症対策による避難所運営訓練の実施 ・感染症対策のための防災備蓄品の拡充 ・防災協定の締結(ネットヨタ、堺市、ヤフー株式会社) ・防災かまどベンチのメンテナンス作業を実施。 					
②成果を表す指標	指標名称	R元年度	R2年度	R3年度	単位	算定根拠
i	自主防災組織組織率	28	29	29	組織	
		84.2	87.7	87.7	%	
	ii	出前講座	10	0	2	回
iii	防災協定	2	2	3	社・団体	
③事務事業のコスト		—	—	—	千円	

IV 評価・検討

①課題 (目的に対する現状など)	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校区単位での避難訓練の実施や、地区防災マニュアルの作成 ・個別避難計画の策定に向けた協議
---------------------	--

事務事業名	防災行政無線の運用	担当課名	款	項	目
		総務防災課	2	1	11

I 事務事業の目的・概要

①目的	対象	住民	意図 (対象をどうするのか)	防災情報等の発信
②事務事業の概要		・防災行政無線を活用し、防災情報や様々な行政情報を迅速に発信する。		
③環境分析(事業開始からの状況変化や、今後の見込・住民意向など)		・防災行政無線のデジタル化(平成31年度から)		

II 改革・改善内容(=事務事業をよりよく実施するための方策)

令和4年度を含む 今後の予定・取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> ・防災行政無線の情報受信が困難な障害者等に対し戸別受信機(文字表示付き含む)を無償貸与 ・土砂災害警戒区域等の情報発信 ・河川氾濫の情報発信
--------------------------	--

III 事務事業の成果やコストの状況

①令和3年度の事業概要及び執行状況		<ul style="list-style-type: none"> ・防災行政無線の音声補助として、電話応答システムを新たに導入し、登録制メール配信の継続と登録啓発、促進を行った。 ・防災アプリ運用開始(令和3年4月) ・Jアラートシステムと防災行政無線の連動運用 ・緊急速報メール(エリアメール)を3キャリア同時配信で運用 ・ナラシェイクアウト訓練 				
②成果を表す指標	指標名称	R元年度	R2年度	R3年度	単位	算定根拠
	i 個別受信機	-	13	3	機	貸与数
	ii 情報発信数	77	27	80	回	
	iii					
③事務事業のコスト		—	—	—	千円	

IV 評価・検討

①課題 (目的に対する現状など)	・防災行政無線を活用した確実な情報伝達や防災アプリの導入
---------------------	------------------------------

事務事業名	非常用食料等の防災備蓄	担当課名	款	項	目
		総務防災課	2	1	11

I 事務事業の目的・概要

①目的	対象	行政	意図 (対象をどうするのか)	防災備蓄品の整備
②事務事業の概要		・災害時必要となる防災備蓄品について整備する。		
③環境分析(事業開始からの状況変化や、今後の見込・住民意向など)		・感染症等に対応した備蓄品の整備が望まれる。		

II 改革・改善内容(=事務事業をよりよく実施するための方策)

令和4年度を含む 今後の予定・取り組み内容	・感染症対策に必要な物資、並びに備蓄品の充実強化に努める。
--------------------------	-------------------------------

III 事務事業の成果やコストの状況

①令和3年度の事業概要 及び執行状況		<ul style="list-style-type: none"> ・備蓄品長期保管(期限切真近)の生理用品(約300パック)、紙おむつ各サイズ(全20パック)を生活困窮者に対して無償配布する。 ・備蓄品の充実強化の観点から、品目管理(更新)の徹底及び防災協定による流通備蓄品を確保する。 ・12箇所(メイン備蓄3箇所、分散備蓄9箇所)での保管 				
②成果を表す 指標	指標名称	R元年度	R2年度	R3年度	単位	算定根拠
i	分散備蓄	10	10	9	箇所	
ii	備蓄品目	32	33	33	品目	
iii						
③事務事業のコスト		1,132	1,132	728	千円	

IV 評価・検討

①課題 (目的に対する現状など)	・食品ロス対策として、訓練やイベントやフードレスキュー等に提供
---------------------	---------------------------------

令和3年度 平群町政策基本体系表(個別シート)

事務事業名	コミュニティバス推進事業	担当課名	款	項	目
		総務防災課	2	1	24

I 事務事業の目的・概要

①目的	対象	コミュニティバス利用者	意図 (対象をどうするのか)	利便性の向上
②事務事業の概要		<ul style="list-style-type: none"> ・住民の移動手段として、町内循環のコミュニティバスを運行し、安定した運行と利用者の利便性向上を目指す。 		
③環境分析(事業開始からの状況変化や、今後の見込・住民意向など)		<ul style="list-style-type: none"> ・コミュニティバス運行 平成 23 年 11 月から ・3 ルートから 2 ルートへ変更 平成 30 年度 		

II 改革・改善内容(=事務事業をよりよく実施するための方策)

令和 4 年度を含む 今後の予定・取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> ・路線バスとの連携によるコミュニティバスの利便性向上のための「バスロケーションシステム・IC カードシステム」の周知 ・車内の消毒、抗菌作業の実施、委託事業者と連携した乗務員等の感染症対策の徹底 ・乗降客数増加につなげるため委託事業者と連携した取り組み
----------------------------	--

III 事務事業の成果やコストの状況

①令和 3 年度の事業概要 及び執行状況	<ul style="list-style-type: none"> ・路線バスとの連携によるコミュニティバスの利便性向上のための「バスロケーションシステム・IC カードシステム」の導入 ・コロナ対策として消毒や抗菌、乗務員等の感染症対策の徹底 ・バス停(はなさとこども園Aコープ前)の設置工事完了(令和 3 年 5 月 17 日利用開始) ・令和 3 年 11 月 15 日～令和 3 年 11 月 19 日無料乗車キャンペーンを実施 ・令和 3 年度 利用者 西山間ルート 8,169 人(前年比 -3,179 人) 南北循環ルート 9,366 人(前年比 -2,081 人) 					
②成果を表す 指標	指標名称	R元年度	R2 年度	R3 年度	単位	算定根拠
i	利用者数	西	8,914	11,348	8,169	人
		南 北	10,996	11,447	9,366	人
	ii	コミバス回数券	9	11	8	枚
iii	IC カード	44	41	34	枚	
③事務事業のコスト		20,278	21,222	21,882	千円	

IV 評価・検討

①課題 (目的に対する現状など)	<ul style="list-style-type: none"> ・事業検証を行い、利用者の利便性向上の調整が必要
---------------------	--

令和3年度 平群町政策基本体系表(個別シート)

事務事業名	情報基盤整備事業	担当課名	款	項	目
		政策推進課	2	1	25

I 事務事業の目的・概要

①目的	対象	行政内部	意図 (対象をどうするのか)	システムの安定的運用・ デジタル化推進
②事務事業の概要		<ul style="list-style-type: none"> ・庁内情報基盤を安定的に運用しながらシステムの整備を進める。 ・デジタル化の推進により行政事務の効率を向上させる。 		
③環境分析(事業開始からの状況変化や、今年度の見込・住民意向など)		<ul style="list-style-type: none"> ・庁内ネットワークシステム三層分離(平成 28 年 3 月) ・庁内情報基盤サーバ更改(令和 2 年 2 月) ・地方公共団体における情報セキュリティポリシーに関するガイドライン等改定(令和 3 年 3 月) ・奈良県情報セキュリティクラウド更改(令和 5 年 3 月) 		

II 改革・改善内容(=事務事業をよりよく実施するための方策)

令和 4 年度を含む 今後の予定・取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> ・持続的かつ安定的なシステム運用のため組織体制を整備する。 ・これまでの業務のあり方や進め方の見直しを進め、効率的なデジタルの活用を推進し、行政サービスの向上を図るべく DX 計画を策定する。
----------------------------	---

III 事務事業の成果やコストの状況

①令和 3 年度の事業概要 及び執行状況	<ul style="list-style-type: none"> ・庁内情報ネットワーク、業務用端末、サーバの維持管理。 ・各部署のシステム導入・更新における技術的側面からの助言や業者との交渉を実施。 					
②成果を表す 指標	指標名称	R 元年度	R2 年度	R3 年度	単位	
i	インシデント	1	0	0	件数	
ii	サーバ(物理・仮想)	27	29	34	台数	
③事務事業のコスト		12,426	24,393	22,757	千円	

IV 評価・検討

①課題(目的に対する現状など)	<ul style="list-style-type: none"> ・令和 7 年度を目途に「自治体情報システムの標準化・共通化」することとなっているため、これを推進する。 ・標準化・共通化をはじめとする自治体 DX の重点取組事項に取り組むため DX 計画を策定し、全庁的な意思統一を図る。
-----------------	---

令和3年度 平群町政策基本体系表(個別シート)

事務事業名	地域公共交通連携事業	担当課名	款	項	目
		総務防災課	2	1	27

I 事務事業の目的・概要

①目的	対象	公共交通利用者	意図 (対象をどうするのか)	利便性の向上
②事務事業の概要		<ul style="list-style-type: none"> ・誰もが利用できる交通手段の確保と地域公共交通の活性化を目指し、より良い住民生活を実現するための地域公共交通を目指す。 ・令和3年10月1日から高齢者の移動困難者を対象とした、新たな移動手段「平群町デマンド型乗合タクシー」を開始する。 		
③環境分析(事業開始からの状況変化や、今後の見込・住民意向など)		<ul style="list-style-type: none"> ・コミュニティバス運行 平成23年11月から ・3ルートから2ルートへ変更 平成30年度 		

II 改革・改善内容(=事務事業をよりよく実施するための方策)

令和4年度を含む今後の予定・取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> ・令和3年10月1日よりデマンドタクシーの実施 ・高齢者の移動困難者への周知 ・高齢者運転免許証自主返納者支援事業 ・地域公共交通運行支援事業 (バス事業者1社、鉄道事業者1社、タクシー事業者1社)
----------------------	--

III 事務事業の成果やコストの状況

①令和3年度の事業概要及び執行状況	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ対策として路線バス継続安定運行のための助成 ・バスロケーションシステム、ICカードシステムの導入 ・平群駅を中心とした、公共交通機関(鉄道・バス等)と連携した交通網を形成 ・高齢者運転免許証自主返納者支援事業の実施 ・地域公共交通運行支援事業(バス事業者1社) 					
②成果を表す指標	指標名称	R元年度	R2年度	R3年度	単位	算定根拠
	i ICカード	44	41	34	枚	運転免許自主返納
	ii 登録者数	—	—	962	人	デマンド型乗合タクシー
	iii					
③事務事業のコスト		—	—	—	千円	

IV 評価・検討

①課題(目的に対する現状など)	<ul style="list-style-type: none"> ・路線バスの継続した運行 ・デマンド型乗合タクシー利用登録者増加に向けた周知
-----------------	---

令和3年度 平群町政策基本体系表(個別シート)

事務事業名	住民税等課税業務	担当課名	款	項	目
		税務課	2	2	2

I 事務事業の目的・概要

① 目的	対象	納税義務者	意図 (対象をどうするのか)	適正な課税	
②事務事業の概要		<ul style="list-style-type: none"> ・個人住民税 確定申告書及び町県民税申告書等を根拠とした、前年の所得金額に応じて適正に課税する。 ・軽自動車税(種別割) 新規、変更登録等により、種別や排気量に応じて適正に課税する。 			
③環境分析(事業開始からの状況変化や、今度の見込・住民意向など)		<ul style="list-style-type: none"> ・個人住民税:「国税電子申告・納税システム(e-tax)」(平成16年～)運用開始。 ・軽自動車税:「軽自動車検査情報市区町村提供システム(地方公共団体情報システム機構(J-LIS))」(平成28年～)により登録情報をデータで取得。 			

II 改革・改善内容(=事務事業をよりよく実施するための方策)

令和4年度を含む 今後の予定・取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> ・各税システムを有効に活用し、迅速かつ適正な業務を遂行する。
--------------------------	--

III 事務事業の成果やコストの状況

①令和3年度の事業概要 及び執行状況		<ul style="list-style-type: none"> ・課税実績 (個人)特別徴収(当初課税) 5,220名 646,834千円 普通徴収(当初課税) 4,215名 248,961千円 (軽自)種別割 (当初課税) 7,184台 45,713千円 				
②成果を表す 指標	指標名称	R元年度	R2年度	R3年度	単位	算定根拠
i	個人・特別徴収	665,757	675,506	646,834	千円	当初課税
ii	個人・普通徴収	260,046	271,437	248,961	千円	当初課税
iii	軽自動車税	42,323	43,799	45,713	千円	当初課税
③事務事業のコスト		11,325	7,473	14,971	千円	委託料・機械使用料等

IV 評価・検討

①課題(目的に対する現状など)	<ul style="list-style-type: none"> ・法改正や制度改正等に確実に対応し、税負担の公平性を確保する。
-----------------	---

令和3年度 平群町政策基本体系表(個別シート)

事務事業名	固定資産税課税業務	担当課名	款	項	目
		税務課	2	2	2

I 事務事業の目的・概要

① 目的	対象	納税義務者	意図 (対象をどうするのか)	適正な課税
②事務事業の概要		<ul style="list-style-type: none"> ・土地や家屋、償却資産の評価額に対して課税する。 ・土地、家屋については、登記簿や現場確認により状況を把握。 ・償却資産については、登記簿等により把握できないため、申告により課税する。 ・償却資産の申告促進(取り組み強化) 		
③環境分析(事業開始からの状況変化や、今度の見込・住民意向など)		<ul style="list-style-type: none"> ・土地家屋台帳管理システムの導入(平成 25～) ・償却資産について元税務署職員を採用し償却資産に係る申告促進を実施し課税強化に取り組んでいる。 		

II 改革・改善内容(=事務事業をよりよく実施するための方策)

令和4年度を含む 今後の予定・取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> ・令和 6 年度の土地の評価替えに向けて各業務委託の準備。 ・時点修正:94 地点の準備 ・償却資産の申告促進及び調査
--------------------------	---

III 事務事業の成果やコストの状況

①令和3年度の事業概要 及び執行状況	<ul style="list-style-type: none"> ・固定資産課税台帳の縦覧 ・納税通知書と共有物件納税通知書の発送 土地 7,534 件 353,862 千円、家屋 7,281 件 390,877 千円 償却資産 133 件 82,242 千円 					
②成果を表す 指標	指標名称	R 元年度	R2 年度	R3 年度	単位	算定根拠
i	土地	369,799	359,852	353,862	千円	当初課税
ii	家屋	391,840	404,076	390,877	千円	当初課税
iii	償却資産	83,348	85,278	82,242	千円	当初課税
③事務事業のコスト		25,153	16,078	13,909	千円	委託料・機械使用料等

IV 評価・検討

①課題(目的に対する現状など)	<ul style="list-style-type: none"> ・法改正や制度改正等に確実に対応し、税負担の公平性を確保する。 ・償却資産の申告を促進する。
-----------------	---

令和3年度 平群町政策基本体系表(個別シート)

事務事業名	徴収対策業務	担当課名	款	項	目
		税務課	2	2	2

I 事務事業の目的・概要

① 目的	対象	納税義務者	意図 (対象をどうするのか)	適正な課税
②事務事業の概要		<ul style="list-style-type: none"> ・滞納処分の更なる強化を図り、特に現年課税分に係る徴収強化を基本に徴収業務を行う。併せて執行停止処分も重点業務とする。 		
③環境分析(事業開始からの状況変化や、今後の見込・住民意向など)		<ul style="list-style-type: none"> ・平成 17 年度以降積極的に滞納整理を進めたことにより徴収率は上昇傾向を示してきたが、現状は頭打ちとなっているため、今後はさらなる取組みが必要である。 		

II 改革・改善内容(=事務事業をよりよく実施するための方策)

令和 4 年度を含む 今後の予定・取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> ・現年度課税分に係る収納強化を図り、収納率アップを目指す。 ・納付相談業務も随時実施する。
----------------------------	--

III 事務事業の成果やコストの状況

①令和 3 年度の事業概要 及び執行状況	<ul style="list-style-type: none"> ・未納者に対して催告書の発送や差押え処分を行った。 						
②成果を表す 指標	指標名称	R 元年度	R2 年度	R3 年度	単位	算定根拠	
	i	徴収率	98.3	98.3	98.4	%	町税全体
	ii	催告書	441	613	585	件	発送数
	iii	差押え	25	6	42	件	実施件数
③事務事業のコスト		13,925	12,819	7,375	千円	賦課徴収費	

IV 評価・検討

①課題(目的に対する現状など)	<ul style="list-style-type: none"> ・滞納処分業務を継続して実施できる職員の養成が必要。
-----------------	--

令和3年度 平群町政策基本体系表(個別シート)

事務事業名	住宅新築資金等 貸付償還業務	担当課名	款	項	目
		税務課	住宅新築資金等貸付事業特別会計		

I 事務事業の目的・概要

①目的	対象	住宅新築資金貸付者	意図 (対象をどうするのか)	債権の回収及び滞納の整理
②事務事業の概要		<ul style="list-style-type: none"> 住宅新築資金等貸付者の償還事務の推進及び滞納整理に努め、滞納件数の減少を図り、事業終結に向けた取組みを行う。 		
③環境分析(事業開始からの状況変化や、今後の見込・住民意向など)		<ul style="list-style-type: none"> 小集落改良事業が完了した事により、資金貸付事業も平成9年度をもって終了している。 令和3年度で順調債権の回収が完了したため、滞納債権の回収及び整理を進めている。特別会計の収支については令和元年度決算より黒字となっている。 		

II 改革・改善内容(=事務事業をよりよく実施するための方策)

令和4年度を含む 今後の予定・取組み内容	<ul style="list-style-type: none"> 債権回収に努め、回収困難事案に対する滞納整理を実施
-------------------------	---

III 事務事業の成果やコストの状況

①令和3年度の事業概要及び執行状況	<ul style="list-style-type: none"> 令和4年4月1日現在 貸付件数 368件 債務者 208人 完済件数 339件 債務者 193人 今後返済 29件 債務者 15人 滞納件数 29件 債務者 15人 令和3年度末 地方債残高 777千円 					
②成果を表す指標	指標名称	R元年度	R2年度	R3年度	単位	算定根拠
	i 滞納件数	31	30	29	件	各年度末
	ii 滞納額	84,288	80,020	75,599	千円	元利合計
	iii					
③事務事業のコスト		6,048	2,493	2,484	千円	特別会計全体

IV 評価・検討

①課題(目的に対する現状など)	<ul style="list-style-type: none"> 地方債償還は令和4年度に終了するが、債権の回収は継続する。引続き事業の完全終結に向け努力する。
-----------------	---

令和3年度 平群町政策基本体系表(個別シート)

事務事業名	固定資産評価審査委員会業務	担当課名	款	項	目
		監査委員事務局	2	2	3

I 事務事業の目的・概要

① 目的	対象	不服審査申出者	意図 (対象をどうするのか)	公平・中立的に審査
②事務事業の概要		<ul style="list-style-type: none"> 固定資産課税台帳に登録された事項に関する審査の申し出があった場合、課税の公平を期することを目的として、中立的な立場から不服の内容について審査を実施する。 		
③環境分析(事業開始からの状況変化や、今度の見込・住民意向など)				

II 改革・改善内容(=事務事業をよりよく実施するための方策)

令和4年度を含む 今後の予定・取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> 公平・中立的な立場から適正に審査が行えるよう、研修会に参加。
--------------------------	--

III 事務事業の成果やコストの状況

①令和3年度の事業概要 及び執行状況	<ul style="list-style-type: none"> 令和3年度審査申出件数 0件。 新型コロナウイルス感染拡大防止により固定資産評価審査委員会の開催が見送りとなった。毎年開催される研修会もオンラインでの開催となった。 					
②成果を表す 指標	指標名称	R元年度	R2年度	R3年度	単位	算定根拠
i	審査申出件数	0	0	0	件	
ii	研修	1	1	1	回	
iii						
③事務事業のコスト		49	39	1	千円	固定資産評価審査 委員会費

IV 評価・検討

①課題(目的に対する現状など)	<ul style="list-style-type: none"> 業務内容が専門的な知識を有することから、委員及び事務局職員のスキルアップを図っていく必要がある。
-----------------	--

令和3年度 平群町政策基本体系表(個別シート)

事務事業名	住民基本台帳事務	担当課名	款	項	目
		住民生活課	2	3	1

I 事務事業の目的・概要

目的	対象	住民	意図 (対象をどうするのか)	適正な処理
事務事業の概要		<ul style="list-style-type: none"> ・一番身近に接する業務(住民異動、各種証明書の交付)であり、親切・丁寧及び迅速かつ確実な窓口対応を心がけ、住民サービスの向上に努める。 		
③環境分析(事業開始からの状況変化や、今度の見込・住民意向など)		<ul style="list-style-type: none"> ・コンビニ交付 平成 30 年 3 月 1 日より開始 ・マイナンバーカードの交付事務 平成 28 年 2 月から 		

II 改革・改善内容(=事務事業をよりよく実施するための方策)

令和 4 年度を含む 今後の予定・取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> ・コンビニ交付の利用促進のための普及啓発 ・マイナンバーカードでの転入、転出手続きワンストップ化の準備作業 ・マイナンバーカード休日交付、電子証明書更新処理、時間外窓口の開設出張申請
----------------------------	---

III 事務事業の成果やコストの状況

① 令和 3 年度の事業概要 及び執行状況	<ul style="list-style-type: none"> ・人口異動 3月末人口: 18,561 人 8,151 世帯 転入:565 人 転出:500 人 出生:80 人 死亡: 239 人 ・コンビニ交付件数 住民票:707 件 印鑑証明書:473 件 ・マイナンバーカード発行件数 2,322 件 ※ 累計発行件数 7,681 件 ・電子証明書更新件数 320 件 ※ 保持者枚数 7,400 枚 						
	指標名称	R 元年度	R2 年度	R3 年度	単位	算定根拠	
	i	コンビニ交付	371	646	1,180	件	住民票、印鑑証明書
	ii	マイナンバーカード 発行件数	467	2,259	2,322	件	年度
	iii						
事務事業のコスト		68,553	89,521	106,949	千円		

IV 評価・検討

①課題(目的に対する現状など)	<ul style="list-style-type: none"> ・マイナンバー業務の処理の増加に伴い対応が長時間となり、窓口事務が混雑する傾向。 ・マイナンバーカード申請用の無料写真撮影等による申請補助。
-----------------	---

令和3年度 平群町政策基本体系表(個別シート)

事務事業名	戸籍事務	担当課名	款	項	目
		住民生活課	2	3	1

I 事務事業の目的・概要

目的	対象	住民	意図 (対象をどうするのか)	適正な処理
事務事業の概要		・届け出に基づく、戸籍処理。		
③環境分析(事業開始からの状況変化や、今度の見込・住民意向など)		・戸籍電算化システムの導入 平成21年9月から		

II 改革・改善内容(=事務事業をよりよく実施するための方策)

令和4年度を含む 今後の予定・取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> ・戸籍事務へのマイナンバー制度導入の準備作業。 ・戸籍のふりがな化事業の準備作業。 ・附票情報と住民基本台帳との突合処理。
--------------------------	---

III 事務事業の成果やコストの状況

① 令和3年度の事業概要 及び執行状況	<ul style="list-style-type: none"> ・戸籍管理 本籍数:5,756 戸籍 本籍人口数:14,365 人 ・届出件数 708 件 					
②成果を表す 指標	指標名称	R 元年度	R2 年度	R3 年度	単位	算定根拠
i	戸籍数	5,787	5,777	5,756	戸籍	年度末
ii	届出件数	723	701	708	件	年度
iii						
事務事業のコスト		住民基本 台帳事務 に計上	住民基本 台帳事務 に計上	住民基本 台帳事務 に計上	千円	

IV 評価・検討

①課題(目的に対する現状など)	・戸籍届出内容が複雑化し、対応が難しくなっているため、職員のスキルアップが急務となっている。
-----------------	--

令和3年度 平群町政策基本体系表(個別シート)

事務事業名	監査業務	担当課名	款	項	目
		監査委員事務局	2	6	1

I 事務事業の目的・概要

① 目的	対象	行政監査	意図 (対象をどうするのか)	監査の実施
② 事務事業の概要		<ul style="list-style-type: none"> ・地方自治法の規定により、特定の事務又は事業について、法令等に従って適正に処理されているかという観点に加えて、費用対効果に配慮したものになっているか、所期の成果をあげているのかなど、経済性・効率性、有効性の観点を主眼に監査を実施する。 		
③環境分析(事業開始からの状況変化や、今度の見込・住民意向など)		<ul style="list-style-type: none"> ・平成 14 年 10 月 1 日 平群町監査基準 施行 ・平成 23 年 4 月 1 日 改正 		

II 改革・改善内容(=事務事業をよりよく実施するための方策)

令和 4 年度を含む 今後の予定・取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> ・例月出納検査(毎月)の実施 ・決算審査の実施及び、意見書の作成 ・令和 3 年度財政健全化判断比率並びに資金不足比率審査の実施 ・定期監査の準備
----------------------------	--

III 事務事業の成果やコストの状況

①令和 3 年度の事業概要 及び執行状況	<ul style="list-style-type: none"> ・例月出納検査(毎月)、決算審査及び意見書の作成、財政健全化判断比率並びに資金不足比率審査、定期監査 					
②成果を表す 指標	指標名称	R 元年度	R2 年度	R3 年度	単位	算定根拠
	i 住民監査請求	3	0	0	件	
	ii					
	iii					
③事務事業のコスト		766	587	584	千円	監査委員費

IV 評価・検討

① 課題(目的に対する現状など)	<ul style="list-style-type: none"> ・地方財政の健全化に対する住民意識が高まる中、チェック機関としての監査委員の役割は益々重要となり、より高度な行政監査に向けて事務局職員の専門性を高め、スキルアップを図っていく必要がある。
------------------	---

令和3年度 平群町政策基本体系表(個別シート)

事務事業名	民生児童委員事業	担当課名	款	項	目
		福祉こども課	3	1	1

I 事務事業の目的・概要

①目的	対象	民生委員・主任児童委員	意図 (対象をどうするのか)	円滑な活動支援及び連携
②事務事業の概要		<ul style="list-style-type: none"> ・厚生労働大臣より委嘱された民生児童委員の円滑活動を支援する。 ・地域支え合い推進員と連携・協力し、住民と行政とのパイプ役として重要な役割を担う。 《任期》3年(令和1年12月1日～令和4年11月30日)		
③環境分析(事業開始からの状況変化や、今度の見込・住民意向など)		<ul style="list-style-type: none"> ・民生児童委員は、地域住民の見守り活動のほか、地域福祉・保健・医療等の連携に不可欠な存在であり、町にとって大変重要な協力団体となっている。 		

II 改革・改善内容(=事務事業をよりよく実施するための方策)

令和4年度を含む今後の予定・取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> ・令和4年度は任期満了に伴う民生児童委員の一斉改選のため、自治会や現任委員、社会福祉協議会と連携を取りながら、委嘱に向け事務を進めている。また、引き続き、行政と民生児童委員が協力し、地域住民の見守り活動等に取組んでいきたい。
----------------------	--

III 事務事業の成果やコストの状況

①令和3年度の事業概要及び執行状況	<ul style="list-style-type: none"> ・安心見守り事業を、地域支え合い推進員と共に活動して頂いている。また、対象者把握のため福祉名簿を提供することで、地域の見守り活動をより効率的に実施している。 					
②成果を表す指標	指標名称	R元年度	R2年度	R3年度	単位	算定根拠
	i 民生委員	36	35	35	人	定数 37人
	ii 主任児童委員	2	2	2	人	定数 2人
	iii 計	38	37	37	人	定数 39人
③事務事業のコスト		3,622	3,622	3,688	千円	

IV 評価・検討

①課題 (目的に対する現状など)	<ul style="list-style-type: none"> ・民生児童委員の高齢化等により、選任できていない地区がでてきている。
---------------------	--

令和3年度 平群町政策基本体系表(個別シート)

事務事業名	国民健康保険事業	担当課名	款	項	目
		健康保険課	国民健康保険特別会計		

I 事務事業の目的・概要

①目的	対象	被保険者	意図 (対象をどうするのか)	円滑な保険事業
②事務事業の概要		<ul style="list-style-type: none"> 国民健康保険は、国民皆保険制度の礎として市町村が保険者として運営してきたが、平成 30 年度より県単位化され、県が財政運営を担い、市町村は納付金を納める方式となった。令和 6 年度の制度完成に向けて現在進んでいるところである。国民健康保険は、社会保障及び国民保健の向上に寄与することを目的とする。 		
③環境分析(事業開始からの状況変化や、今後の見込・住民意向など)		<ul style="list-style-type: none"> 平成 30 年度から令和 6 年度の県単位化の制度完成に向け、昨年度、国保運営方針の中間見直しが行われる予定であったが、コロナ禍により医療状況に影響が生じたため大きな改正は行われなかった。令和 4 年度中には国保運営方針の見直しが検討されているため、今後の動向を注視していく。令和 3 年度も単年度で黒字決算となった。 <p>◇被保険者数の推移 R1)4,507 人 R2)4,359 人 R3)4,258 人 (各年度末現在)</p>		

II 改革・改善内容(=事務事業をよりよく実施するための方策)

令和 4 年度を含む 今後の予定・取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> 令和 4 年度に国保税率改正を行い、一部減税を実施する。 コロナ禍による収入減少により、生活が困難となった国保世帯への保険税減免、納付猶予等による支援を行う。 特定健診の受診勧奨及び人間ドック等の総合健診助成事業の実施による病気の早期発見、重症化予防に努める。
----------------------------	--

III 事務事業の成果やコストの状況

①令和 3 年度の事業概要 及び執行状況	<ul style="list-style-type: none"> 税込確保の為(コンビニ納付や口座振替の推奨等)収納率向上に努めた。 特定健診対象者への受診勧奨や、人間ドック受診のPRに努めた。 					
成果を表す 指標	指標名称	R 元年度	R2 年度	R3 年度 (速報値)	単位	算定根拠
i	特定健診受診率	43.9	40.2	39.9	%	受診者数/対象者数
ii	保険税収納率	97.3	98.0	97.8	%	収納額/調定額
iii	保険給付費	1,637,967	1,540,249	1,604,160	千円	
③事務事業のコスト		622,928	589,604	648,455	千円	県納付金

IV 評価・検討

①課題 (目的に対する現状など)	<ul style="list-style-type: none"> 令和 6 年度の県単位化完成までの最終段階に入るため、これからの国保運営の安定維持を目指し、引き続き県単位化完成に向けての情報収集を行っていく。
---------------------	--

令和3年度 平群町政策基本体系表(個別シート)

事務事業名	地域包括支援センター	担当課名	款	項	目
		福祉こども課	3	1	2

I 事務事業の目的・概要

①目的	対象	高齢者等	意図 (対象をどうするのか)	様々な暮らしのサポート
②事務事業の概要		<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者が住み慣れた地域でできる限り継続して生活を送れるよう、適切なサービスや支援を行う。 		
③環境分析(事業開始からの状況変化や、今後の見込・住民意向など)		<ul style="list-style-type: none"> ・地域包括支援センター 平成 18 年から ・平成 27 年から平群町社会福祉協議会に委託 		

II 改革・改善内容(=事務事業をよりよく実施するための方策)

令和 4 年度を含む 今後の予定・取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者が住み慣れた地域でできる限り継続して生活を送れるよう、適切なサービスや支援を引き続き行う。
----------------------------	---

III 事務事業の成果やコストの状況

①令和 3 年度の事業概要 及び執行状況	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者が住み慣れた地域でできる限り継続して生活を送れるように、個々の高齢者の状況やその変化に応じた適切なサービスや多様な支援を行う。 					
②成果を表す 指標	指標名称	R 元年度	R2 年度	R3 年度	単位	算定根拠
i	総合相談事業	2,513	2,406	2,331	件	
ii	介護予防事業	39	24	41	回	
iii	認知症対策事業	45	12	28	回	
iv	認知症相談事業等	15	12	18	件	
③事務事業のコスト		665	380	650	千円	

IV 評価・検討

①課題 (目的に対する現状など)	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナの感染対策を行いながら事業を再開しているが、感染状況により中止となった事業もある。今後も引き続き感染対策を講じて、事業を継続していく。
---------------------	---

令和3年度 平群町政策基本体系表(個別シート)

事務事業名	介護保険事業	担当課名	款	項	目
		福祉こども課	介護保険事業特別会計		

I 事務事業の目的・概要

①目的	対象	第1号被保険者 (65歳以上)	意図 (対象をどうするのか)	適正な保険事業の実施
②事務事業の概要		<ul style="list-style-type: none"> ・介護保険制度に基づき、保険事業の適正運用及び介護給付の適正化・福祉サービスの充実を図る。 		
③環境分析(事業開始からの状況変化や、今後の見込・住民意向など)		<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者が生きがいに満ち暮らし続けるためには、「健康寿命」の延伸が重要であり、必要に応じて適切なサービスを受けられることが大切である。 		

II 改革・改善内容(=事務事業をよりよく実施するための方策)

令和4年度を含む 今後の予定・取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> ・第8期計画における介護予防、認知症施策、移動支援の充実に関する事業(保健福祉事業)を推進するとともに、医療と介護の一体的な事業の推進について関係機関と連携を取り検討していく。
--------------------------	--

III 事務事業の成果やコストの状況

①令和3年度の事業概要及び執行状況	<ul style="list-style-type: none"> ・介護サービス提供に係る給付費の支払い及び公費負担の財源申請事務、介護給付費適正化のための介護サービス利用者全員に年4回給付費支払明細書を送付した。 					
②成果を表す指標	指標名称	R元年度	R2年度	R3年度	単位	算定根拠
i ii iii iv	被保険者数	7,069	7,065	7,129	人	3月末時点
	要介護認定者数	1,258	1,257	1,334	人	
	高齢者数(65歳以上)	7,079	7,073	7,136	人	
	高齢化率	37.7%	37.9%	38.4%		
	後期高齢者数(75歳以上)	3,737	3,821	3,991	人	
③事務事業のコスト		1,694,489	1,807,788	1,887,453	千円	介護保険総給付費

IV 評価・検討

①課題 (目的に対する現状など)	<ul style="list-style-type: none"> ・介護保険給付費は、年々増加傾向にあり、令和7年に向けて団塊世代が後期高齢者となるため、更に、給付費が増大するものと考えている。
---------------------	--

令和3年度 平群町政策基本体系表(個別シート)

事務事業名	緊急通報サービス事業	担当課名	款	項	目
		福祉こども課	介護保険事業特別会計		

I 事務事業の目的・概要

①目的	対象	ひとり暮らし高齢者・ 高齢者のみの世帯等	意図 (対象をどうするのか)	緊急通報装置を設置し、緊急時の連絡体制を確保する。
②事務事業の概要		<ul style="list-style-type: none"> ・ひとり暮らしの高齢者等を対象に、緊急時の連絡体制を確保するための通報装置(固定型・携帯型)を設置し、安全・安心な暮らしをサポートする。 ・コールセンターにより24時間365日対応し、緊急時の駆けつけや医療相談など迅速かつ適切な対応を行う。 		
③環境分析(事業開始からの状況変化や、今後の見込・住民意向など)		<ul style="list-style-type: none"> ・緊急通報により大事に至らなかったケースがあることから、緊急時の連絡体制を確保することは重要である。 		

II 改革・改善内容(=事務事業をよりよく実施するための方策)

令和4年度を含む 今後の予定・取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> ・安全・安心な暮らしをサポートするため、引き続き、広報紙やホームページへの掲載等により事業の周知を行うとともに、要介護認定の申請の際に窓口においてサービスの説明を行うなど周知を図っていく。
--------------------------	--

III 事務事業の成果やコストの状況

①令和3年度の事業概要及び執行状況	<ul style="list-style-type: none"> ・令和2年度に引き続き、民生児童委員による普及啓発の協力や、窓口対応の中でのサービス紹介、広報での周知などにより利用者の増加を図った。 						
②成果を表す指標	指標名称	R元年度	R2年度	R3年度	単位	算定根拠	
iii	i	利用者数	183	268	257	人	3月末時点
	ii	固定型:携帯型	180:3	222:46	204:53	台	
	通報件数		134	161	182	件	
	内訳	相談等	123	150	174		
		緊急	11	11	8		
③事務事業のコスト		3,587	4,365	5,651	千円	固定:1,650円/月 携帯:2,420円/月	

IV 評価・検討

①課題 (目的に対する現状など)	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢化に併せ、コロナ禍における外出自粛なども相まって、見守りの必要なひとり暮らしの高齢者等が増加している。
---------------------	--

令和3年度 平群町政策基本体系表(個別シート)

事務事業名	食の自立支援サービス	担当課名	款	項	目
		福祉こども課	介護保険事業特別会計		

I 事務事業の目的・概要

①目的	対象	ひとり暮らし高齢者・ 高齢者のみの世帯等	意図 (対象をどうするのか)	配食サービスによる 食の自立支援と見守り
②事務事業の概要		<ul style="list-style-type: none"> ・ひとり暮らしの高齢者等が希望された配食日に、定期的に栄養バランスの良い食事(昼食)を配食し、食の自立と利用者の安否確認を行い、安心安全な暮らしをサポートする。 ※1食あたり850円(自己負担額400円、町負担額450円) 		
③環境分析(事業開始からの状況変化や、今度の見込・住民意向など)		<ul style="list-style-type: none"> ・配食当日に調理された栄養バランスのよい食事(昼食)を提供している。また、食器にも専用の器を使用していることから、大変喜ばれている。 		

II 改革・改善内容(=事務事業をよりよく実施するための方策)

令和4年度を含む 今後の予定・取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> ・食の自立支援サービスについて、引き続き、広報紙およびホームページに掲載し周知を図り、高齢者の自立した生活の支援を行う。
--------------------------	--

III 事務事業の成果やコストの状況

①令和3年度の事業概要 及び執行状況	<ul style="list-style-type: none"> ・食の自立を支援するための配食サービスを継続して実施している。過去に、配食の際、自宅内で倒れられていた方を発見して頂いたケースもあることから、引き続き委託事業者に見守りを含めた配食サービスを依頼している。 					
②成果を表す 指標	指標名称	R元年度	R2年度	R3年度	単位	算定根拠
i	利用者数	51	54	59	人	3月末時点
ii	延べ配食数	9,469	9,599	10,732	食/年	
iii						
③事務事業のコスト		4,261	4,320	4,829	千円	町負担分:450円/食

IV 評価・検討

①課題 (目的に対する現状など)	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢化率がますます増加する中で、高齢者の健康長寿を推進するため食の自立と安否確認を引き続き行う。
---------------------	---

令和3年度 平群町政策基本体系表(個別シート)

事務事業名	障害福祉事業	担当課名	款	項	目
		福祉こども課	3	1	4

I 事務事業の目的・概要

① 目的	対象	障がい者	意図 (対象をどうするのか)	障害福祉事業の給付
② 事務事業の概要		<p>【誰もが住み慣れた地域で安心して暮らせるように障害福祉サービスの支援を図る】 (主な事業)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・介護訓練等給付事業(障がい者で生活上又は療育上の必要な介護、訓練等、就労等のサービスに伴う給付) ・障害児施設給付事業(18歳未満の障がい児で日常生活や集団生活の能力向上等に必要療育のサービスに伴う給付) 		
③ 環境分析(事業開始からの状況変化や、今度の見込・住民意向など)		<ul style="list-style-type: none"> ・扶助費は年々増加傾向にあるが、社会保障制度に基づく義務的な経費として制度の維持に努める。 ・扶助費の伸び:9.7%(R3/R2)、9.0%(R2/R1)、12.2%(R1/H30) 		

II 改革・改善内容(=事務事業をよりよく実施するための方策)

令和4年度を含む今後の予定・取り組み内容	・広域7町で障害者福祉事業の協議を図りながら継続実施に努める。
----------------------	---------------------------------

III 事務事業の成果やコストの状況

① 令和3年度の事業概要及び執行状況	・障害福祉事業の相談及び支援の実施					
② 成果を表す指標	指標名称	R元年度	R2年度	R3年度	単位	算定根拠
i	手帳認定者数	1,182	1,192	1,195	人	身体障害者手帳・療育手帳・精神障害保健福祉手帳数の合計
ii	介護訓練等給付受給者数	146	151	168	人	
iii	障害児施設給付受給者数	65	82	88	人	
③ 事務事業のコスト		396,084	431,742	473,725	千円	

IV 評価・検討

① 課題 (目的に対する現状など)	・障害等への理解が進み、障害福祉の扶助費が年々増加している。また、障害福祉サービスについての公平・適正に支給している。
----------------------	---

令和3年度 平群町政策基本体系表(個別シート)

事務事業名	子ども等医療費助成事業	担当課名	款	項	目
		健康保険課	3	1	9

I 事務事業の目的・概要

① 目的	対象	平群町に住所を有する18歳に達する日以後の最初の3月31日までの年齢の方	意図 (対象をどうするのか)	医療費の全額助成
② 事務事業の概要		<ul style="list-style-type: none"> ・乳幼児及び子どもに係る医療費を助成し、乳幼児及び子どもの健康の保持及び福祉の増進を図る。 ・0歳～高校3年生までの入院・通院の医療費全額助成（所得制限なし、一部負担金なし）《県基準》 ・0歳～中学3年生までの入院・通院の医療費助成（所得制限あり、一部負担金あり） 		
③ 環境分析(事業開始からの状況変化や、今後の見込・住民意向など)		<ul style="list-style-type: none"> ・平成28年8月診療分から、医療費助成を高校3年生までに拡充 ・令和元年8月診療分から未就学児の現物給付開始 		

II 改革・改善内容(=事務事業をよりよく実施するための方策)

令和4年度を含む今後の予定・取り組み内容	・子ども等医療費助成事業の継続実施に努める。
----------------------	------------------------

III 事務事業の成果やコストの状況

① 令和3年度の事業概要及び執行状況	・令和2年度については、新型コロナウイルスの影響等により医療の受診控えにより医療費が減少していたが、例年に戻りつつある。					
② 成果を表す指標	指標名称	R元年度	R2年度	R3年度	単位	算定根拠
	i 就学前	720	690	718	人	
	ii 小中学生	1,149	1,174	1,113	人	
	iii 高校生	446	466	469	人	
	iv 計	2,315	2,330	2,300	人	
② 事務事業のコスト		58,691	46,502	57,275	千円	

IV 評価・検討

① 課題(目的に対する現状など)	・高校3年生まで現物給付が導入されるよう、引き続き県への働きかけを行う。
------------------	--------------------------------------

令和3年度 平群町政策基本体系表(個別シート)

事務事業名	プリズムへぐり管理業務	担当課名	款	項	目
		健康保険課	3	1	32

I 事務事業の目的・概要

①目的	対象	施設利用者	意図 (対象をどうするのか)	適切に管理
②事務事業の概要		<ul style="list-style-type: none"> ・福祉、健康、教育の交流、憩いの場として適切な管理運営を行う。 		
③環境分析(事業開始からの状況変化や、今度の見込・住民意向など)		<ul style="list-style-type: none"> ・平成11年 開所 		

II 改革・改善内容(=事務事業をよりよく実施するための方策)

令和4年度を含む 今後の予定・取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> ・適切な施設管理を実施(設備管理等に係る委託契約) ・(5月)避難消火訓練 ・新型コロナワクチン集団接種実施
--------------------------	--

III 事務事業の成果やコストの状況

①令和3年度の事業概要 及び執行状況	<ul style="list-style-type: none"> ・令和2年度においてコロナ対策として1階空調設備の改修工事を実施 ・新型コロナワクチン集団接種実施 					
②成果を表す 指標	指標名称	R元年度	R2年度	R3年度	単位	算定根拠
	i 利用料収入	742	596	546	千円	
	ii ワクチン接種	—	—	25,232	人	
	iii					
① 事務事業のコスト		19,157	47,633	17,356	千円	

IV 評価・検討

①課題(目的に対する現状など)	<ul style="list-style-type: none"> ・開所後20年を超えており、大規模な施設改修が必要。
-----------------	--

令和3年度 平群町政策基本体系表(個別シート)

事務事業名	後期高齢者医療制度	担当課名	款	項	目
		健康保険課	後期高齢者医療特別会計		

I 事務事業の目的・概要

①目的	対象	後期高齢者	意図 (対象をどうするのか)	適正な保険事業
②事務事業の概要		<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者の医療を国民全体で支え、将来にわたって安心して医療を受けられることができる制度として発足後、幾多の制度改正が行われ現在に至っている。奈良県後期高齢者医療広域連合が保険者の役割を果たし、市町村と事務を分担して運営を行っている。 ・基準保険料率(均等割額・所得割率)は、2年ごとに見直される。 		
③環境分析(事業開始からの状況変化や、今度の見込・住民意向など)		<p>平成20年4月から運用。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・被保険者数の増加や医療技術の発展による医療給付費が拡大しているため、自己負担額の見直しが国で検討され、令和4年10月から一定以上所得のある方は、医療費の自己負担額が1割から2割負担になる。(現役並み所得者は3割) 但し、2割負担となる方は外来医療について、施行後3年間、1割負担と比べたときの1か月の負担増加額を最大でも3,000円までに抑える措置がある。 ・保険料について、今後の推移をみながら奈良県後期高齢者医療広域連合で検討される。(令和4・5年度 均等割額 50,500円・所得割率 9.93%) <p>被保険者数の推移 R1)3,721人 R2)3,804人 R3)3,965人(各年度末現在)</p>		

II 改革・改善内容(=事務事業をよりよく実施するための方策)

令和4年度を含む今後の予定・取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> ・令和4年10月からの自己負担額「2割」導入に伴い、被保険者証を7月と9月の2回発送する。 1回目 令和4年8月1日から令和4年9月30日までの被保険者証 2回目 令和4年10月1日から令和5年7月31日までの被保険者証 ・業務や制度改正に対し、奈良県後期高齢者医療広域連合と連携しながら、それぞれの事務を分担して運営を行っていく。 ・健康診査の受診勧奨及び人間ドック等の総合健診助成事業の実施による病気の早期発見、重症化予防に努める。
----------------------	--

III 事務事業の成果やコストの状況

① 令和3年度の事業概要及び執行状況	<ul style="list-style-type: none"> ・均等割額被保険者一人当たり 48,100円、所得割率 9.41% ・保険料の均等割の軽減特例の実施 ・健康診査対象者への受診勧奨や、人間ドック受診のPRに努めた。 					
②成果を表す指標	指標名称	R元年度	R2年度	R3年度	単位	算定根拠
i	健康診査受診率	38.6	38.2	34.9	%	受診者数/対象者数
ii	保険料収納率	99.7	99.9	99.9	%	収納額/調定額
iii	保険給付費	3,276,419	3,155,564	3,286,571	千円	
② 事務事業のコスト		632,939	685,190	700,455	千円	療養給付費負担金及び広域連合納付金

IV 評価・検討

①課題(目的に対する現状など)	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も業務や制度改正に対し、奈良県後期高齢者医療広域連合と連携しながら、それぞれの事務を分担して運営を行っていく。
-----------------	--

令和3年度 平群町政策基本体系表(個別シート)

事務事業名	住民税非課税世帯等に対する臨時特別給付金	担当課名	款	項	目
		福祉こども課	3	1	38

I 事務事業の目的・概要

①目的	対象	住民税非課税世帯	意図 (対象をどうするのか)	コロナ対策(国施策)
②事務事業の概要		<ul style="list-style-type: none"> 「コロナ克服・新時代開拓のための経済対策」(令和3年11月19日閣議決定)の趣旨を踏まえ、新型コロナウイルス感染症の影響が長期化する中、様々な困難に直面した方々が、速やかに生活・暮らしの支援を受けられるよう、住民税非課税世帯等に対して、臨時的な措置として1世帯あたり10万円を給付する。 		
③環境分析(事業開始からの状況変化や、今年度の見込・住民意向など)		<ul style="list-style-type: none"> 該当世帯に対し、確認書の返送によるプッシュ型給付を行った。町広報紙やホームページ、SNSでの周知や確認書未返送世帯への勧奨通知を重ね重ね発送することで、該当の対象者に給付を行った。 		

II 改革・改善内容(=事務事業をよりよく実施するための方策)

令和4年度を含む今後の予定・取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> 令和3年度の当該給付金における申請型であった家計急変世帯について、令和4年度の税情報の確定に伴いプッシュ型給付で事業実施を行う。(国施策)
----------------------	---

III 事務事業の成果やコストの状況

①令和3年度の事業概要及び執行状況	<ul style="list-style-type: none"> 令和4年1月20日付でプッシュ型給付対象見込み者に確認書を発送し、対象者に給付金の支払いを行った。また、申請型の家計急変世帯についても、申請者すべてに給付金の支払いを行った。 			
②成果を表す指標	指標名称	R3年度	単位	算定根拠
i	住民税非課税世帯(プッシュ型:申請型)	1,670	世帯	確認書送付:1,755世帯
ii	家計急変世帯(申請型)	7	世帯	
iii				
③事務事業のコスト		171,450	千円	事業費:167,700千円 事務費: 3,750千円

IV 評価・検討

①課題 (目的に対する現状など)	<ul style="list-style-type: none"> 申請が必要な家計急変世帯の方については、対象者が特定できなかったが、国の制度変更に伴い、令和4年度の家計急変世帯の対象見込み者へも確認書を送付し、プッシュ型で給付を行うこととなった。
---------------------	---

令和3年度 平群町政策基本体系表(個別シート)

事務事業名	支援対象児見守り強化事業	担当課名	款	項	目
		福祉こども課	3	2	1

I 事務事業の目的・概要

④ 目的	対象	支援対象者	意図 (対象をどうするのか)	新型コロナウイルス感染症の影響により生活が困窮状態にある子育て世帯を対象とした見守り事業
⑤ 事務事業の概要		<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍における生活困窮状態にある子育て世帯に対して、訪問や電話等により子ども等の状況把握・相談支援、関係機関への連携及び食材の提供を通じて子どもの見守り体制の強化を図る。(社会福祉協議会に委託) 		
③環境分析(事業開始からの状況変化や、今度の見込・住民意向など)		<ul style="list-style-type: none"> ・町広報誌、ホームページ、社協だより、小・中学校等へのチラシ配布により周知・啓発を図り事業利用へとつなげた。 		

II 改革・改善内容(=事務事業をよりよく実施するための方策)

令和4年度を含む今後の予定・取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> ・令和4年度も引き続き子育て支援等を行う。
----------------------	---

III 事務事業の成果やコストの状況

①令和3年度の事業概要及び執行状況	<ul style="list-style-type: none"> ・令和3年度から事業実施しており、対象児童の見守りを行った。 					
②成果を表す指標	指標名称	R元年度	R2年度	R3年度	単位	算定根拠
	i 世帯数	—	—	402	世帯	延べ人数
	ii 支援児童数	—	—	837	人	
	iii 人数	—	—	1,521	人	
⑥ 事務事業のコスト		—	—	2,320	千円	

IV 評価・検討

①課題 (目的に対する現状など)	<ul style="list-style-type: none"> ・生活困窮世帯の把握が難しいため、引き続き広く事業周知に努め見守り強化を行う。
---------------------	---

令和3年度 平群町政策基本体系表(個別シート)

事務事業名	町外保育事業	担当課名	款	項	目
		福祉こども課	3	2	1

I 事務事業の目的・概要

⑦ 目的	対象	保護者	意図 (対象をどうするのか)	町外保育の支援
⑧ 事務事業の概要		・保護者の勤務先等の都合による町外施設の利用や、年度途中での転入により、転入前施設を利用する場合等は、広域入所(町外保育)による市町村委託を行う。		
③環境分析(事業開始からの状況変化や、今度の見込・住民意向など)		・町外保育は、主に保護者の勤務等により一定数の利用がある。 ※令和3年度の町外保育: 阪奈中央こぐま園(生駒市)、ソフィア東生駒こども園(生駒市)、生駒市立あすか野幼稚園(生駒市)、慶生会上町みどり保育園(大阪市)		

II 改革・改善内容(=事務事業をよりよく実施するための方策)

令和4年度を含む今後の予定・取り組み内容	・町外保育事業の継続実施により子育て支援に努める。
----------------------	---------------------------

III 事務事業の成果やコストの状況

①令和3年度の事業概要及び執行状況	・町外保育の利用については、年度毎に変動する。					
②成果を表す指標	指標名称	R 元年度	R2 年度	R3 年度	単位	算定根拠
i	利用児数	0~2 歳児	9	3	1	人
	3 歳児	1	1	2	人	
	4~5 歳児	5	1	1	人	
	計	15	5	4	人	
⑨ 事務事業のコスト		13,434	4,496	2,447	千円	

IV 評価・検討

①課題 (目的に対する現状など)	・各市町村において、市町村内の子どもだけで、定員を満たす市町村が多くなっており、町外保育の受け入れが困難になってきている。
---------------------	---

令和3年度 平群町政策基本体系表(個別シート)

事務事業名	西和地域病児保育	担当課名	款	項	目
		福祉こども課	3	2	1

I 事務事業の目的・概要

⑩ 目的	対象	平群町・三郷町・斑鳩町・上牧町・王寺町に住所を有する生後6ヶ月～小学6年生までの児童	意図 (対象をどうするのか)	病児・病後児保育
⑪ 事務事業の概要		・仕事の都合により、家庭での保育が困難な保護者に代わり、病気中の子どもや病気回復期にある子どもを一時的に預かる病児・病後児保育を行う。 ※利用料:2,000円/日(生活保護・住民税非課税世帯は無料)		
⑬ 環境分析(事業開始からの状況変化や、今後の見込・住民意向など)		・西和5町(平群町・三郷町・斑鳩町・上牧町・王寺町)連携協定で病児保育を設定しており利用者数も増えている。		

II 改革・改善内容(=事務事業をよりよく実施するための方策)

令和4年度を含む今後の予定・取り組み内容	・西和地域病児保育事業の利用者数等を増やすため、引き続き、周知・啓発に努める。
----------------------	---

III 事務事業の成果やコストの状況

① 令和3年度の事業概要及び執行状況		・前年度と比較すると登録世帯数や利用者数も増加している。					
② 成果を表す指標	指標名称	R元年度	R2年度	R3年度	単位	算定根拠	
i	登録世帯数	平群町	9	18	29	世帯	
		5町	93	166	232		
ii	登録児童数	平群町	14	28	42	人	
		5町	143	248	336		
iii	利用人数	平群町	8	3	26	人	
		5町	48	78	167		
⑫ 事務事業のコスト		2,875	2,287	2,598	千円	運営費等の負担金	

IV 評価・検討

① 課題 (目的に対する現状など)	・登録児童の大部分は未就学児であり直接こども園等の保護者へ事業周知のチラシを配布するなど周知を重ね重ね実施した結果、登録者数は増加している。
----------------------	--

令和3年度 平群町政策基本体系表(個別シート)

事務事業名	子育て世帯生活支援 特別給付金事業	担当課名	款	項	目
		福祉こども課	3	2	2

I 事務事業の目的・概要

⑬ 目的	対象	支援対象者	意図 (対象をどうするのか)	支援対象児 1人当たり 5万円の支給
⑭ 事務事業の概要		<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえて、子育て世帯に対して対象世帯で養育されている児童 1人あたり 5万円の現金を給付する。(ひとり親世帯分は奈良県から、ひとり親世帯以外分は平群町から支給) 		
⑮ 環境分析(事業開始からの状況変化や、今後の見込・住民意向など)		<ul style="list-style-type: none"> ・子育て世帯への支援として、児童手当給付者等の大半の対象者に対して申請不要でプッシュ型給付を行った。また、町広報誌やホームページ、SNSでの周知や対象見込み者へ通知を行い、該当の対象者に給付を行った。 		

II 改革・改善内容(=事務事業をよりよく実施するための方策)

令和4年度を含む 今後の予定・取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> ・令和4年度も前年度と同様に国施策として実施している。
--------------------------	---

III 事務事業の成果やコストの状況

⑯ 令和3年度の事業概要 及び執行状況	<ul style="list-style-type: none"> ・対象者には個別にて案内通知を送付し、大部分の対象者へは申請不要でプッシュ型で早急に支給を行った。また町HP・SNS及び広報にて制度周知を行った。 					
⑰ 成果を表す 指標	指標名称	R元年度	R2年度	R3年度	単位	算定根拠
i	ひとり親世帯(支給世帯)	—	—	128	世帯	
ii	ひとり親世帯(支給人数)	—	—	192	人	
iii	ひとり親以外世帯 (支給世帯)	—	—	107	世帯	
iv	ひとり親以外世帯 (支給人数)	—	—	201	人	
⑱ 事務事業のコスト				11,672	千円	

IV 評価・検討

⑲ 課題 (目的に対する現状など)	<ul style="list-style-type: none"> ・子育て世代に対する早急な給付により子育て支援へとつなげることができ、令和4年度も引き続き実施。
----------------------	--

令和3年度 平群町政策基本体系表(個別シート)

事務事業名	児童手当支給事業	担当課名	款	項	目
		福祉こども課	3	2	2

I 事務事業の目的・概要

⑯ 目的	対象	手当受給者	意図 (対象をどうするのか)	児童手当の支給
⑰ 事務事業の概要		<ul style="list-style-type: none"> ・児童を養育している方に手当を支給することにより、家庭における生活安定に寄与することを目的として実施している。 ・3歳未満:15,000円/月、3歳以上小学校終了前:10,000円/月(第3子以降15,000円/月)、中学生:10,000円/月、所得制限限度額以上の世帯の児童:5,000円/月 		
⑳ 環境分析(事業開始からの状況変化や、今後の見込・住民意向など)		<ul style="list-style-type: none"> ・子育て世帯への支援は今後も必要 		

II 改革・改善内容(=事務事業をよりよく実施するための方策)

令和4年度を含む今後の予定・取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> ・令和4年度から支給に関する事務手続き等の変更に伴い周知・啓発の実施。 ・現況届は原則不要 ・所得制限限度額以上の世帯の内、一定所得以上の者(概ね年収1,200万円以上)に対して令和4年10月分から支給停止
----------------------	---

III 事務事業の成果やコストの状況

① 令和3年度の事業概要及び執行状況	<ul style="list-style-type: none"> ・児童手当の受給者や対象児童数は減少している。 					
② 成果を表す指標	指標名称	R元年度	R2年度	R3年度	単位	算定根拠
	i 受給者数	1,131	1,110	1,071	世帯	※公務員を除く
	ii 対象児童数	1,840	1,786	1,733	人	※公務員を除く
	iii					
⑱ 事務事業のコスト		237,455	231,025	224,725	千円	

IV 評価・検討

① 課題 (目的に対する現状など)	<ul style="list-style-type: none"> ・少子化に伴い、年々給付金は減少している。また、国の制度改正に伴う周知の徹底を図る。
----------------------	--

令和3年度 平群町政策基本体系表(個別シート)

事務事業名	子育て家庭の拠点づくり	担当課名	款	項	目
		福祉こども課	3	2	7

I 事務事業の目的・概要

①目的	対象	支援センター利用者	意図 (対象をどうするのか)	育児の応援と不安の解消
②事務事業の概要		<ul style="list-style-type: none"> ・子育て中の未就学親子が来館し、親子での触れ合いを深める。 ・地域での親同士の繋がりが減少する中で、支援センターを通じて同年齢・異年齢間の親同士の繋がりを深めるとともに、家庭での子育てへの負担軽減を図る。 ・乳幼児から18歳までの子育てや(不登校等)教育相談・支援を実施する。 ・未就園児(3か月～)の有償託児を実施する。 ・子ども用品の貸し出し、衣服のリサイクルを行う。 		
③環境分析(事業開始からの状況変化や、今度の見込・住民意向など)		<ul style="list-style-type: none"> ・5次総計年間目標指数…13,000人 ※3歳児からの子ども園無償化、出生数の減少、新型コロナウイルス感染拡大等で利用者数の減少は避けられないが、利用者の満足度を増す。 		

II 改革・改善内容(=事務事業をよりよく実施するための方策)

令和4年度を含む 今後の予定・取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> ・様々な機会を通じて支援センター利用の広報活動に努める。 ・親子で居心地の良い支援センターの環境や雰囲気作りを行う。 ・リピーターを増やし信頼関係を築いて各種相談活動(子育て・健康・食事・教育等)を充実させる。
--------------------------	---

III 事務事業の成果やコストの状況

①令和3年度の事業概要及び執行状況	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染が収束しない中で各種制限を余儀なくされた。 ・未就園の0歳・1歳・2歳児親子の利用率が高くリピーターが多い。 ・年齢別講座への参加意欲が高く定員を超えて抽選になる場合も有った。 ・就学後の教育相談や支援(不登校等)への対応が増した。 					
②成果を表す指標	指標名称	R元年度	R2年度	R3年度	単位	算定根拠
	i 利用者数	11,424	10,921	10,717	人	
	ii					
	iii					
③事務事業のコスト		—	—	—	千円	

IV 評価・検討

①課題(目的に対する現状など)	<ul style="list-style-type: none"> ・子育て親子の減少や子ども園への入園等により来館者は年々減少傾向にあるが、活動内容や相談活動の充実に努め、支援センター利用者の満足度を増す。
-----------------	--

令和3年度 平群町政策基本体系表(個別シート)

事務事業名	親育ち・子育て支援の充実	担当課名	款	項	目
		福祉こども課	3	2	7

I 事務事業の目的・概要

①目的	対象	子育てをする保護者	意図 (対象をどうするのか)	講座や託児の実施
②事務事業の概要		<ul style="list-style-type: none"> ・年齢別講座(0・1・2歳)を企画して希望者を募り行う。 ・同年齢で組織したサークル活動を支援して、親の自主的活動を促す。 ・新型コロナウイルス感染対策をしながら安全な各種行事を企画実施する。 ・乳児有償託児(3カ月～1歳)を実施する。 		
③環境分析(事業開始からの状況変化や、今年度の見込・住民意向など)		<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染予防の面から年齢別講座の人数制限を行う。イベントは中止して、各種行事は密にならず短時間で終わるものを企画実施する。 		

II 改革・改善内容(=事務事業をよりよく実施するための方策)

令和4年度を含む 今後の予定・取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> ・昨年度のアンケート調査結果を活かして講座の充実を図る。 ・有償託児の年齢枠を広げて(乳児→未就園児へ)子育て中の保護者の緊急時等への要望に応える。
--------------------------	---

III 事務事業の成果やコストの状況

①令和3年度の事業概要 及び執行状況	<ul style="list-style-type: none"> ・年齢別講座 0歳児コース 21回(102名)、1歳児コース 12回(189名)、3歳児コース 18回(346名)、計 51回(637名) ・教育相談・支援 不登校等教育相談(331件) 教育支援人数(1,056人) ・乳児有償託児 18回(53時間) 					
②成果を表す 指標	指標名称	R元年度	R2年度	R3年度	単位	算定根拠
	i 講座参加人数	1,109	506	637	人	
	ii 教育支援人数	475	764	1,056	人	
	iii 有償託児時間数			53	時間	
③事務事業のコスト					千円	

IV 評価・検討

①課題(目的に対する現状など)	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染が収束しない中で、安全な利用や講座&行事实施等に努める。 ・支援センター内での各種相談や支援事業(子育て・教育・不登校等)が重きを増す中で充実に努める。
-----------------	---

令和3年度 平群町政策基本体系表(個別シート)

事務事業名	放課後児童健全育成事業	担当課名	款	項	目
		教育委員会	3	2	8

I 事務事業の目的・概要

① 目的	対象	放課後児童	意図 (対象をどうするのか)	保育の支援
② 事務事業の概要		<ul style="list-style-type: none"> ・児童福祉法等に基づき、保護者等の就労等による放課後児童の保育のため、各小学校に学童保育所を設置・運営し、児童の安全な遊び場の確保や健全な成長に寄与する。あわせて保護者等の子育て支援を推進する。 		
③ 環境分析(事業開始からの状況変化や、今度の見込・住民意向など)		<ul style="list-style-type: none"> ・昭和 49 年に開所。その後、小学校の開設、統廃合・再編に合わせ、学童保育所も開設、統廃合、再編。平成 17 年度現行の施設条例を制定。平成 27 年度の現行の運営基準条例を制定。国の方針、増加する学童保育、子育て支援ニーズに対応し、保育室の確保、入所定員の増、保育料の軽減など事業の充実を図る。 		

II 改革・改善内容(=事務事業をよりよく実施するための方策)

令和 4 年度を含む 今後の予定・取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> ・安定した保育実施のため、必要な指導員数の確保、研修等による質の向上を図る。コロナ禍における感染症対策として、分散保育、換気・消毒等の徹底など、安全・安心な保育の実施を進める。
----------------------------	--

III 事務事業の成果やコストの状況

① 令和 3 年度の事業概要 及び執行状況	<ul style="list-style-type: none"> ・国の交付金等を活用し、エアコンや網戸等の設置、換気・消毒、分散保育等のコロナ対策を行う。指導員の研修等を実施し、保育の質の向上に努め、安全・安心な保育を実施した。 					
② 成果を表す 指標	指標名称	R 元年度	R2 年度	R3 年度	単位	算定根拠
i	入所人員	248	280	280	人	面積基準
ii	入所児童数	246	229	214	人	年間月平均
iii	指導員数	18	20	20	人	予算措置
③ 事務事業のコスト		25,102	33,925	31,835	千円	

IV 評価・検討

① 課題 (目的に対する現状など)	<ul style="list-style-type: none"> ・安定的で継続した運営を維持するための費用(財源)と、人材の確保とその資質の向上。
----------------------	---

令和3年度 平群町政策基本体系表(個別シート)

事務事業名	幼保連携型認定 こども園事業	担当課名	款	項	目
		教育委員会	3	2	11

I 事務事業の目的・概要

① 目的	対象	園児・保護者	意図 (対象をどうするのか)	健やかな育ちの支援
② 事務事業の概要		<ul style="list-style-type: none"> 園での遊びや集団生活を通じて、園児の健やかな育ちと一人ひとりの生きる力を育み、幼保連携型認定こども園として安全・安心の就学前教育・保育を実施し、子育て支援を進める。 		
③環境分析(事業開始からの状況変化や、今度の見込・住民意向など)		<ul style="list-style-type: none"> 平成 27 年度に町立幼稚園、保育所を統廃合・再編し、幼保連携型認定こども園として開設。平成 30 年度には国の幼保連携型認定こども園教育保育要領が施行。令和元年 10 月から幼児教育・保育無償化制度の開始。今後も就学前児童の教育・保育ニーズの増加が見込まれる。 		

II 改革・改善内容(=事務事業をよりよく実施するための方策)

令和 4 年度を含む 今後の予定・取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> 町教育大綱等の方針に基づく就学前教育・保育の実施。コロナ禍の折、国の交付金を活用し、保護者の使用済紙おむつ持ち帰り不要を導入、保育業務 ICT 化等、環境整備を行う。また、衛生管理の徹底など感染症対策に留意しつつ、新しい生活様式を踏まえた各種園行事を創意工夫して実施し、子どもたちが様々な体験を通じて、健やかな成長に繋がるよう、就学前保育・教育を実施する。
----------------------------	--

III 事務事業の成果やコストの状況

①令和 3 年度の事業概要 及び執行状況	<ul style="list-style-type: none"> 町教育大綱等の方針に基づく就学前教育・保育の実施。コロナ禍の折、国の交付金を活用し、トイレ手洗の自動水栓設置等の環境整備を行う。また、衛生管理の徹底など感染症対策に留意しつつ、新しい生活様式を踏まえた各種園行事を創意工夫して実施し、子どもたちが様々な体験を通じて、健やかな成長に繋がるよう、就学前保育・教育を実施した。 					
②成果を表す 指標	指標名称	R 元年度	R2 年度	R3 年度	単位	算定根拠
	i 在園児数	363	362	357	人	学校基本調査
	ii 職員数	80	87	94	人	学校基本調査
	iii					
③事務事業のコスト		360,133	371,413	403,083	千円	運営費(目)決算額

IV 評価・検討

①課題 (目的に対する現状など)	<ul style="list-style-type: none"> 多種多様化、増加する就学前教育・保育ニーズへの対応。安定的で持続可能な園運営に必要な人材の確保と資質の向上。コロナ禍における行事も含めた安全、安心の園運営。小・中・保護者地域・保護者との連携。
---------------------	--

令和3年度 平群町政策基本体系表(個別シート)

事務事業名	子育て世帯等臨時特別支援事業	担当課名	款	項	目
		福祉こども課	3	2	15

I 事務事業の目的・概要

⑰ 目的	対象	支援対象者	意図 (対象をどうするのか)	支援対象児童 1 人当たり 10 万円の支給
⑳ 事務事業の概要		<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえて、子育て世帯に対して臨時特別的な給付措置として、対象世帯で養育されている児童 1 人あたり 10 万円の現金を給付する。 		
㉑ 環境分析(事業開始からの状況変化や、今度の見込・住民意向など)		<ul style="list-style-type: none"> ・子育て世帯への支援として児童手当受給者など大部分の対象者は早急にプッシュ型給付を行った。また、町広報誌やホームページ、SNS での周知や対象見込み者へ通知を行い、該当の対象者に給付を行った。 		

II 改革・改善内容(=事務事業をよりよく実施するための方策)

令和 4 年度を含む 今後の予定・取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> ・令和 4 年度には令和 3 年度子育て世帯等臨時特別支援事業(国施策)で所得制限(概ね年収 960 万円以上)で不支給であった世帯に対して町施策として対象者に支給を行っている。
----------------------------	---

III 事務事業の成果やコストの状況

①令和 3 年度の事業概要及び執行状況	<ul style="list-style-type: none"> ・対象者には個別にて案内通知を送付し、大部分の対象者へは申請不要でプッシュ型で早急に支給を行った。また、町 HP・SNS 及び広報にて制度周知を行った。 					
②成果を表す指標	指標名称	R 元年度	R2 年度	R3 年度	単位	算定根拠
i	支給世帯	—	—	1,320	世帯	※支援給付金含む
ii	支給人数	—	—	2,279	人数	※支援給付金含む
iii						
21 事務事業のコスト		—	—	230,862	千円	

IV 評価・検討

①課題 (目的に対する現状など)	<ul style="list-style-type: none"> ・国制度であったが、所得制限により全ての子育て世帯の支援となっていない。
---------------------	--

令和3年度 平群町政策基本体系表(個別シート)

事務事業名	人権啓発事業	担当課名	款	項	目
		総務防災課	3	8	2

I 事務事業の目的・概要

①目的	対象	住民	意図 (対象をどうするのか)	人権啓発
②事務事業の概要		・あらゆる差別の撤廃と人権尊重意識の高揚に向けたまちづくりを目指して、啓発活動を推進。		
③環境分析(事業開始からの状況変化や、今後の見込・住民意向など)		・新型コロナウイルス感染症や LGBTQ に対する差別や偏見など、差別が多様化している。		

II 改革・改善内容(=事務事業をよりよく実施するための方策)

令和4年度を含む 今後の予定・取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> ・毎月第1火曜日に人権相談を実施 ・啓発物品を窓口に設置(4ヶ所)
--------------------------	--

III 事務事業の成果やコストの状況

①令和3年度の事業概要 及び執行状況	<p>・「人権を確かめあう日」県内一斉集会は、新型コロナ感染症拡大防止のため中止 【差別をなくす強調月間行事】</p> <p>人権・命の尊さへの町民集会開催(7/11、中止)、児童・生徒の人権啓発絵画の展示(5ヶ所)、啓発ポスター掲示(町内20ヶ所)、のぼり設置(4ヶ所)、啓発物品を窓口に設置</p> <p>・人権対策協議会を開催(1回)</p> <p>・人権対策協議会視察研修(1月、中止)</p>					
②成果を表す 指標	指標名称	R元年度	R2年度	R3年度	単位	算定根拠
i	人権相談	1	1	1	件	
ii	町民集会参加者	180	0	0	人	
iii						
③事務事業のコスト		850	695	934	千円	

IV 評価・検討

①課題 (目的に対する現状など)	・効果的な啓発活動を検討。
---------------------	---------------

令和3年度 平群町政策基本体系表(個別シート)

事務事業名	平和啓発推進事業	担当課名	款	項	目
		総務防災課	3	8	3

I 事務事業の目的・概要

①目的	対象	住民	意図 (対象をどうするのか)	平和意識の高揚
②事務事業の概要		<ul style="list-style-type: none"> ・平和な社会の実現と、平和意識の高揚の促進。 		
③環境分析(事業開始からの状況変化や、今後の見込・住民意向など)		<ul style="list-style-type: none"> ・ロシアによるウクライナへの軍事侵攻など、あらゆる戦争の廃止と平和な社会の実現に向けての情報発信。 		

II 改革・改善内容(=事務事業をよりよく実施するための方策)

令和4年度を含む今後の予定・取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> ・平群平和のための戦争展実行委員会を開催 ・町内社寺等へ8月15日の終戦記念日に平和祈願の撞鐘を追加依頼 ・防災行政無線を活用し町内全域に平和祈願の黙祷時に撞鐘を追加
----------------------	---

III 事務事業の成果やコストの状況

①令和3年度の事業概要及び執行状況	<ul style="list-style-type: none"> ・町内社寺等へ8月6日と9日の原爆投下された時間に併せて平和祈願の撞鐘を依頼。併せて、防災行政無線を活用して町内全域に平和祈願の黙とうをお願いした。 ・平群平和のための戦争展(8/28・29、中止) ・戦争体験記を制作(平群町民39名の体験記掲載:100冊増刷) ・啓発用看板(2基)と横断幕(1枚)を継続して設置 ・平群平和のための戦争展実行委員会を開催4回) 					
②成果を表す指標	指標名称	R元年度	R2年度	R3年度	単位	算定根拠
i	戦争展参加者	266	0	0	人	
ii	実行委員会	8	9	4	回	
iii						
③事務事業のコスト		55	60	60	千円	

IV 評価・検討

①課題 (目的に対する現状など)	<ul style="list-style-type: none"> ・効果的な啓発活動を検討。
---------------------	---

令和3年度 平群町政策基本体系表(個別シート)

事務事業名	男女共同参画事業	担当課名	款	項	目
		総務防災課	3	8	4

I 事務事業の目的・概要

①目的	対象	住民	意図 (対象をどうするのか)	男女共同参加社会の実現
②事務事業の概要		<ul style="list-style-type: none"> ・男女共同参画社会の実現を目指し、住民意識の高揚と啓発活動を推進する。 ・地域の中で老若男女(男女と多世代)が共に参画する活気あるまちづくりを目指す。(審議会委員会などの女性委員の登用率引上げ 20%→30%) 		
③環境分析(事業開始からの状況変化や、今度の見込・住民意向など)		<ul style="list-style-type: none"> ・平群町第2次男女共同参画プラン 平成26年度から令和5年度(10年計画) 		

II 改革・改善内容(=事務事業をよりよく実施するための方策)

令和4年度を含む 今後の予定・取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> ・町連合PTAと連携した講演会の開催、男女共同参画推進本部を開催 ・各種啓発活動
--------------------------	---

III 事務事業の成果やコストの状況

①令和3年度の事業概要及び執行状況		<ul style="list-style-type: none"> ・6月の男女共同参画週間に、総合文化センターで啓発パネルを展示 ・町内スーパー(4ヶ所)で啓発物品を配布(中止) ・広報による啓発を実施(6月号) ・町連合PTAと連携して講演会(2月 中止) ・男女共同参画推進本部開催(2月 1回) ・男女共同参画懇話会(中止)※書面にて意見聴取 				
②成果を表す指標	指標名称	R元年度	R2年度	R3年度	単位	算定根拠
i	啓発事業数	2	2	1	回	
ii	女性委員登用率	25.6	23.3	22.3	%	
iii	推進本部、懇話会	2	1	1	回	
③事務事業のコスト		128	0	0	千円	

IV 評価・検討

①課題 (目的に対する現状など)	<ul style="list-style-type: none"> ・効果的な啓発活動を検討 R3.3.31:22.3% R4.3.31 23.9% 内 ・管理職の女性登用率 R4.4.1:28.3%
---------------------	---

令和3年度 平群町政策基本体系表(個別シート)

事務事業名	予防接種業務	担当課名	款	項	目
		健康保険課 (プリズムへぐり)	4	1	2

I 事務事業の目的・概要

①目的	対象	住民	意図 (対象をどうするのか)	予防接種
②事務事業の概要		<ul style="list-style-type: none"> さまざまな感染症の感染リスクを軽減し、住民の安全な暮らしを確保するため各種予防接種事業を実施。 		
③環境分析(事業開始からの状況変化や、今度の見込・住民意向など)		<ul style="list-style-type: none"> (予防接種)乳幼児、高齢者予防接種 令和元年度風しん抗体検査、第5期接種開始(令和7年度まで延長)、令和2年度ロタウイルス開始、高齢者インフルエンザ令和2年度のみ自己負担なし、任意肺炎球菌ワクチン令和3年度で終了、令和2年度新型コロナウイルス先行接種開始、令和3年度新型コロナウイルス住民接種開始 		

II 改革・改善内容(=事務事業をよりよく実施するための方策)

令和4年度を含む 今後の予定・取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナウイルスワクチン接種の円滑な実施 ・風しんの抗体検査及び第5期風しんの予防接種のPR ・接種事故を防ぐため医療機関との連携強化
--------------------------	---

III 事務事業の成果やコストの状況

①令和3年度の事業概要 及び執行状況	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルスワクチン接種体制の確保 ・各対象者への個別通知 					
②成果を表す 指標	指標名称	R元年度	R2年度	R3年度	単位	算定根拠
i	ワクチン接種件数	6,443	7,466	47,584	人	総接種者数
ii	風しん抗体検査 受検率	12.1	33.7	10.5	%	検査受験者/対象者
iii						
③事務事業のコスト		41,181	51,373	98,180	千円	接種委託料

IV 評価・検討

①課題 (目的に対する現状など)	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症による医療機関の混乱を防ぎながら乳幼児～高齢者が対象となる予防接種の適切な実施を図っていく。
---------------------	---

令和3年度 平群町政策基本体系表(個別シート)

事務事業名	母子保健事業	担当課名	款	項	目
		健康保険課 (プリズムへぐり)	4	1	3

I 事務事業の目的・概要

①目的	対象	妊産婦	意図 (対象をどうするのか)	子育ての支援
②事務事業の概要		・妊婦の保健管理の向上、乳幼児の異常の早期発見、子育て支援の充実等、地域で互いに支えながら子育てのできるまちづくりを醸成する。		
③環境分析(事業開始からの状況変化や、今度の見込・住民意向など)		・新型コロナ感染拡大の影響か妊婦健診延べ受診者数が減少傾向にあったが、令和3年度より1人当たり100,000円に増額したこともあり増加傾向にある。多胎妊娠には加算(22,500円)。家庭訪問(養育訪問)R2年度増加したが、3年度は減少した。 ・コロナ禍でのコミュニケーション不足による乳幼児の発達への影響は否めない。		

II 改革・改善内容(=事務事業をよりよく実施するための方策)

令和4年度を含む 今後の予定・取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> ・3密対応による健診の継続実施 ・医療機関や療育施設とも連携して早期からの継続的専門的な関わりにより児の成長発達を促し、親の育児不安の解消に努める。 ・妊婦の重症化防止のための支援強化。
--------------------------	---

III 事務事業の成果やコストの状況

①令和3年度の事業概要及び執行状況		<ul style="list-style-type: none"> ・産前産後サポート事業を強化した。 ・子育て世代包括支援センターの機能を充実した。 ・育児支援を要する家庭は減少したが丁寧な対応を行った。 ・DV,要保護、支援児童進行管理(ケース会議等)の引継ぎを受け実施した。 				
②成果を表す指標	指標名称	R元年度	R2年度	R3年度	単位	算定根拠
i	育児支援	91	132	84	件	養育訪問件数
ii	妊婦健診延回数	1,015	1,225	997	件	
iii	妊婦健診実人員	125	142	136	人	
③事務事業のコスト		8,347	8,271	8,020	千円	医療機関委託料 保健師人件費一部

IV 評価・検討

①課題 (目的に対する現状など)	・コロナ禍での乳幼児の育ち、特に情緒面での影響が健診等によりみられる。感染状況にもよるが、ウイズコロナで通常の支援体制に徐々に移行する。
---------------------	--

令和 3 年度 平群町政策基本体系表(個別シート)

事務事業名	各種健(検)診事業	担当課名	款	項	目
		健康保険課 (プリズムへぐり)	4	1	4

I 事務事業の目的・概要

①目的	対象	住民	意図 (対象をどうするのか)	各種検(健)診の実施
②事務事業の概要		【目標】健診:令和 5 年度 受診率 60%、がん検診:受診率 50%(国基準)		
③環境分析(事業開始からの状況変化や、今度の見込・住民意向など)		<ul style="list-style-type: none"> ・特定健康診査・後期高齢者健康診査…平成 20 年度から実施。 ・婦人科検診の受診の利便性を図るため、平成 30 年度から受診者の多い医療機関に受診券の設置を実施。 ・若年層の健康意識を高める仕掛けとして平成 30 年度よりすこやかレディ健診をすこやか健診として実施(18 歳以上 39 歳まで)。 		

II 改革・改善内容(=事務事業をよりよく実施するための方策)

令和 4 年度を含む 今後の予定・取り組み内容	<p>【コロナ対策】3 密対応による検診の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子宮がん、乳がん検診の無料クーポンを配布 ・医療機関に子宮がん乳がん検診の受診票を設置し、受診の利便性を向上 ・すこやか、婦人科、大腸がん検診、骨密度測定の日(土)実施 ・特定健診、後期高齢者健康診査とがん検診とのセット検診の実施 ・すこやか健診(集団)平群町国民健康保険加入者のみ自己負担無料で実施
----------------------------	---

III 事務事業の成果やコストの状況

①令和 3 年度の事業概要 及び執行状況	<p>・新型コロナウイルス感染症拡大防止のため春けんしんを延期し冬に実施した。しかし、受診控えもあり前年度に比べると集団健診・個別健診ともに受診者は減少した。</p>					
②成果を表す 指標	指標名称	R 元年度	R2 年度	R3 年度	単位	算定根拠
i	がん検診受診率	13.9	12.1	8.8	%	地域保健報告
ii	特定健診受診率	43.9	40.0	39.9	%	法定報告:R3 のみ速報値
iii	後期高齢者健康診査	38.6	38.2	34.96	%	実績報告
③事務事業のコスト		37,083	35,196	32,676	千円	検査検診委託料

IV 評価・検討

①課題 (目的に対する現状など)	<p>・新型コロナウイルス感染症の影響もあり、特定健診の受診率は平成 28 年度をピークに伸び悩んでいる(広域 7 町内では 1 位)。がん検診の受診率も伸び悩んでおり若年層に対して受診促進する必要がある。</p>
---------------------	---

令和3年度 平群町政策基本体系表(個別シート)

事務事業名	健康増進事業	担当課名	款	項	目
		健康保険課 (プリズムへぐり)	4	1	4

I 事務事業の目的・概要

①目的	対象	住民	意図 (対象をどうするのか)	健康寿命の引上げ
②事務事業の概要		<ul style="list-style-type: none"> ・健康へぐり 21 計画に基づき、健康長寿 奈良県 1 番を目指す。 ・食育推進計画を推進する。 		
③環境分析(事業開始からの状況変化や、今後の見込・住民意向など)		<ul style="list-style-type: none"> ・令和 2 年度より高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施の開始。 		

II 改革・改善内容(=事務事業をよりよく実施するための方策)

令和 4 年度を含む 今後の予定・取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> ・健康へぐり 21 計画に基づく事業実施及びヘルスボランティアの養成 ・健康寿命の延伸を目的に保健事業と介護予防の一体的実施の推進 ・出前健康教室、膝教室、運動教室(健康運動指導士)など健康づくりとフレイル予防を兼ねた事業の推進
----------------------------	--

III 事務事業の成果やコストの状況

①令和 3 年度の事業概要 及び執行状況	<ul style="list-style-type: none"> ・健康づくりと介護予防事業の推進 ・健康づくり推進協議会や各部会を通して計画の推進 ・ヘルスボランティアを増やすためのセミナー 2 年ぶりに実施 					
②成果を表す 指標	指標名称	R 元年度	R2 年度	R3 年度	単位	算定根拠
i	早期死亡者数	6.6	4.7	—	%	65 歳未満/全死亡者
ii	メタボ該当・予備軍	13.3	13.3	14.4	%	目標 5.0%
iii						
③事務事業のコスト		29,412	26,128	23,105	千円	健康増進事業費

IV 評価・検討

①課題 (目的に対する現状など)	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍で生活不活発病になる危険がある。 ・ヘルスボランティア減少と役員の高齢化による活動の縮小が危惧。
---------------------	--

令和3年度 平群町政策基本体系表(個別シート)

事務事業名	生活排水対策事業	担当課名	款	項	目
		住民生活課	4	1	5

I 事務事業の目的・概要

④ 目的	対象	住民	意図 (対象をどうするのか)	快適な住環境
⑤ 事務事業の概要		<ul style="list-style-type: none"> 適正な衛生処理を行い、良好な住環境を維持すると共に、快適で住みよいまちづくりを目指す。 		
③環境分析(事業開始からの状況変化や、今度の見込・住民意向など)		<ul style="list-style-type: none"> 平成6年度から廃食用油の回収事業を実施し、河川へ流出する生活排水の汚濁負荷削減につなげている。 		

II 改革・改善内容(=事務事業をよりよく実施するための方策)

令和4年度を含む今後の予定・取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> 竜田川の水質調査を実施。 廃食用油の回収を進め、固形石鹼等を作成し「環境にやさしい」PR。
----------------------	--

III 事務事業の成果やコストの状況

①令和3年度の事業概要及び執行状況	<ul style="list-style-type: none"> 水質改善の啓発を行い住民の意識高揚を図った。 廃食用油を5カ所の拠点で2,800を回収し、民間の資源化処理施設でPR用の固形石鹼等にリサイクルする事業を実施した。 					
②成果を表す指標	指標名称	R元年度	R2年度	R3年度	単位	算定根拠
i	廃食用油	2,700	2,430	2,800	L	
ii	竜田川の水質	4.7	4.35	7.2	mg/L	
iii	クリーンキャンペーン参加	コロナ中止	コロナ中止	コロナ中止	人	
⑥ 事務事業のコスト		829	722	881	千円	

IV 評価・検討

①課題 (目的に対する現状など)	<ul style="list-style-type: none"> 竜田川の水質改善に向け河川流域の自治体との連携が必要
---------------------	--

令和3年度 平群町政策基本体系表(個別シート)

事務事業名	合併処理浄化槽設置 補助事業	担当課名	款	項	目
		住民生活課	4	1	5

I 事務事業の目的・概要

①目的	対象	浄化槽の設置者	意図 (対象をどうするのか)	補助金を交付
②事務事業の概要		<ul style="list-style-type: none"> ・良好な環境の維持と適正な衛生処理を目的に、合併処理浄化槽設置に対し補助を実施する(浄化槽の設置者に対し、補助基準額の 1/3 補助、下水道認可区域は対象外)。 		
③環境分析(事業開始からの状況変化や、今年度の見込・住民意向など)		<ul style="list-style-type: none"> ・単独浄化槽に比べ設置費用が高額となる合併処理浄化槽の普及を目的に補助制度ができたが、平成 13 年度の法改正に伴い合併処理浄化槽の設置が原則として義務づけられている。 		

II 改革・改善内容(=事務事業をよりよく実施するための方策)

令和 4 年度を含む 今後の予定・取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> ・平成 4 年度からは、水質汚濁を防止する観点から補助対象の見直しをして、ミニ開発などによって更地に新築を建てることに伴う浄化槽の設置は補助対象外とし、既存の汲み取り便槽や単独浄化槽から合併処理浄化槽への転換を強く推進する。
----------------------------	--

III 事務事業の成果やコストの状況

①令和 3 年度の事業概要 及び執行状況	<ul style="list-style-type: none"> ・合併処理浄化槽 15 基の設置に対し補助を実施した。 					
②成果を表す 指標	指標名称	R 元年度	R2 年度	R3 年度	単位	算定根拠
i	補助件数	9	15	15	件	
ii						
iii						
③事務事業のコスト		3,043	4,180	5,274	千円	

IV 評価・検討

① 課題(目的に対する現状など)	<ul style="list-style-type: none"> ・現状では新規での単独浄化槽の設置が原則不可能となっているため、より水質改善につながる補助制度を検討する必要がある。
------------------	--

令和3年度 平群町政策基本体系表(個別シート)

事務事業名	野菊の里斎場 管理運営	担当課名	款	項	目
		住民生活課	4	1	14

I 事務事業の目的・概要

① 目的	対象	施設利用者	意図 (対象をどうするのか)	適正な管理運営
② 事務事業の概要		<ul style="list-style-type: none"> ・周辺環境とも調和し、明るい雰囲気を利用者の利便に供するよう「野菊の里斎場」を運営する。施設の効率的な運営に努めるとともに、利用者のニーズに沿った施設の管理を行う。 		
③ 環境分析(事業開始からの状況変化や、今年度の見込・住民意向など)		<ul style="list-style-type: none"> ・平成 17 年 施設オープン 		

II 改革・改善内容(=事務事業をよりよく実施するための方策)

令和 4 年度を含む 今後の予定・取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> ・火葬炉の修繕については、年度計画を立てて実施しているが、修繕箇所が年々増加していることから、大規模改修が必要である。 ・建物においても、経年劣化による改修が必要である。 ・管理運営方法についても改革を進める。
----------------------------	---

III 事務事業の成果やコストの状況

① 令和 3 年度の事業概要 及び執行状況	<ul style="list-style-type: none"> ・web 予約システムの稼働 ・施設の適切な管理・運営 					
② 成果を表す 指標	指標名称	R 元年度	R2 年度	R3 年度	単位	算定根拠
i	人体火葬	448	579	705	体	
ii	動物火葬	292	275	284	頭	
iii	斎場利用	96	90	80	回	式場利用回数
③ 事務事業のコスト		45,796	46,545	49,461	千円	

IV 評価・検討

① 課題 (目的に対する現状など)	<ul style="list-style-type: none"> ・火葬炉の修繕については、年度計画を立てて実施しているが、修繕箇所が年々増加していることから、大規模改修が必要。
----------------------	--

令和3年度 平群町政策基本体系表(個別シート)

事務事業名	ごみ減量化・リサイクル 推進事業	担当課名	款	項	目
		住民生活課	4	2	1

I 事務事業の目的・概要

⑦ 目的	対象	住民	意図 (対象をどうするのか)	ごみ減量化・ 資源循環型社会の構築
⑧ 事務事業の概要		<ul style="list-style-type: none"> ・令和4年度目標として「一人1日当たり521g」を目指し、ごみの減量化対策・資源循環型社会の構築を目指す。 		
③環境分析(事業開始からの状況変化や、今度の見込・住民意向など)		<ul style="list-style-type: none"> ・指定ごみ袋の有料化 平成25年から ・リサイクル館 平成30年閉鎖 		

II 改革・改善内容(=事務事業をよりよく実施するための方策)

令和4年度を含む 今後の予定・取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> ・住民意識の高揚に向けた正しい分別方法など周知を図る。 ・有価物集団回収量補助の実施。 ・役場本庁舎敷地での持込古紙リサイクルの実施とリサイクルステーションの増設。
--------------------------	--

III 事務事業の成果やコストの状況

①令和3年度の事業概要 及び執行状況	<ul style="list-style-type: none"> ・剪定枝の家庭内処理としてガーデンシュレッダーの無料貸出。 ・(役場本庁舎敷地)段ボール・雑紙・雑誌・新聞等の回収場所を設置。 ・家庭生ごみ処理機(容器)設置に対し補助を実施。 					
②成果を表す 指標	指標名称	R元年度	R2年度	R3年度	単位	算定根拠
i	有価物集団回収	815	740	747	kg	
ii	ごみ減容器購入補助	198	421	286	千円	
iii	ごみステーション設置補助	763	320	740	千円	
⑨ 事務事業のコスト		12,936	11,025	11,558	千円	

IV 評価・検討

①課題 (目的に対する現状など)	<ul style="list-style-type: none"> ・有価物集団回収助成金及びごみ減容器等補助金が減少傾向にある、インセンティブ等による意識付けが必要。 ・回収場所設置は住民より好評を頂いているものの、家庭ごみは増加しているため、全体として可燃ごみの減量化には繋がっていない。今後、ごみ全体の処理経費を鑑み、更なる減量化を推進することが急務である。
---------------------	---

令和3年度 平群町政策基本体系表(個別シート)

事務事業名	塵芥処理事業 (清掃センター)	担当課名	款	項	目
		住民生活課	4	2	1

I 事務事業の目的・概要

① 目的	対象	住民	意図 (対象をどうするのか)	快適な住環境
②事務事業の概要		・家庭から排出されるごみを各自治会のごみステーションで収集する。		
③環境分析(事業開始からの状況変化や、今後の見込・住民意向など)		・平成 23 年からふれあい収集開始		

II 改革・改善内容(=事務事業をよりよく実施するための方策)

令和 4 年度を含む 今後の予定・取り組み内容	・粗大ごみを不燃ごみと大型ごみに細分化し、不燃ごみは従来のステーション方式による収集、大型ごみは申込みよりリクエスト収集を検討。
----------------------------	--

III 事務事業の成果やコストの状況

①令和 3 年度の事業概要 及び執行状況	・ごみ収集カレンダー(8 地区)による収集告知。 ・長期休日期間中(GW・年末)の収集を実施。					
②成果を表す 指標	指標名称	R 元年度	R2 年度	R3 年度	単位	算定根拠
i	ふれあい収集	72	74	65	件	R4.3 末
ii	家庭ごみの排出量	3,433	3,599	3,623	t	
iii	事業系ごみの排出量	1,347	1,426	1,327	t	
② 事務事業のコスト		106,138	106,719	106,046	千円	

IV 評価・検討

①課題 (目的に対する現状など)	・正しいごみの出し方や分別への周知徹底。
---------------------	----------------------

令和3年度 平群町政策基本体系表(個別シート)

事務事業名	センターの環境対策 (清掃センター)	担当課名	款	項	目
		住民生活課	4	2	2

I 事務事業の目的・概要

①目的	対象	清掃センター	意図 (対象をどうするのか)	適正な施設管理
②事務事業の概要		・清掃センター内の仮置きされた焼却灰に係る環境対策を実施する。		
③環境分析(事業開始からの状況変化や、今度の見込・住民意向など)		・環境基準超 / OH28 約 2,000トン搬出(無害化処理後に処分) ・環境基準値内 / OH29 約 2,600トン搬出 OH30 // 約 1,100トン搬出 OR元 約 1,000トン搬出(大阪湾沖処分場へ搬出)		

II 改革・改善内容(=事務事業をよりよく実施するための方策)

令和4年度を含む 今後の予定・取り組み内容	・センター下流域の水質検査及びイラキ池の底質土壌の検査を継続実施。 ・財政状況により搬出を検討する。
--------------------------	---

III 事務事業の成果やコストの状況

①令和3年度の事業概要及び執行状況		・財政状況により搬出は見送った。				
②成果を表す指標	指標名称	R元年度	R2年度	R3年度	単位	算定根拠
i	処分・排出量	1,084	0	0	t	※残り約 5,000t
ii						
iii						
③事務事業のコスト		22,599	0	0	千円	

IV 評価・検討

①課題 (目的に対する現状など)	・残量約 5,000トン強を早期に搬出するため予算確保が重要。
---------------------	---------------------------------

令和3年度 平群町政策基本体系表(個別シート)

事務事業名	清掃センター延命化対策	担当課名	款	項	目
		住民生活課	4	2	2

I 事務事業の目的・概要

①目的	対象	清掃センター	意図 (対象をどうするのか)	適正な施設管理
②事務事業の概要		・清掃センター施設の運転管理、及び延命化対策を行う。		
③環境分析(事業開始からの状況変化や、今度の見込・住民意向など)		・清掃センター 平成4年度操業、平成11年大規模改修 ・広域化の目標時期 令和7年度		

II 改革・改善内容(=事務事業をよりよく実施するための方策)

令和4年度を含む今後の予定・取り組み内容	・日常の運転・点検の中で、不具合個所の早期発見や補修を実施し、施設の延命化を図る。
----------------------	---

III 事務事業の成果やコストの状況

①令和3年度の事業概要及び執行状況	・焼却炉の運転管理は専門知識のある業者委託により実施。 ・設備の定期的な点検及び軽微な修繕等はその都度実施。					
②成果を表す指標	指標名称	R元年度	R2年度	R3年度	単位	算定根拠
	i 補修工事	26,715	29,058	28,736	千円	
	ii 運転管理	499	485	510	日	1.2号炉の合計
	iii 定期点検	1	1	1	回	
④ 事務事業のコスト		195,310	182,823	167,450	千円	

IV 評価・検討

①課題 (目的に対する現状など)	・開設以来30年を経過しているため、清掃センター施設全体の老朽化が進み、特に焼却炉の傷みが激しく、大規模な改修が必要であるが、予算確保が難しく緊急を要する部分的な修繕にとどまっている。
---------------------	--

令和3年度 平群町政策基本体系表(個別シート)

事務事業名	し尿処理業務	担当課名	款	項	目
		住民生活課	4	2	3

I 事務事業の目的・概要

①目的	対象	住民	意図 (対象をどうするのか)	快適な住環境
②事務事業の概要		<ul style="list-style-type: none"> ・生活の場からし尿を排除し、環境に悪影響を及ぼすことなく衛生的に処理することで、公衆衛生の向上及び生活環境の保全を図る。 ・流域下水道への接続を推進し、処理費用の軽減を進める。 		
③環境分析(事業開始からの状況変化や、今度の見込・住民意向など)		<ul style="list-style-type: none"> ・海洋投棄禁止 平成 14 年(5 年間の経過措置で平成 19 年)から ・処分場養父市 平成 19 年から、生駒市の施設での広域処理平成 28 年から ・令和 4 年度から全量を生駒市にて処理予定 		

II 改革・改善内容(=事務事業をよりよく実施するための方策)

令和 4 年度を含む 今後の予定・取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> ・予定処理量 生駒広域施設 5,200 kℓ
----------------------------	--

III 事務事業の成果やコストの状況

①令和 3 年度の事業概要 及び執行状況	<ul style="list-style-type: none"> ・処理量は生駒市 2,918 kℓ、養父市 3,200 kℓ 合計 6,118 kℓ (通常分:5,018 kℓ、光ヶ丘集中浄化槽汚泥撤去:900 kℓ、旧中央公民館浄化槽汚泥撤去:200 kℓ) 					
②成果を表す 指標	指標名称	R 元年度	R2 年度	R3 年度	単位	算定根拠
i	処理量	4,910	4,995	6,118	kℓ	
ii						
iii						
③事務事業のコスト		104,827	104,440	120,738	千円	

IV 評価・検討

①課題 (目的に対する現状など)	<ul style="list-style-type: none"> ・下水道接続により、施設閉鎖に伴う臨時的な汚泥の処理量が増加し、一時的な財政出動が増える(緑ヶ丘地区)。
---------------------	--

令和3年度 平群町政策基本体系表(個別シート)

事務事業名	上水道事業	担当課名	款	項	目
		上下水道課	4	3	2

I 事務事業の目的・概要

①目的	対象	住民	意図 (対象をどうするのか)	快適な住環境
②事務事業の概要		<ul style="list-style-type: none"> ・生活用水として安全な水を供給するため、安定経営と今後県域水道一体化(企業団)への参画する。 		
③環境分析(事業開始からの状況変化や、今後の見込・住民意向など)		<ul style="list-style-type: none"> ・令和3年8月2日「奈良県広域水道企業団設立準備協議会」設立 		

II 改革・改善内容(=事務事業をよりよく実施するための方策)

令和4年度を含む 今後の予定・取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> ・中央監視装置の更新工事(発注準備) ・西宮地区老朽管布設替工事(発注準備) ・奈良県広域水道企業団基本協定の締結(令和5年2月) ・奈良県広域水道企業団法定協議会の設立
--------------------------	--

III 事務事業の成果やコストの状況

① 令和3年度の事業概要 及び執行状況	<ul style="list-style-type: none"> ・中央監視装置更新工事实施設計業務 ・三里地区老朽管布設替工事 ・県域水道一体化に向けた準備。 ・中央監視装置更新工事補助金申請等準備 					
②成果を表す 指標	指標名称	R元年度	R2年度	R3年度	単位	算定根拠
	i 総配水量	2,258	2,224	2,282	千トン	
	ii 給水件数	8,044	8,101	8,145	件	
	iii 有収率	82.7	85.7	82.4	%	
② 事務事業のコスト		589,325	564,066	528,309	千円	

IV 評価・検討

①課題(目的に対する現状など)	<ul style="list-style-type: none"> ・有収率の向上のため漏水調査の強化。 ・料金滞納に対する徴収強化。 ・県域水道一体化に向けた各種内容の精査。
-----------------	--

令和3年度 平群町政策基本体系表(個別シート)

事務事業名	土砂等による土地埋立て等の規制	担当課名	款	項	目
		観光産業課	6	1	3

I 事務事業の目的・概要

①目的	対象	土地の埋立て、盛土及び たい積並びに切土行為	意図 (対象をどうするのか)	災害の発生防止
②事務事業の概要		<ul style="list-style-type: none"> 土砂の不適切な処理と埋立てに伴う災害発生防止を目的に、一定規模以上の土地の埋立て等について、埋立てを行うことを許可制とする。 		
③環境分析(事業開始からの状況変化や、今度の見込・住民意向など)		<ul style="list-style-type: none"> 平成9年4月1日条例施行後、毎年度対象となる案件の許可申請があり、土砂崩落や災害の発生防止に取り組んでいる。今後も住民の安全な環境確保ため規制が必要。 		

II 改革・改善内容(=事務事業をよりよく実施するための方策)

令和4年度を含む 今後の予定・取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> 他法令との関連に留意し、許可申請を受理 許可物件について産業廃棄物の不法投棄を防止するためパトロール強化
--------------------------	---

III 事務事業の成果やコストの状況

① 令和3年度の事業概要 及び執行状況	<p>【許可件数】新規許可 3件、工期延長許可 2件</p> <ul style="list-style-type: none"> 許可物件並びに町内山間部を中心に巡回パトロールを実施した。 					
②成果を表す 指標	指標名称	R元年度	R2年度	R3年度	単位	算定根拠
	i 許可申請	4	3	5	件	許可申請・工期延長許可
	ii					
	iii					
③事務事業のコスト		0	0	0	千円	

IV 評価・検討

①課題(目的に対する現状など)	<ul style="list-style-type: none"> パトロールを強化し、違反行為や違法行為等の監視を行う。
-----------------	---

令和3年度 平群町政策基本体系表(個別シート)

事務事業名	森林環境整備事業	担当課名	款	項	目
		観光産業課	6	1	3

I 事務事業の目的・概要

①目的	対象	森林	意図 (対象をどうするのか)	森林整備
② 事務事業の概要		<ul style="list-style-type: none"> ・豊かな自然を次世代に継承していくため、身近な自然である森林の保全・活用する。 		
③環境分析(事業開始からの状況変化や、今後の見込・住民意向など)		<ul style="list-style-type: none"> ・奈良県森林環境税 平成 18 年度から平成 28 年～ 奈良県補助事業「地域で育む里山づくり事業」 ・森林環境譲与税 令和元年度から市町村へ譲与開始 令和 3 年～ 森林整備整備(信貴山城址周辺森林整備、危険木伐倒) 		

II 改革・改善内容(=事務事業をよりよく実施するための方策)

令和 4 年度を含む 今後の予定・取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> ・森林経営管理制度に基づき、森林所有者に森林管理に関するアンケート調査や森林整備を実施する。また、里山づくり事業を継続発展させる。
----------------------------	---

III 事務事業の成果やコストの状況

① 令和 3 年度の事業概要 及び執行状況	<ul style="list-style-type: none"> ・森林環境譲与税を活用し信貴山城址の森林整備や危険木の伐倒を実施した。また「地域で育む里山づくり事業」として、ボランティア 1 団体により里山林(0.23)を整備。 					
② 成果を表す 指標	指標名称	R 元年度	R2 年度	R3 年度	単位	算定根拠
i	ボランティア団体等	1	1	1	団体	
ii	整備面積	0.23	0.23	0.23	ha	竹林
iii	森林整備	0	0	0.04	ha	
iv	危険木伐倒	0	0	15	本	
③ 事務事業のコスト		67	67	2,746	千円	

IV 評価・検討

① 課題(目的に対する現状など)	<ul style="list-style-type: none"> ・森林環境税を活用し町としての取り組みを検討。
------------------	---

令和3年度 平群町政策基本体系表(個別シート)

事務事業名	有害鳥獣駆除事業	担当課名	款	項	目
		観光産業課	6	1	3

I 事務事業の目的・概要

① 目的	対象	有害鳥獣	意図 (対象をどうするのか)	鳥獣被害の防止
②事務事業の概要		<ul style="list-style-type: none"> ・イノシシ、アライグマの捕獲、防除柵等の設置により、農作物への被害の防除・耕作放棄地の解消など、農業の維持・発展を図る。 ・防護・捕獲施設の補助、イノシシ駆除の奨励補助などの助成事業、猟友会平群支部の協力により有害鳥獣駆除を実施する。 		
③環境分析(事業開始からの状況変化や、今度の見込・住民意向など)		<ul style="list-style-type: none"> ・豚熱ウイルスと思われる死亡で捕獲数が減少したが、依然として地域での農作物の被害があるため、捕獲駆除を行う必要がある。 		

II 改革・改善内容(=事務事業をよりよく実施するための方策)

令和4年度を含む今後の予定・取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> ・有害鳥獣に関連した防疫に留意し、情報収集に努める。 ・捕獲や防除に関する最新技術等の導入を検討。
----------------------	--

III 事務事業の成果やコストの状況

① 令和3年度の事業概要及び執行状況	<p>【駆除件数:イノシシ 165 頭・アライグマ 73 頭】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・広域3市町(生駒市、平群町、三郷町)の協議会を通じ、鳥獣害総合対策事業に組み込みイノシシ・アライグマの駆除及び捕獲檻を整備した。 (平群町:イノシシ檻4基・アライグマ檻4基・イノシシ用くり畷10基) 						
② 成果を表す指標	指標名称	R元年度	R2年度	R3年度	単位	算定根拠	
	i	イノシシ駆除件数	203	310	165	頭	
	ii	アライグマ駆除件数	88	94	73	頭	
	iii						
③ 事務事業のコスト		864	1,407	887	千円		

IV 評価・検討

①課題(目的に対する現状など)	<ul style="list-style-type: none"> ・全町域に拡大している鳥獣被害を軽減するため、地域・集落単位での対策として取り組み、効果的・効率的な対策推進が必要。
-----------------	--

令和3年度 平群町政策基本体系表(個別シート)

事務事業名	地域産業活性化促進事業	担当課名	款	項	目
		観光産業課	6	1	3

I 事務事業の目的・概要

① 目的	対象	町の特産品	意図 (対象をどうするのか)	知名度向上と販売
② 事務事業の概要		<ul style="list-style-type: none"> ・近畿大学「アグリビジネス」実習を通じて、産学官連携による商品開発や平群町産の農産物を活用した商品開発により、「平群町」の知名度向上を図る。 		
③環境分析(事業開始からの状況変化や、今後の見込・住民意向など)		<ul style="list-style-type: none"> ・芋焼酎「里の恵」(平成 19 年～)、日本酒「平群」(平成 26 年～)、果実酒(令和 3 年～) ・近畿大学農学部とのアグリビジネス実習開始(平成 25 年～) 		

II 改革・改善内容(=事務事業をよりよく実施するための方策)

令和 4 年度を含む 今後の予定・取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> ・近畿大学「アグリビジネス」実習を通じて、加工品の試作・開発、マーケティング調査等に取り組み、産学官連携による既存商品の継続販売。 ・近大ミカンや町内産ゆずを使用した商品の開発・販売。 ・協力農家によるエノキ、ヒラタケの試験栽培を実施予定。
----------------------------	--

III 事務事業の成果やコストの状況

① 令和 3 年度の事業概要 及び執行状況	<ul style="list-style-type: none"> ・近大ミカンを使用してお酒の販売。 ・エノキ、ヒラタケの原木試験栽培を近大との共同開発を実施。 ・学生による町内実習圃場作業。 					
②成果を表す 指標	指標名称	R 元年度	R2 年度	R3年度	単位	算定根拠
i	実習	29	11	29	回	実施回数
ii	商品数	5	6	7	品目	
iii	焼酎・里の恵	537	532	440	本	販売実績
iv	日本酒・平群	918	950	481	本	販売実績
v	ミカン酒	—	—	200	本	出荷実績
② 事務事業のコスト		2,403	3,023	747	千円	

IV 評価・検討

①課題(目的に対する現状など)	<ul style="list-style-type: none"> ・アグリビジネス実習のPRを強化 ・産官学連携による商品開発
-----------------	---

令和3年度 平群町政策基本体系表(個別シート)

事務事業名	平群ブランド推進事業	担当課名	款	項	目
		観光産業課	6	1	3

I 事務事業の目的・概要

①目的	対象	ブランド認定(品・場所)	意図 (対象をどうするのか)	PR 及び販売促進
②事務事業の概要		<ul style="list-style-type: none"> ・平群の農産物の品質と味を端的に表現する、農産物のブランド基準を設定し、話題性を喚起し「平群の農産物」の価値を高める。 ・観光施策と連携し情報発信を進め、農産物のブランド化を推進。 ・町の認知度、町民の誇りや愛着を形成する 		
③環境分析(事業開始からの状況変化や、今後の見込・住民意向など)		<ul style="list-style-type: none"> ・平群ブランド制定(平成 24 年～) ・ブランドポスター制作(平成 27 年～) 		

II 改革・改善内容(=事務事業をよりよく実施するための方策)

令和 4 年度を含む 今後の予定・取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> ・新たな加工品のブランド認定に向けた検討。 ・PR及び販売促進に取り組む。
----------------------------	--

III 事務事業の成果やコストの状況

① 令和 3 年度の事業概要 及び執行状況	<ul style="list-style-type: none"> ・新たな認定募集 ・認定に係る専門部会、認定委員会を開催 ・文化財等地域資源について、史蹟を守る会・観光ボランティアガイドの会と協議 					
②成果を表す 指標	指標名称	R 元年度	R2 年度	R3年度	単位	算定根拠
	i 認定(新規)	4	0	1	件	
	ii 認定(総数)	12	16	17	件	
	iii					
② 事務事業のコスト		6	306	11	千円	

IV 評価・検討

①課題(目的に対する現状など)	<ul style="list-style-type: none"> ・新たなブランド認定品や品質管理体制、及びブランドイメージの維持。
-----------------	---

令和3年度 平群町政策基本体系表(個別シート)

事務事業名	農業基盤整備事業	担当課名	款	項	目
		観光産業課	6	1	3

I 事務事業の目的・概要

①目的	対象	農地・農業用施設	意図 (対象をどうするのか)	営農環境の保全
②事務事業の概要		<ul style="list-style-type: none"> 農地・農業用施設の維持管理、老朽化施設の更新を行い、地域資源の適切な管理の推進や良好な営農環境の保全を図る。 		
③環境分析(事業開始からの状況変化や、今度の見込・住民意向など)		<ul style="list-style-type: none"> 農業用水路や農業用施設の経年劣化により、補修では機能不良を起こしているため、更新が必要な施設が多くみられる。 		

II 改革・改善内容(=事務事業をよりよく実施するための方策)

令和4年度を含む今後の予定・取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> 良好な営農環境の保全のため、維持管理や補修に対して補助金を交付。 椿井橋本ダムの詳細設計を実施し、整備工事を行う。
----------------------	--

III 事務事業の成果やコストの状況

① 令和3年度の事業概要及び執行状況	<ul style="list-style-type: none"> 農道及び農業用施設の地元工事に対し8団体へ、また多面的機能支払交付金を8団体へ交付した。 					
②成果を表す指標	指標名称	R元年度	R2年度	R3年度	単位	算定根拠
	i 地元施工補助	12	13	8	団体	
	ii 多面的機能支払	9	8	8	団体	
	iii 土地改良施設適正化	2	2	0	団体	
③事務事業のコスト		11,642	11,046	8,881	千円	

IV 評価・検討

① 課題(目的に対する現状など)	<ul style="list-style-type: none"> 農業者数の減少により、地元施工工事に係る負担が困難になりつつある。
------------------	---

令和3年度 平群町政策基本体系表(個別シート)

事務事業名	地籍調査事業	担当課名	款	項	目
		観光産業課	6	1	12

I 事務事業の目的・概要

①目的	対象	町内全域	意図 (対象をどうするのか)	土地利用の推進
② 事務事業の概要		<ul style="list-style-type: none"> ・土地の最も重要な基礎情報である所有者、地番、地目、面積を調査し、地籍の明確化を図る。 ・未調査地区(1.43 km²)の完了、未認証地区(5.06 km²)の解消に向けて、計画的に事業を実施する。 		
③環境分析(事業開始からの状況変化や、今後の見込・住民意向など)		<ul style="list-style-type: none"> ・昭和46年度より地籍調査事業に着手。平成17年度～平成24年度休止。 ・平成25年度より再着手。令和2年度より休止。 ・令和3年度末時点の進捗率81.13%(調査済面積:19.39 km²÷平群町面積23.90 km²) 		

II 改革・改善内容(=事務事業をよりよく実施するための方策)

令和4年度を含む今後の予定・取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> ・財政状況を見据えて事業を再開し、未調査地区である白石畑、平等寺・下垣内・三里の一部地区の調査を実施し、事業完了を目指す。
----------------------	---

III 事務事業の成果やコストの状況

① 令和3年度の事業概要及び執行状況	<ul style="list-style-type: none"> ・橈原の一部地区(0.32 km²)の地籍調査について、全調査工程が終了し、認証承認を得て、成果としてとりまとめた。 						
②成果を表す指標	指標名称	R元年度	R2年度	R3年度	単位	算定根拠	
	i	地籍調査進捗率	81.13	81.13	81.13	%	
	ii						
	iii						
事務事業のコスト		8,044	7,122	6,578	千円		

IV 評価・検討

①課題(目的に対する現状など)	<ul style="list-style-type: none"> ・財政状況から事業を休止中、順次再開する必要がある。
-----------------	--

令和3年度 平群町政策基本体系表(個別シート)

事務事業名	農業集落排水事業	担当課名	款	項	目
		上下水道課	6	1	39

I 事務事業の目的・概要

①目的	対象	農業集落排水事業区域	意図 (対象をどうするのか)	快適な住環境
②事務事業の概要		・農業集落排水事業区域(福貴畑地区)の生活環境の向上・農業用排水の水質保全。		
③環境分析(事業開始からの状況変化や、今度の見込・住民意向など)		・農業集落排水事業(福貴畑地区) 平成18年度から供用開始。		

II 改革・改善内容(=事務事業をよりよく実施するための方策)

令和4年度を含む 今後の予定・取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> ・接続率達成目標 66.7% (60件/90件) ・処理施設、管渠、マンホールポンプの良好な維持管理を実施する。 ・未接続者への啓蒙普及による加入促進。
--------------------------	--

III 事務事業の成果やコストの状況

①令和3年度の事業概要及び執行状況	・処理施設、管渠、マンホールポンプの維持管理を実施。					
②成果を表す指標	指標名称	R元年度	R2年度	R3年度	単位	算定根拠
i	接続件数	58	58	59	件	
ii	接続率	64.4	64.4	65.6	%	
iii						
③事務事業のコスト		35,773	32,875	33,681	千円	

IV 評価・検討

①課題(目的に対する現状など)	・接続率向上及び施設の老朽化に伴う維持管理経費の増加。
-----------------	-----------------------------

令和3年度 平群町政策基本体系表(個別シート)

事務事業名	消費者行政事業	担当課名	款	項	目
		観光産業課	7	1	1

I 事務事業の目的・概要

①目的	対象	住民	意図 (対象をどうするのか)	安全安心な消費生活
②事務事業の概要		<ul style="list-style-type: none"> ・消費生活におけるトラブルに関して、トラブル解決のための助言やあっせん、情報提供等、消費者被害防止に努める。 		
③環境分析(事業開始からの状況変化や、今度の見込・住民意向など)		<ul style="list-style-type: none"> ・消費生活相談窓口 (毎週月曜日 午前 10 時から午後 4 時まで ※受付午後 3 時まで 役場) 		

II 改革・改善内容(=事務事業をよりよく実施するための方策)

令和 4 年度を含む 今後の予定・取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> ・相談業務について生駒郡 4 町で連携し事業を実施。 ・様々な消費者被害に関する情報発信。 ・啓発出前講座の実施。
----------------------------	---

III 事務事業の成果やコストの状況

① 令和 3 年度の事業概要 及び執行状況		<ul style="list-style-type: none"> ・生駒郡 4 町のどの窓口でも相談可能となるよう連携。 ・啓発出前講座を実施し、消費者被害の啓発及び防止に努めた。 ・特殊詐欺防止対策機器の購入助成を実施。 					
②成果を表す 指標	指標名称	R 元年度	R2 年度	R3年度	単位	算定根拠	
	i	相談件数	65	52	57	件	相談窓口来庁、電話
	ii	出前講座	2	2	1	回	町内団体対象
	iii	詐欺防止機器	—	129	36	件	4/1~3/31 受付分
② 事務事業のコスト		435	1,973	488	千円		

IV 評価・検討

①課題(目的に対する現状など)	<ul style="list-style-type: none"> ・身近な被害事例や消費生活に関わる情報を、広報やホームページ、フェイスブック等を活用し、啓発強化を図る。
-----------------	--

令和3年度 平群町政策基本体系表(個別シート)

事務事業名	商工業者支援事業	担当課名	款	項	目
		観光産業課	7	1	2

I 事務事業の目的・概要

① 目的	対象	町内の商工業者	意図 (対象をどうするのか)	事業資金の融資斡旋
② 事務事業の概要		<ul style="list-style-type: none"> ・町内商工業の成長発展及び振興に資するため、5万円を上限とし、債務保証に係る保証料の補給を実施。 ・町内中小企業の金融の円滑化を図るため、事業資金の融資斡旋を行い、その利息に対し1%の利子補給を実施。 		
③環境分析(事業開始からの状況変化や、今度の見込・住民意向など)		<ul style="list-style-type: none"> ・債務保証料補給(昭和60～) ・小口融資利子補給(平成13～) 取扱い金融機関 (南都銀行平群支店、奈良中央信用金庫平群支店、奈良信用金庫龍田川支店)		

II 改革・改善内容(=事務事業をよりよく実施するための方策)

令和4年度を含む今後の予定・取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> ・町内金融機関との情報共有に努める。 ・積極的な制度周知に努める。
----------------------	--

III 事務事業の成果やコストの状況

① 令和3年度の事業概要及び執行状況	<ul style="list-style-type: none"> ・町内商工業の成長発展及び振興に資するため、5万円を上限とし、債務保証に係る保証料の補給を実施。 ・町内中小企業の金融の円滑化を図るため事業資金の融資斡旋を行い、その利息に対し1%の利子補給を実施。 					
②成果を表す指標	指標名称	R元年度	R2年度	R3年度	単位	算定根拠
	i 利子補給件数	13	15	16	件	
	ii 小口融資申請件数	10	1	5	件	
	iii 債務保証料補給	33	10	17	件	
② 事務事業のコスト		1,541	643	1,032	千円	

IV 評価・検討

①課題(目的に対する現状など)	・今後も継続して実施。
-----------------	-------------

令和3年度 平群町政策基本体系表(個別シート)

事務事業名	観光資源整備事業	担当課名	款	項	目
		観光産業課	7	1	3

I 事務事業の目的・概要

①目的	対象	町内の観光資源	意図 (対象をどうするのか)	観光振興
③ 事務事業の概要		<ul style="list-style-type: none"> ・信貴山城、椿井城といった観光資源を活用し、町の PR・観光振興に繋げる。 		
③環境分析(事業開始からの状況変化や、今後の見込・住民意向など)		<ul style="list-style-type: none"> ・椿井城跡大のぼり支柱設置(平成 30 年) ・信貴山観光案内看板改修(平成 28 年)、松永屋敷周辺保全活動(平成 27 年～) ・信貴山エリア大門ダム周辺ルート案内看板設置(平成 29～30 年) ・信貴山展望台手すり改修(平成 31 年)信貴山案内看板改修(令和 3 年) 		

II 改革・改善内容(=事務事業をよりよく実施するための方策)

令和 4 年度を含む 今後の予定・取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> ・住民協働により保全活動を行う。
----------------------------	--

III 事務事業の成果やコストの状況

① 令和 3 年度の事業概要 及び執行状況	<ul style="list-style-type: none"> ・信貴山城址保全研究会と協働で信貴山城跡松永屋敷周辺の保全と活用に向け、奈良県の補助事業を活用し整備を実施。講演会等へ協力。 ・椿井城跡整備組合等と協働で登上道の修復及び整備を実施。 					
②成果を表す 指標	指標名称	R 元年度	R2 年度	R3年度	単位	算定根拠
i	観光客(信貴山)	665,590	292,400	623,000	人	
ii	整備清掃(松永屋敷)	9	7	9	回	
② 事務事業のコスト		686	3	730	千円	

IV 評価・検討

① 課題(目的に対する現状など)	<ul style="list-style-type: none"> ・町内を周遊し、消費行動へ繋げていく取り組み。
------------------	---

令和3年度 平群町政策基本体系表(個別シート)

事務事業名	観光PR事業	担当課名	款	項	目
		観光産業課	7	1	3

I 事務事業の目的・概要

① 目的	対象	町内の観光資源	意図 (対象をどうするのか)	観光振興
② 事務事業の概要		<ul style="list-style-type: none"> ・町内にある豊かな歴史・文化資源や農産物、田園的な資源環境等の魅力を住民と行政、民間事業者等が連携して、町内観光拠点整備の促進や拠点間のネットワーク化を図ることで、観光客の増加や回遊性の向上を目指します。 		
③環境分析(事業開始からの状況変化や、今度の見込・住民意向など)		<ul style="list-style-type: none"> ・観光ホームページ 平成 25 年から(令和 3 年更新) ・観光パンフレット改訂(平成 30 年)、ハイキングマップ改訂(平成 30 年) ・多言語パンフレット作製(平成 31 年)、観光公式インスタグラム(令和 3 年) 		

II 改革・改善内容(=事務事業をよりよく実施するための方策)

令和 4 年度を含む 今後の予定・取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> ・道の駅、観光ボランティアガイドの会との連携 ・様々な媒体を活用した情報発信を行う。 ・時代まつり ・WEST NARA 広域観光推進協議会との連携。 ・11 月 13 日に大阪府、奈良県、柏原市、三郷町と連携し「信貴山サイクロロゲイニング RALLY2022」を平群町で開催。
----------------------------	--

III 事務事業の成果やコストの状況

① 令和 3 年度の事業概要 及び執行状況	<ul style="list-style-type: none"> ・観光地域づくり法人(DMO)が中心となり、近隣 1 市 5 町 4 協会が連携し、広域的周遊や滞在型観光を目指す「WEST NARA 広域観光推進協議会準備室」を立ち上げ、PR用の統一デザインポスターを作製した。 ・観光ホームページのリニューアルと観光公式インスタグラムを新たに開設し、広く情報発信に努めた。 					
② 成果を表す 指標	指標名称	R 元年度	R2 年度	R3年度	単位	算定根拠
	i くまがしステーション	293,738	257,725	286,087	人	利用者数
	ii 観光客(信貴山)	665,590	292,400	623,000	人	戒壇巡り入場者他
	iii 観光客(千光寺)	19,200	19,450	17,150	人	宿泊、日帰り利用者
③ 事務事業のコスト		2,338	1,985	2,739	千円	

IV 評価・検討

①課題(目的に対する現状など)	<ul style="list-style-type: none"> ・観光資源の発掘や活用方法の検討、観光客ニーズの把握など認知度向上に向けた取り組み強化
-----------------	---

令和3年度 平群町政策基本体系表(個別シート)

事務事業名	道路整備事業	担当課名	款	項	目
		都市建設課	8	2	1

I 事務事業の目的・概要

①目的	対象	町道	意図 (対象をどうするのか)	適切な整備と管理
②事務事業の概要		<ul style="list-style-type: none"> ・幹線道路網の整備を促進し、住民の利便性の向上を図るとともに生活道路や歩道の適切な整備と管理を進め、歩行者や車が安全かつ円滑に移動できる道路ネットワークを構築する。 		
③環境分析(事業開始からの状況変化や、今後の見込・住民意向など)		<ul style="list-style-type: none"> ・町内道路の舗装版の損傷が進み、地元要望も多いので財源の確保が課題となっている。また、道路施設(橋梁・トンネル等)も築年数が相応に経過しているため今後、大規模な修繕を要する可能性が高い。 		

II 改革・改善内容(=事務事業をよりよく実施するための方策)

令和4年度を含む今後の予定・取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> ・国庫補助(社会資本整備総合交付金)事業 橋梁点検(7橋)、橋梁補修工事(見晴橋)、歩道整備(緑ヶ丘中央北循環路線)、舗装工事(6路線)、通学路の合同点検に伴う維持補修や地元要望等・道路維持管理に関する詳細設計業務等
----------------------	--

III 事務事業の成果やコストの状況

① 令和3年度の事業概要及び執行状況	<ul style="list-style-type: none"> ・国庫補助(社会資本整備総合交付金)事業 橋梁点検(6橋)、橋梁補修工事(新椿木大橋外4橋)、歩道整備(緑ヶ丘循環路線)、舗装工事(8路線)・通学路の安全対策(合同点検) ・防止柵、路面標示 					
②成果を表す指標	指標名称	R元年度	R2年度	R3年度	単位	算定根拠
	i 維持補修工事	106,735	237,199	125,559	千円	
	ii					
	iii					
③事務事業のコスト		—	—	—	千円	

IV 評価・検討

①課題(目的に対する現状など)	<ul style="list-style-type: none"> ・厳しい財政状況の中、計画的な予算確保が困難
-----------------	--

令和3年度 平群町政策基本体系表(個別シート)

事務事業名	竜田川遊歩道整備事業	担当課名	款	項	目
		都市建設課	8	2	1

I 事務事業の目的・概要

①目的	対象	竜田川	意図 (対象をどうするのか)	竜田川の水辺・花・歴史等の資源を活かした整備
②事務事業の概要		<ul style="list-style-type: none"> ・「竜田川まほろば遊歩道整備構想」に基づき、まちのシンボルである竜田川の魅力づくりを、住民と行政との協働での取組みとして実施。 		
③環境分析(事業開始からの状況変化や、今度の見込・住民意向など)		<ul style="list-style-type: none"> ・竜田川まほろば遊歩道整備構想(平成19年策定・平成30年改訂) ・竜田川沿い遊歩道の整備(清掃活動等)以外にも、鯉のぼりの掲揚や桜のライトアップ等のイベントも行い、住民の遊歩道整備活動への関心は高まっている。 		

II 改革・改善内容(=事務事業をよりよく実施するための方策)

令和4年度を含む今後の予定・取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> ・桜のライトアップ(中止)、鯉のぼり(4月18日～5月23日) 協議会開催(10月予定)、竜田川クリーンキャンペーン(11月予定)、桜の植樹(3月予定)
----------------------	---

III 事務事業の成果やコストの状況

① 令和3年度の事業概要及び執行状況	<ul style="list-style-type: none"> ・竜田川まほろば遊歩道整備構想に基づき、竜田川まほろば遊歩道推進の会を中心に、清掃美化活動などの取り組みを実施した。 					
②成果を表す指標	指標名称	R元年度	R2年度	R3年度	単位	算定根拠
	i 竜田川清掃活動等	5	5	5	回	
	ii					
	iii					
③事務事業のコスト		—	—	—	千円	

IV 評価・検討

①課題(目的に対する現状など)	<ul style="list-style-type: none"> ・会員数の減少や高齢化が課題。
-----------------	---

令和3年度 平群町政策基本体系表(個別シート)

事務事業名	都市計画事業	担当課名	款	項	目
		都市建設課	8	4	1

I 事務事業の目的・概要

① 目的	対象	市街地整備	意図 (対象をどうするのか)	計画的な土地利用
① 事務事業の概要		<ul style="list-style-type: none"> ・都市計画マスタープラン等において、平群町の都市の骨格の将来像を明確に示し、計画的な土地利用の誘導を推進。 ・また開発等が行われる際には、周辺環境に配慮した土地利用となるよう指導等に努める。 		
③環境分析(事業開始からの状況変化や、今度の見込・住民意向など)		<ul style="list-style-type: none"> ・都市計画マスタープラン 平成 20 年策定⇒平成 30 年(第 1 回改訂)計画期間 20 年 		

II 改革・改善内容(=事務事業をよりよく実施するための方策)

令和 4 年度を含む 今後の予定・取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> ・大規模空閑地・バイパス沿線の市街化促進 ・令和 5 年 5 月の都市計画決定(第 6 回定期線引き)にかかる事務。
----------------------------	---

III 事務事業の成果やコストの状況

① 令和 3 年度の事業概要 及び執行状況	<ul style="list-style-type: none"> ・開発等にかかる関係法令に基づく協議、経由事務、許認可事務。 ・令和 5 年 5 月の都市計画決定(第 6 回定期線引き)にかかる事務。 					
②成果を表す 指標	指標名称	R 元年度	R2 年度	R3 年度	単位	算定根拠
i	地区計画導入地区数	6	6	6	地区	
ii						
iii						
② 事務事業のコスト		—	—	—	千円	

IV 評価・検討

① 課題(目的に対する現状など)	<ul style="list-style-type: none"> ・今後の定住促進(人口増)と町の活性化には、住宅ストックの確保とバイパス沿線に商業施設の集積を図る必要があるが、現時点では有効な土地利用が必ずしも図られていない。
------------------	---

令和3年度 平群町政策基本体系表(個別シート)

事務事業名	空き家対策・利活用	担当課名	款	項	目
		都市建設課	8	4	1

I 事務事業の目的・概要

①目的	対象	住宅	意図 (対象をどうするのか)	活用・流通促進
① 事務事業の概要		<ul style="list-style-type: none"> ・人口流出、高齢化の影響により、増加が見込まれる空き家で管理不全の空き家に対する適正指導。 ・空き家の利活用や流通を促進する施策を実施し、定住促進(人口増)を目指す。 		
③環境分析(事業開始からの状況変化や、今後の見込・住民意向など)		<ul style="list-style-type: none"> ・空き家等の適正管理に関する条例 平成 27 年～ ・空き家バンク制度実施要綱 平成 27 年～(令和 3 年 一部改正) ・老朽空き家等除却補助金交付要綱 令和 3 年～ 		

II 改革・改善内容(=事務事業をよりよく実施するための方策)

令和 4 年度を含む 今後の予定・取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> ・空き家の実態調査 ・管理不全の空き家に対する指導 ・空き家バンク制度の運営(空家登録、所有者と利用希望者のマッチング、成約に至るまでの仲介相談、支援等。 ・不動産関連業者と連携し、空き家バンクの登録物件の増加を図る。
----------------------------	--

III 事務事業の成果やコストの状況

① 令和 3 年度の事業概要 及び執行状況		<ul style="list-style-type: none"> ・空き家等の適正管理指導通知 →令和 3 年度実績 21 件(敷地雑草、樹木等の繁茂対応) ・空き家バンク制度(令和 4 年 3 月末現在:登録物件 21 件) →令和 3 年度実績 成約 7 件 ・空き家等対策協議会(令和 4 年 2 月) 特定空き家等の認定 3 件 				
②成果を表す 指標	指標名称	R 元年度	R2 年度	R3 年度	単位	算定根拠
i	空き家戸数	—	—	—	件	実態調査中
ii	空き家バンク	7	3	21	件	年間登録件数
iii	耐震化率	78.1	79.5	79.5	%	目標 90%
③事務事業のコスト		—	—	—	千円	

IV 評価・検討

① 課題(目的に対する現状など)	<ul style="list-style-type: none"> ・管理指導を行っている空き家の不適正管理物件で、所有者等が未対応に対する措置。 ・比較的良質な空き家物件を空き家バンクに登録するなど利活用を図っていきたいが、所有者等の意向に左右される。
------------------	--

令和3年度 平群町政策基本体系表(個別シート)

事務事業名	公園管理事業	担当課名	款	項	目
		都市建設課	8	4	3

I 事務事業の目的・概要

①目的	対象	公園・緑地	意図 (対象をどうするのか)	適正に管理
②事務事業の概要		<ul style="list-style-type: none"> ・公園遊具等について、適切な修繕や改修等の維持管理を行い、安全で安心して利用できる公園づくりを目指すとともに、公園の多様な利用を推進する。 		
③環境分析(事業開始からの状況変化や、今後の見込・住民意向など)				

II 改革・改善内容(=事務事業をよりよく実施するための方策)

令和4年度を含む 今後の予定・取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> ・適宜、巡回点検し、良好な状態で維持管理。 ・地域で実施される除草・清掃等の美化活動に対するの支援。 ・“山のぼっけ”花いっぱいサポータークラブ制度の広報活動と新規会員・実施団体の募集。
--------------------------	---

III 事務事業の成果やコストの状況

① 令和3年度の事業概要及び執行状況	<ul style="list-style-type: none"> ・平群北、中央公園は指定管理者との年度協定に基づき管理委託。 ・町内公園施設を適宜、巡回点検し、良好な状態で維持管理。 ・“山のぼっけ”花いっぱいサポータークラブへの活動支援。 						
②成果を表す指標	指標名称	R元年度	R2年度	R3年度	単位	算定根拠	
	i	1人当たり面積	8.29	8.34	8.38	m ²	目標 8.2
	ii						
	iii						
③事務事業のコスト		24,857	27,631	22,248	千円	公園管理費	

IV 評価・検討

①課題(目的に対する現状など)	<ul style="list-style-type: none"> ・遊具のみならず公園施設全体の老朽化が進み今後、改修や修繕等にかかる費用が見込まれる。隔年で保守点検業務を実施しており、その点検結果に基づいて計画的な管理運営が必要。
-----------------	---

令和3年度 平群町政策基本体系表(個別シート)

事務事業名	下水道事業	担当課名	款	項	目
		上下水道課	8	4	4

I 事務事業の目的・概要

①目的	対象	住民	意図 (対象をどうするのか)	快適な住環境
②事務事業の概要		<ul style="list-style-type: none"> ・下水道の整備による河川の水質浄化等により、清潔で快適に暮らせる生活環境づくりを推進。 ・集中浄化槽区域(緑ヶ丘地区)の公共下水道への早期接続に向け取り組む。 		
③環境分析(事業開始からの状況変化や、今後の見込・住民意向など)		<ul style="list-style-type: none"> ・下水道事業については、平成 18 年度より供用開始。 ・平成 30 年度より、公営企業会計へ移行。 		

II 改革・改善内容(=事務事業をよりよく実施するための方策)

令和 4 年度を含む 今後の予定・取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> ・緑ヶ丘 C 地区管きょ改築工事(発注済) ・緑ヶ丘 D 地区不明水詳細調査業務(発注済) ・緑ヶ丘 C 地区流量調査業務(発注準備中)
----------------------------	--

III 事務事業の成果やコストの状況

① 令和 3 年度の事業概要 及び執行状況	<ul style="list-style-type: none"> ・緑ヶ丘地区の一部の不明水詳細調査業務 ・緑ヶ丘 B 地区管きょ改築工事 【普及率】 10,682 人／18,561 人=57.6% 【水洗化率】10,034 人／10,682 人=93.9% 					
②成果を表す 指標	指標名称	R 元年度	R2 年度	R3 年度	単位	算定根拠
i	普及率	54.6	54.7	57.6	%	
ii	水洗化率	93.3	93.9	93.9	%	
iii						
② 事務事業のコスト		697,010	611,730	632,823	千円	

IV 評価・検討

① 課題(目的に対する現状など)	・緑ヶ丘 D 地区の令和 4 年度供用開始に向けた工事及び調査業務。
------------------	------------------------------------

令和3年度 平群町政策基本体系表(個別シート)

事務事業名	住宅管理	担当課名	款	項	目
		都市建設課	8	5	1

I 事務事業の目的・概要

①目的	対象	公営住宅	意図 (対象をどうするのか)	適正な管理
② 事務事業の概要		<ul style="list-style-type: none"> ・老朽化した住宅が多いことから、長期的に良好な維持管理をするため、住宅の老朽度合に対応した計画的で効果的な修繕を行い、長寿命化を図る。 		
③環境分析(事業開始からの状況変化や、今後の見込・住民意向など)		<ul style="list-style-type: none"> ・平群町公営住宅等長寿命化計画(令和3年3月改訂) 		

II 改革・改善内容(=事務事業をよりよく実施するための方策)

令和4年度を含む 今後の予定・取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> ・住環境維持のため、除草・清掃、施設の補修を、適宜実施。 ・家賃の収納対策の実施。 ・公営住宅空き家の修繕工事の実施 ・空き家となった老朽化住宅の除却。 ・火災警報器の交換。
--------------------------	---

III 事務事業の成果やコストの状況

①令和3年度の事業概要 及び執行状況	<ul style="list-style-type: none"> ・住環境維持のため、除草・清掃、施設の補修を、適宜実施。 ・家賃収納対策業務を実施。 ・公営住宅空き家の改修工事の実施 ・空き家となった老朽化住宅の除却。 ・老朽化木造住宅から特定入居による移転。 					
②成果を表す 指標	指標名称	R元年度	R2年度	R3年度	単位	算定根拠
	i 浴室設備設置数	102	102	102	戸	目標 102 戸
	ii 防水工事实施数	102	102	102	戸	目標 102 戸
	iii					
③ 事務事業のコスト		29,066	12,422	16,130	千円	住宅管理費

IV 評価・検討

①課題(目的に対する現状など)	<ul style="list-style-type: none"> ・老朽化木造住宅の解消に向けた特定入居等の推進。 ・良好な住環境を目的に、長寿命化に向けた計画的な維持管理。 ・家賃滞納整理と滞納者納付促進対策。
-----------------	---

令和3年度 平群町政策基本体系表(個別シート)

事務事業名	非常備消防 管理事業	担当課名	款	項	目
		総務防災課	9	1	1

I 事務事業の目的・概要

①目的	対象	消防団	意図 (対象をどうするのか)	充実・活動支援
②事務事業の概要		<ul style="list-style-type: none"> ・消防団をはじめとする消防組織、体制を充実する。 		
③環境分析(事業開始からの状況変化や、今後の見込・住民意向など)		<ul style="list-style-type: none"> ・消防団員の増員及び女性消防団員の加入。 ・コロナ禍における消防団員の処遇等に対する検討。 		

II 改革・改善内容(=事務事業をよりよく実施するための方策)

令和3年度を含む 今後の予定・取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> ・消防団員募集(広報掲載予定)。 ・地域の火災予防の周知啓発チラシの配布。 ・生駒南支部(郡4町)の連携活動(礼式訓練、出初式)。
--------------------------	---

III 事務事業の成果やコストの状況

①令和2年度の事業概要 及び執行状況	<ul style="list-style-type: none"> ・消防団年間出動件数 (火災6回、行方不明者捜索0回、訓練2回、警戒2回、役員会4回、その他5回) ・生駒南支部(郡4町)の連携活動(礼式訓練、出初式) ・消防団車両及び資機材の管理 ・奈良県広域消防組合との連携(合同実務研修、礼式訓練) 					
②成果を表す 指標	指標名称	R元年度	R2年度	R3年度	単位	算定根拠
i	消防団員数	64	65	69	人	
ii						
iii						
③事務事業のコスト		224,305	218,874	217,864	千円	

IV 評価・検討

①課題(目的に対する現状など)	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢化による消防団の組織継続が課題。
-----------------	---

令和3年度 平群町政策基本体系表(個別シート)

事務事業名	消防施設整備事業	担当課名	款	項	目
		総務防災課	9	1	2

I 事務事業の目的・概要

①目的	対象	地域の消防力	意図 (対象をどうするのか)	強化・充実
②事務事業の概要		・消防水利弱点地域の解消を図るなどの防火環境を充実する。		
③環境分析(事業開始からの状況変化や、今度の見込・住民意向など)		・消防水利弱点地域解消計画に基づく計画的、効率的な事業実施。		

II 改革・改善内容(=事務事業をよりよく実施するための方策)

令和4年度を含む 今後の予定・取り組み内容	・老朽化した消火栓の更新 ・消防水利弱点地域の解消に向けた計画的な整備
--------------------------	--

III 事務事業の成果やコストの状況

①令和3年度の事業概要 及び執行状況	・地域の消防施設整備のため、自治会に対し補助金を交付(5自治会)。 ・老朽化した消火栓(初香台1ヶ所)取替。					
②成果を表す 指標	指標名称	R元年度	R2年度	R3年度	単位	算定根拠
	i					
	ii					
	iii					
③事務事業のコスト		2,393	1,137	652	千円	

IV 評価・検討

①課題(目的に対する現状など)	・消防水利弱点地域の解消に向けた計画的な整備が課題。
-----------------	----------------------------

令和3年度 平群町政策基本体系表(個別シート)

事務事業名	官学連携事業	担当課名	款	項	目
		教育委員会	10	1	2・9

I 事務事業の目的・概要

①目的	対象	こども園・小学校・中学校	意図 (対象をどうするのか)	官学連携による 教育の充実
②事務事業の概要		<ul style="list-style-type: none"> ・大学等と連携協定を締結し、専門的見地から様々な施策実施に関する指導、助言、アドバイスなどの支援、共同による事業実施、また、学生ボランティアによる教育活動支援など、教育分野における様々な取り組みで連携を深める。 		
③環境分析(事業開始からの状況変化や、今度の見込・住民意向など)		<ul style="list-style-type: none"> ・教育施策充実のため、大学との包括連携協定締結。平成26年度:奈良教育大学、平成27年度:奈良大学。大学側も大学の研究活動、新たな教育課程、学生育成面で実践の場を必要としており、町も教職員の研修、実践の取り組みに関する専門的見地からの指導、助言など、官学連携による施策の充実が期待できる。 		

II 改革・改善内容(=事務事業をよりよく実施するための方策)

令和4年度を含む 今後の予定・取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> ・教育分野における様々な取り組みにおいて、連携を深める。 ・コロナ禍の折、制約があるものの、連携大学を始め、複数の大学から教育実習や学生ボランティアの受入で、各校園の教育活動支援を進める。
--------------------------	---

III 事務事業の成果やコストの状況

①令和3年度の事業概要 及び執行状況	<ul style="list-style-type: none"> ・連携大学を始め複数の大学へアプローチし、教職を目指す大学生を対象に学生ボランティアの募集や、連携協力の依頼。コロナ禍で活動の制約があったが、複数の学生ボランティアが各小・中学校、こども園の現場で、学習支援や放課後こども教室、保育教育など、様々な学校・園支援活動に取り組んだ。 					
②成果を表す 指標	指標名称	R元年度	R2年度	R3年度	単位	算定根拠
i	学生ボランティア数	20	15	10	人	
ii	大学数	8	7	6	校	
iii						
③事務事業のコスト		0	0	0	千円	ボランティア

IV 評価・検討

①課題 (目的に対する現状など)	<ul style="list-style-type: none"> ・学生ボランティアは、コロナの影響もあり、参加が伸び悩み。大学側との連携事業を深めていくためには、具体の施策の検討、各校園も含めた、人的体制や経費が必要。
---------------------	---

令和3年度 平群町政策基本体系表(個別シート)

事務事業名	学校図書館の充実強化	担当課名	款	項	目
		教育委員会	10	2・3	1・2

I 事務事業の目的・概要

①目的	対象	小学校・中学校	意図 (対象をどうするのか)	読書活動の充実
②事務事業の概要		<ul style="list-style-type: none"> 学校図書館の充実、子どもたちの読書活動推進のため、小・中学校に専任の学校司書を配置し、町立図書館との連携や、保護者・ボランティアの協力のもと充実強化を図る。就学前から小・中学校まで、一貫・連携した読書活動を推進することで、子どもたちの成長に寄与する。 		
③環境分析(事業開始からの状況変化や、今後の見込・住民意向など)		<ul style="list-style-type: none"> 国は平成29年度からの「第5次学校図書館整備等5か年計画」策定。学校司書の配置(1.5校1人)、蔵書・新聞の配置経費等の必要な交付税措置を行うなど、学校図書館の充実強化が求められており、本町でも読書活動等を通じた子どもたちの学びに力をいれ、国の方針等に基づき、段階的に充実を図っている。 		

II 改革・改善内容(=事務事業をよりよく実施するための方策)

令和4年度を含む今後の予定・取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> 現在の体制維持に努め、学校、町立図書館が連携を図り、保護者、ボランティアの協力のもと、学校図書館の充実を図る。
----------------------	---

III 事務事業の成果やコストの状況

①令和3年度の事業概要及び執行状況	<ul style="list-style-type: none"> 町立図書館との連携、保護者、ボランティアの協力を頂き、図書整理や利便性の向上、調べ学習における新しい情報や資料を充実し、児童生徒に必要な本を確保し、年々段階的に充実強化を図っており、教職員の教材提供や資料提供にも寄与した。 					
②成果を表す指標	指標名称	R元年度	R2年度	R3年度	単位	算定根拠
	i 学校司書数	4	4	4	人	
	ii 小学校図書達成率	124	124	145	%	
	iii 中学校図書達成率	116	116	147	%	
③事務事業のコスト		8,059	8,714	8,725	千円	司書・図書購入費

IV 評価・検討

①課題 (目的に対する現状など)	<ul style="list-style-type: none"> 利便性の向上、調べ学習における新しい情報や資料を充実、児童生徒に必要な図書を確保。
---------------------	---

令和3年度 平群町政策基本体系表(個別シート)

事務事業名	就学援助事業 (要保護・準要保護)	担当課名	款	項	目
		教育委員会	10	2・3	2

I 事務事業の目的・概要

① 目的	対象	要保護・準要保護世帯	意図 (対象をどうするのか)	就学に係る教育扶助
② 事務事業の概要		<ul style="list-style-type: none"> ・経済的理由によって就学が困難である児童生徒の世帯に対し、国が定める就学援助制度に基づき、学用品や給食費、入学準備金等の就学に係る必要な費用の援助を行う。 		
③ 環境分析(事業開始からの状況変化や、今度の見込・住民意向など)		<ul style="list-style-type: none"> ・教育の機会均等を目的に、国が就学援助制度を創設。準要保護世帯は、国庫補助事業であったが、国の三位一体改革による単独事業に位置付け(交付税措置)。毎年度、支給単価の増額や入学前の就学援助支給(平成 29 年度～)などの見直しが行われて、制度の拡充が図られている。 		

II 改革・改善内容(=事務事業をよりよく実施するための方策)

令和 4 年度を含む 今後の予定・取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> ・国が定める制度、基準、町要綱等に基づき、適正に支給事業を進める。
----------------------------	---

III 事務事業の成果やコストの状況

① 令和 3 年度の事業概要 及び執行状況	<ul style="list-style-type: none"> ・経済的理由によって就学が困難な児童生徒の保護者に対し、学用品や給食費等、必要な援助を行った。平成 29 年度より入学前(3 月)に新入学学用品費を支給。 					
② 成果を表す 指標	指標名称	R 元年度	R2 年度	R3 年度	単位	算定根拠
i	小学校認定者数	106	108	100	人	
ii	中学校認定者数	49	46	45	人	
iii						
③ 事務事業のコスト		13,187	11,389	11,268	千円	就学援助費決算額

IV 評価・検討

① 課題 (目的に対する現状など)	<ul style="list-style-type: none"> ・認定業務を円滑に行い、速やかな支給に努める。世帯の所得状況により財政負担が変動する。
----------------------	---

令和3年度 平群町政策基本体系表(個別シート)

事務事業名	教育環境施設の整備	担当課名	款	項	目
		教育委員会	10	2・3	5・6

I 事務事業の目的・概要

① 目的	対象	小学校・中学校	意図 (対象をどうするのか)	適正な施設整備
② 事務事業の概要		<ul style="list-style-type: none"> 学校施設の老朽改善、長寿命化保全、トイレ改修、空調設置などの子どもたちの教育のためのより良い教育環境の整備を、国庫補助金等の財源を確保し、効率的、効果的、計画的に実施する。 		
③環境分析(事業開始からの状況変化や、今度の見込・住民意向など)		<ul style="list-style-type: none"> 学校施設は躯体、設備等の老朽化が進んでいる状況であり、維持補修及び長寿命化保全が必要である。またトイレの洋式化、空調設備設置などより良い教育環境の整備への要望も多く、国庫補助金等を活用し計画的に事業を実施する。 		

II 改革・改善内容(=事務事業をよりよく実施するための方策)

令和4年度を含む今後の予定・取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> 国庫補助金を活用し、小中学校の特別教室へ空調設備を新設。 (平群北小学校理科室、平群南小学校視聴覚室、平群中学校調理室) 平群中学校給食用リフトの老朽化改善。
----------------------	--

III 事務事業の成果やコストの状況

①令和3年度の事業概要及び執行状況	<ul style="list-style-type: none"> 学校施設改善交付金を活用し、北小学校、中学校のトイレ改修工事を実施 					
②成果を表す指標	指標名称	R元年度	R2年度	R3年度	単位	算定根拠
i	トイレ洋式化率	61.8	68.4	76.4	%	※児童生徒が使用する主たるトイレ
③事務事業のコスト		0	23,666	26,948	千円	大規模改造決算額

IV 評価・検討

①課題 (目的に対する現状など)	<ul style="list-style-type: none"> 学校施設の老朽化が著しく、懸案事項が多岐に渡ること。 国庫補助金の活用及び、必要な財源の継続的な確保。
---------------------	--

令和3年度 平群町政策基本体系表(個別シート)

事務事業名	小・中学校 情報教育推進事業	担当課名	款	項	目
		教育委員会	10	2・3	7

I 事務事業の目的・概要

①目的	対象	小学校・中学校	意図 (対象をどうするのか)	ICT教育の推進
②事務事業の概要		<ul style="list-style-type: none"> ・国のGIGAスクール構想等の方針に基づき、校内LANや学習用情報端末等のICT教育環境を整備、充実を進めて、これらを効果的に活用し、新学習指導要領などの児童・生徒の学びの向上、個に応じた学習を進める。 		
③環境分析(事業開始からの状況変化や、今後の見込・住民意向など)		<ul style="list-style-type: none"> ・国「学校ICT環境整備 5年計画(2018～2022年度)」、令和元年末「GIGAスクール構想」を策定。これらの方針、計画等に基づき、令和2年度には全国一斉に学習用情報端末等のICT教育環境の整備が進む。令和3年度からはこれらの本格的な運用開始。効果的な活用を通じて児童・生徒の学びを深めるなど、教育の質の向上が求められている。 		

II 改革・改善内容(=事務事業をよりよく実施するための方策)

令和4年度を含む 今後の予定・取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> ・自宅学習にも取り組める学習ツールの導入、研修等を通じ教職員のスキル向上、保護者説明会(ICT教育とタブレット端末の活用について)等みで、ICT教育の推進を図る。
--------------------------	---

III 事務事業の成果やコストの状況

①令和3年度の事業概要 及び執行状況	<ul style="list-style-type: none"> ・整備した校内LAN、学習用情報端末、大型電子モニター等のICT教育環境の本格運用。コロナ禍でもありオンライン方式などの授業等での創意工夫、効果的な活用で、子どもたちの学びを深める実践的な取り組みや、 ・研修等を通じた教職員のICT教育スキル向上を進める。 					
②成果を表す 指標	指標名称	R元年度	R2年度	R3年度	単位	算定根拠
	i 学習用端末	145	1,300	1,300	台	小・中・整備台数 (教員分含む)
	ii					
	iii					
③事務事業のコスト		10,027	136,686	21,415	千円	

IV 評価・検討

①課題 (目的に対する現状など)	<ul style="list-style-type: none"> ・ICT教育環境の効果的な活用、教職員のスキル向上、保護者説明会等を実施し、ICT教育の推進を図る。
---------------------	--

令和3年度 平群町政策基本体系表(個別シート)

事務事業名	外国語教育事業	担当課名	款	項	目
		教育委員会	10	3	2

I 事務事業の目的・概要

① 目的	対象	こども園・小学校・中学校	意図 (対象をどうするのか)	外国語教育の推進
②事務事業の概要		<ul style="list-style-type: none"> ・町教育大綱等の方針に基づき、国際感覚を身に着ける教育、魅力ある学校教育として、子どもたちが外国語を聞く読む話す書くことの言語活動を通し、コミュニケーション能力を育成するため、こども園・小・中学校へ外国語指導助手を派遣するなど発達段階、教育課程に応じた外国語(英語)教育を推進する。 		
③環境分析(事業開始からの状況変化や、今度の見込・住民意向など)		<ul style="list-style-type: none"> ・グローバル化の進展などの変化に対応し、学校教育では、新学習指導要領で外国語が正式な教科として教育課程に位置付けられ、小学校では令和2年度から全面実施で、より実践的で効果的な外国語教育が求められている。 		

II 改革・改善内容(=事務事業をよりよく実施するための方策)

令和4年度を含む今後の予定・取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> ・こども園・小・中学校へ外国語指導助手を派遣し、子どもたちの発達段階や各校園のカリキュラムに応じた実践的な外国語教育を実践。小学校では県の英語教育改善プランの実証校として、県英語専科教員、担任、ALTが連携して、他のモデルとなるような実践的な取り組みを進める。各校園での実践状況を分析し、今後の取り組みの向上に繋げていく。
----------------------	---

III 事務事業の成果やコストの状況

①令和3年度の事業概要及び執行状況	<ul style="list-style-type: none"> ・町教育大綱等の方針に基づき、こども園・小・中学校へALTを派遣(計3名)し、子どもたちの発達段階、教育課程に応じた外国語教育を実践。 ・小学校では新学習指導要領で外国語教科の本格実施。県英語専科教員、担任、ALTが連携し授業の実践。コロナ禍で制約の多い中、各校園で創意工夫を重ねた外国語教育を実践。 						
②成果を表す指標	指標名称	R元年度	R2年度	R3年度	単位	算定根拠	
	i	ALT	3	3	3	人	ALT派遣事業委託費
	ii						
	iii						
③事務事業のコスト		7,561	8,058	7,776	千円		

IV 評価・検討

①課題 (目的に対する現状など)	<ul style="list-style-type: none"> ・各校園のカリキュラムに対応した効果的、効率的なALT派遣体制の工夫。担任を主体に教員指導力の向上。小学校高学年で専科教育への移行に伴い継続した専科教員の確保。
---------------------	--

令和3年度 平群町政策基本体系表(個別シート)

事務事業名	青少年地域活動事業	担当課名	款	項	目
		教育委員会	10	5	1

I 事務事業の目的・概要

①目的	対象	青少年	意図 (対象をどうするのか)	体験機会の提供
②事務事業の概要		<ul style="list-style-type: none"> ・学校や家庭では体験できない遊びや人のつながり、地域の連帯意識を高め、他人への思いやりを育めるよう推進する。 		
③環境分析(事業開始からの状況変化や、今度の見込・住民意向など)		<ul style="list-style-type: none"> ・青少年の積極的な地域活動への参加 		

II 改革・改善内容(=事務事業をよりよく実施するための方策)

令和4年度を含む 今後の予定・取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症の状況を見ながら、実施検討する。
--------------------------	---

III 事務事業の成果やコストの状況

①令和3年度の事業概要 及び執行状況	<ul style="list-style-type: none"> ・町子連やボーイスカウト等への地域活動への参加を推進し、活動を通して自立心やリーダー力を養う等、健全育成に努めている。新型コロナウイルス感染症の関係で事業は規模を縮小して実施。(例年行事のうち子どもカーニバル、わくわくフェスタ、ウォークラリー、野外活動を実施) 					
②成果を表す 指標	指標名称	R元年度	R2年度	R3年度	単位	算定根拠
i	地域活動	1	0	0	件	団体の活動
ii						
iii						
① 事務事業のコスト		21	0	0	千円	

IV 評価・検討

①課題(目的に対する現状など)	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症の影響から中止している事業もあり、実施手法について検討する必要がある。
-----------------	--

令和3年度 平群町政策基本体系表(個別シート)

事務事業名	青少年健全育成事業 (青少年補導委員会)	担当課名	款	項	目
		教育委員会	10	5	1

I 事務事業の目的・概要

①目的	対象	青少年	意図 (対象をどうするのか)	非行防止
②事務事業の概要		<ul style="list-style-type: none"> ・青少年の健全育成及び青少年の非行化防止対策をはかるため、青少年補導委員会と連携し、非行防止の取り組みを推進する。 		
③環境分析(事業開始からの状況変化や、今度の見込・住民意向など)		<ul style="list-style-type: none"> ・毎月青少年補導委員会において青少年の非行状況について情報交換を行うと共に、町内を巡回し補導活動を実施。 		

II 改革・改善内容(=事務事業をよりよく実施するための方策)

令和3年度を含む 今後の予定・取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> ・青少年補導委員会と連携して、非行防止の取り組みを進める。
--------------------------	---

III 事務事業の成果やコストの状況

①令和年度の事業概要 及び執行状況	<ul style="list-style-type: none"> ・青少年補導委員において、毎月の定例委員会及び町内の巡回補導を実施。 (町内コンビニ、書店等溜まり場となりやすい箇所での補導活動) 					
②成果を表す 指標	指標名称	R元年度	R2年度	R3年度	単位	算定根拠
i	補導委員	21	16	16	人	
ii	巡回補導	1回/月	1回/月	1回/月	回	
iii						
② 事務事業のコスト		1,071	816	816	千円	

IV 評価・検討

①課題(目的に対する現状など)	<ul style="list-style-type: none"> ・情報共有により、少年の問題行動を未然に防止できるようにする。
-----------------	---

令和3年度 平群町政策基本体系表(個別シート)

事務事業名	成人式事業	担当課名	款	項	目
		教育委員会	10	5	1

I 事務事業の目的・概要

①目的	対象	新成人	意図 (対象をどうするのか)	激励・祝福
②事務事業の概要		・成人式を行う年度内に満 20 歳となる新成人を激励・祝福する。		
③環境分析(事業開始からの状況変化や、今度の見込・住民意向など)		・1月の第2月曜日「成人の日」に開催。		

II 改革・改善内容(=事務事業をよりよく実施するための方策)

令和4年度を含む 今後の予定・取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> ・令和4年度は名称を「二十歳のつどい」に変更する。 ・新型コロナウイルス感染症の状況を見ながら、開催目的に照らし実施。
--------------------------	--

III 事務事業の成果やコストの状況

①令和3年度の事業概要及び執行状況	・令和4年1月10日(成人の日)に実施した。対象は175人、参加者は125人であった。						
②成果を表す指標	指標名称	R元年度	R2年度	R3年度	単位	算定根拠	
	i	参加者	106	141	125	人	
	ii	対象者	152	177	175	人	
	iii						
③事務事業のコスト		161	245	231	千円		

IV 評価・検討

①課題 (目的に対する現状など)	<ul style="list-style-type: none"> ・令和4年4月から民法の改正により、成年年齢が18歳に引き下げられることから、式典名称等周知についても検討。 ・これまでどおり20歳を対象に開催の方針。
---------------------	---

令和3年度 平群町政策基本体系表(個別シート)

事務事業名	文化財保護事業	担当課名	款	項	目
		教育委員会	10	5	4

I 事務事業の目的・概要

① 目的	対象	町内所在文化財	意図 (対象をどうするのか)	適正に保全・保護
② 事務事業の概要		<ul style="list-style-type: none"> ・国民的財産である文化財を適正に保全・保護するとともに、史跡と調和したまちづくりを目指し、地域の文化遺産の価値を町民が共有できる環境づくりを推進する。 		
③ 環境分析(事業開始からの状況変化や、今後の見込・住民意向など)		<ul style="list-style-type: none"> ・平成31年4月の文化財保護法改正以降、文化財の保存と活用のバランス(特に活用面)の重視や、保存活用に向けた地域計画の策定が推奨されるようになっている。こうした動向を踏まえ、同法や平群町文化財保護条例等の関連法規に則りながら、地域に遺された様々な文化財を総体的に把握していくことを目指す。 		

II 改革・改善内容(=事務事業をよりよく実施するための方策)

令和4年度を含む 今後の予定・取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> ・調査研究事業として福貴の旧家所蔵の古文書等調査を実施する(R4)。 ・主要古墳維持管理事業として、草刈り等を実施する(例年)。 ・指定文化財管理や文化財保護団体の活動に対し補助を行う(例年)。 ・総合文化センターにて文化財企画展示を実施する。
--------------------------	---

III 事務事業の成果やコストの状況

① 令和3年度の事業概要 及び執行状況		<ul style="list-style-type: none"> ・吉新・旧庄屋家所蔵の庶民信仰資料調査(R3年度事業)が完了した。 ・主要古墳等6か所の草刈り等維持管理を実施した。 ・総合文化センターにて文化財企画展示を実施した。 				
② 成果を表す 指標	指標名称	R元年度	R2年度	R3年度	単位	算定根拠
	i 文化財調査報告書	0	0	0	冊	刊行数(印刷部数)
	ii 古文書調査	2か年で923		約1,450	点	調査完了した史料点数
	iii 文化財企画展示	0	2	1	件	総合文化センター展示
③ 事務事業のコスト		2,095	1,150	1,509	千円	人件費を除く保護費

IV 評価・検討

① 課題 (目的に対する現状など)	<ul style="list-style-type: none"> ・主要古墳の適切な維持管理。 ・古文書調査等成果の活用方法の検討。
----------------------	--

令和3年度 平群町政策基本体系表(個別シート)

事務事業名	家庭教育学級 開講事業	担当課名	款	項	目
		教育委員会	10	5	5

I 事務事業の目的・概要

①目的	対象	児童生徒の家庭	意図 (対象をどうするのか)	家庭教育力の向上
②事務事業の概要		<ul style="list-style-type: none"> ・家庭教育に関する学習の機会を持ち、家庭の教育力を身につけるため、小中学校、こども園で家庭教育学級を開講する。 ・親同士が子育てについて話し合ったり、生活していく上で必要となる知識の習得となる講習会などを実施。 		
③環境分析(事業開始からの状況変化や、今度の見込・住民意向など)		<ul style="list-style-type: none"> ・令和2・3年度は、新型コロナの影響で実施を一部見合わせたが、親同士が子育てやしつけなど家庭教育に関する学習機会を今後も設けていく。 		

II 改革・改善内容(=事務事業をよりよく実施するための方策)

令和4年度を含む 今後の予定・取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症により方法の検討。 ・親同士が子育てやしつけについて学習ができる機会の検討。
--------------------------	--

III 事務事業の成果やコストの状況

①令和3年度の事業概要 及び執行状況	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症予防のため一部実施を見合わせていたが、対策をしながら講習会など5講座を実施し、延べ受講者数78人が参加。 ・オンラインを活用しての進路学習や安全教室、やさしいチェアヨガなど新しい取り組みがあった。 					
②成果を表す 指標	指標名称	R元年度	R2年度	R3年度	単位	算定根拠
	i 講座	12	2	5	回	
	ii 受講者数	265	380	78	人	
	iii					
③事務事業のコスト		91	17	35	千円	

IV 評価・検討

①課題(目的に対する現状など)	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症の状況をみながら実施内容等を検討。
-----------------	--

令和3年度 平群町政策基本体系表(個別シート)

事務事業名	へぐり友遊教室開催事業	担当課名	款	項	目
		教育委員会	10	5	5

I 事務事業の目的・概要

①目的	対象	住民	意図 (対象をどうするのか)	生涯学習の提供
②事務事業の概要		<ul style="list-style-type: none"> 生涯学習の推進を目的に多様化する学習意欲に応じ、町民一人ひとりが生涯にわたり学ぶことができ、人生をいきいきと過ごすための基礎となる学習講座を開講。 		
③環境分析(事業開始からの状況変化や、今後の見込・住民意向など)		<ul style="list-style-type: none"> 教育基本法 		

II 改革・改善内容(=事務事業をよりよく実施するための方策)

令和4年度を含む今後の予定・取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> 今後住民ニーズや参加状況をみて講座内容の検討を行う。
----------------------	--

III 事務事業の成果やコストの状況

①令和3年度の事業概要及び執行状況	<ul style="list-style-type: none"> 住民だれもが気軽に参加できる生涯学習講座「へぐり友遊教室」 10講座を開催、109名の参加があった。 					
②成果を表す指標	指標名称	R元年度	R2年度	R3年度	単位	算定根拠
	i 講座数	19	13	10	教室	
	ii 参加者数	371	136	109	人	
	iii					
③事務事業のコスト		95	88	70	千円	

IV 評価・検討

①課題(目的に対する現状など)	<ul style="list-style-type: none"> 住民の多様なニーズに沿った講座の検討
-----------------	--

令和3年度 平群町政策基本体系表(個別シート)

事務事業名	人権問題地区別 懇談会事業	担当課名	款	項	目
		教育委員会	10	5	6

I 事務事業の目的・概要

①目的	対象	住民	意図 (対象をどうするのか)	人権啓発・相談
②事務事業の概要		<ul style="list-style-type: none"> ・人と人をつなぎ「ここに住んで良かった」といえる平群町を目指し、地域での実情に応じた、身近な暮らしの中にある人権問題を中心に懇談会を実施する。 		
③環境分析(事業開始からの状況変化や、今度の見込・住民意向など)		<ul style="list-style-type: none"> ・人権教育推進プラン(奈良県教育委員会) 平成 30 年度改定 		

II 改革・改善内容(=事務事業をよりよく実施するための方策)

令和4年度を含む 今後の予定・取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症の状況を見ながら開催方法等について検討。
--------------------------	---

III 事務事業の成果やコストの状況

①令和3年度の事業概要 及び執行状況	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症の状況により、開催中止(令和2～3年度)とした。 ・開催中止の広報を行った。 					
②成果を表す 指標	指標名称	R元年度	R2年度	R3年度	単位	算定根拠
i	開催回数	8	中止	中止	人	
ii	団体数	23	中止	中止	人	
iii	参加人数	141	中止	中止		
③事務事業のコスト		65			千円	

IV 評価・検討

①課題 (目的に対する現状など)	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症の状況や、参加してもらえる地区懇のあり方を根本的に検討・協議していく必要がある。
---------------------	---

令和3年度 平群町政策基本体系表(個別シート)

事務事業名	人権教育学習 講座開催事業	担当課名	款	項	目
		教育委員会	10	5	6

I 事務事業の目的・概要

①目的	対象	住民	意図 (対象をどうするのか)	人権啓発・相談
②事務事業の概要		・人権教育推進のために人権教育指導者学習講座を開催。		
③環境分析(事業開始からの状況変化や、今後の見込・住民意向など)		・町職員の研修を兼ねて開催。		

II 改革・改善内容(=事務事業をよりよく実施するための方策)

令和4年度を含む 今後の予定・取り組み内容	・新型コロナウイルス感染症により中止 参考:令和元年度 2回実施
--------------------------	-------------------------------------

III 事務事業の成果やコストの状況

①令和3年度の事業概要 及び執行状況	・新型コロナウイルス感染症の状況により、開催中止とした。					
②成果を表す 指標	指標名称	R元年度	R2年度	R3年度	単位	算定根拠
i	講座数	2	中止	中止	人	
ii	参加者	96	中止	中止	人	
iii						
③事務事業のコスト		776			千円	

IV 評価・検討

①課題 (目的に対する現状など)	・新型コロナウイルス感染症の状況により、より効果的な人権教育の手法や周知方法を検討。
---------------------	--

令和3年度 平群町政策基本体系表(個別シート)

事務事業名	人権交流センター運営事業	担当課名	款	項	目
		教育委員会	10	5	22

I 事務事業の目的・概要

① 目的	対象	住民	意図 (対象をどうするのか)	人権啓発・相談
② 事務事業の概要		<ul style="list-style-type: none"> ・人権啓発・相談事務の拠点として、総合文化センター内に人権交流センターを設置。様々な人権問題についての啓発に取り組む。 		
③ 環境分析(事業開始からの状況変化や、今度の見込・住民意向など)		<ul style="list-style-type: none"> ・令和2年度より総合文化センターに移転 		

II 改革・改善内容(=事務事業をよりよく実施するための方策)

令和4年度を含む今後の予定・取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症の状況をみながら、地域交流促進事業や地域交流活動が継続できるよう努める。
----------------------	---

III 事務事業の成果やコストの状況

① 令和3年度の事業概要及び執行状況	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症対策(室内の換気、机等の除菌)を講じたうえで、地域交流促進事業(子ども習字教室・子どもそろばん教室・平群人権生活学校)を開講。短期教室「小物クリスマスリース作り」「手作りアクリルたわし教室」を実施しました。 					
② 成果を表す指標	指標名称	R元年度	R2年度	R3年度	単位	算定根拠
i	地域交流促進	5	3	5	教室	
ii						
iii						
③ 事務事業のコスト		650	325	445	千円	

IV 評価・検討

① 課題 (目的に対する現状など)	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症の状況をみながら、少しずつ緩和しながら実施していきたい。
----------------------	---

令和3年度 平群町政策基本体系表(個別シート)

事務事業名	公民館教室	担当課名	款	項	目
		教育委員会	10	5	22

I 事務事業の目的・概要

① 目的	対象	住民	意図 (対象をどうするのか)	学べる機会の提供
② 事務事業の概要		<ul style="list-style-type: none"> 「出会い・ふれあい・学び合い」をテーマに、地域に根差した学習を提供する場として開催。誰もが生涯を通じて学び、「心身ともに豊かな時間を平群で」と言ってもらえる地域社会実現に向けて、住民の主体的な学習や活動を促進する。 		
③環境分析(事業開始からの状況変化や、今後の見込・住民意向など)		<ul style="list-style-type: none"> 社会教育法第20条 平群町公民館設置及び管理に関する条例 		

II 改革・改善内容(=事務事業をよりよく実施するための方策)

令和4年度を含む 今後の予定・取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> 幅広い世代の受講生が集まり学べる講座となるよう情報収集し、魅力ある講座づくりを検討。
--------------------------	--

III 事務事業の成果やコストの状況

①令和3年度の事業概要及び執行状況	<ul style="list-style-type: none"> 一般講座 17 講座、体験型講座 1 講座、養成講座 3 講座を実施 					
②成果を表す指標	指標名称	R 元年度	R2 年度	R3 年度	単位	算定根拠
	i 一般講座	16	14	17	講座	
	ii 体験型講座	1	2	1	講座	
	iii 養成講座	2	3	3	講座	
③ 事務事業のコスト		755	750	880	千円	

IV 評価・検討

①課題 (目的に対する現状など)	<ul style="list-style-type: none"> 講座開講にあたり、部屋の割り振りや準備物等について講師と綿密な打ち合わせを重ねる。
---------------------	---

令和3年度 平群町政策基本体系表(個別シート)

事務事業名	図書館運営事業	担当課名	款	項	目
		教育委員会	10	5	22

I 事務事業の目的・概要

① 目的	対象	図書館	意図 (対象をどうするのか)	適正に運営
② 事務事業の概要		<ul style="list-style-type: none"> ・町の情報センター、生涯学習の拠点施設として、情報の質・量の充実を図るとともに、講座等の事業を開催。 		
③ 環境分析(事業開始からの状況変化や、今度の見込・住民意向など)		<ul style="list-style-type: none"> ・令和2年度から総合文化センターに移転 		

II 改革・改善内容(=事務事業をよりよく実施するための方策)

令和4年度を含む今後の予定・取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症の対応と、アフターコロナに備え充実したサービスがいつでも提供できるよう環境整備を行う(ICゲート等の整備)。
----------------------	---

III 事務事業の成果やコストの状況

① 令和3年度の事業概要及び執行状況	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症により一部利用制限をしながら運営。 ・図書館としての認知向上に向けたPRを実施。 					
② 成果を表す指標	指標名称	R元年度	R2年度	R3年度	単位	算定根拠
	i 蔵書数	67,390	55,269	55,172	冊	
	ii 利用者数	13,062	16,780	22,287	人	
	iii					
③ 事務事業のコスト		25,710	36,478	31,906	千円	

IV 評価・検討

① 課題 (目的に対する現状など)	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染防止対策を講じ、安全・安心な利用環境を確保したうえでの利用促進策の構築。
----------------------	--

令和3年度 平群町政策基本体系表(個別シート)

事務事業名	子ども読書活動推進事業	担当課名	款	項	目
		教育委員会	10	5	22

I 事務事業の目的・概要

① 目的	対象	子ども	意図 (対象をどうするのか)	読書活動の支援
②事務事業の概要		<ul style="list-style-type: none"> ・赤ちゃんから中学生まで、町内すべての子どもの育ちを支えるため、読書環境を整えていく。 ・学校・こども園との連携を強化し、読書活動を推進する。 		
③環境分析(事業開始からの状況変化や、今度の見込・住民意向など)		<ul style="list-style-type: none"> ・平成 25 年 3 月「平群町子ども読書活動推進計画」を策定。 		

II 改革・改善内容(=事務事業をよりよく実施するための方策)

令和 4 年度を含む 今後の予定・取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> ・関係機関との調整を密にし、子供が読書に親しむ機会の充実、環境の整備・充実を図る。
----------------------------	---

III 事務事業の成果やコストの状況

①令和 3 年度の事業概要 及び執行状況	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染防止のため、イベントの実施やボランティアの方々との連携協力は控えてた。 					
②成果を表す 指標	指標名称	R 元年度	R2 年度	R3 年度	単位	算定根拠
i	イベント	43	0	0	回	
ii	ブックスタート	150	0	0	冊	
iii						
② 事務事業のコスト		0	0	0	千円	

IV 評価・検討

①課題 (目的に対する現状など)	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症の状況を見ながら、新しい取り組みを検討。
---------------------	---

令和3年度 平群町政策基本体系表(個別シート)

事務事業名	総合文化センターの運営	担当課名	款	項	目
		教育委員会	10	5	22

I 事務事業の目的・概要

① 目的	対象	総合文化センター	意図 (対象をどうするのか)	適正な運営
② 事務事業の概要		<ul style="list-style-type: none"> ・住民の多様化するニーズに応え、幅広く学習機会を提供できる場、文化・芸術活動が活発に行える場として、適正な運営管理を行う。 		
③ 環境分析(事業開始からの状況変化や、今度の見込・住民意向など)		<ul style="list-style-type: none"> ・令和2年4月11日開館。 ・新型コロナウイルス感染拡大防止のため、会議室等について、定員の半分の人数で使用してもらっている。 		

II 改革・改善内容(=事務事業をよりよく実施するための方策)

令和4年度を含む今後の予定・取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染防止対策を講じながら、少しずつ緩和しながら開館したい。
----------------------	---

III 事務事業の成果やコストの状況

① 令和3年度の事業概要及び執行状況	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染防止対策を講じながら、一部利用制限のうえ開館している。 						
② 成果を表す指標	指標名称	R元年度	R2年度	R3年度	単位	算定根拠	
	i	利用者数	—	27,167	37,150	人	
	ii						
	iii						
③ 事務事業のコスト		—	35,571	36,870	千円		

IV 評価・検討

① 課題 (目的に対する現状など)	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染防止対策を講じながら、「新しい生活様式」を踏まえた施設運営方針の立案。
----------------------	---

令和3年度 平群町政策基本体系表(個別シート)

事務事業名	体育施設管理事業	担当課名	款	項	目
		教育委員会	10	6	1

I 事務事業の目的・概要

① 目的	対象	体育施設	意図 (対象をどうするのか)	適正に管理
② 事務事業の概要		<ul style="list-style-type: none"> ・町民のスポーツの普及、体力向上と健康の増進の場として、総合スポーツセンター等の体育施設の管理、運営(指定管理)、及び学校体育施設を、学校開放事業として実施している。 		
③環境分析(事業開始からの状況変化や、今度の見込・住民意向など)		<ul style="list-style-type: none"> ・総合スポーツセンター 平成5年供用開始 ・指定管理者 平成30年～令和4年(5年間)(公財)平群町地域振興センター 		

II 改革・改善内容(=事務事業をよりよく実施するための方策)

令和4年度を含む 今後の予定・取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> ・次期(令和4～7年)指定管理者の選定事務。 ・ウォーターパーク跡地のあり方について検討。
--------------------------	--

III 事務事業の成果やコストの状況

①令和3年度の事業概要 及び執行状況	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナウイルス感染症の影響で、施設の利用制限を行いつつ、利用者の安全を第一に、円滑な体育施設の維持管理、運営を行った。令和3年12月議会で議決を頂き町内のウォーターパークを廃止した。 ・学校開放事業として、町立学校の体育施設を学校教育に支障のない範囲で開放した。 						
②成果を表す 指標	指標名称	R元年度	R2年度	R3年度	単位	算定根拠	
	i	SS体育館利用率	73	52	73	%	
	ii	SSグラント利用率	28	17	37	%	
	iii	SSテニスコート利用率	42	41	52	%	
③ 事務事業のコスト		50,000	50,000	44,600	千円		

IV 評価・検討

① 課題(目的に対する現状など)	<ul style="list-style-type: none"> ・各施設では、建物、設備等の老朽化が進行しており、大規模な改修が必要である。
------------------	--

令和3年度 平群町政策基本体系表(個別シート)

事務事業名	社会体育事業	担当課名	款	項	目
		教育委員会	10	6	1

I 事務事業の目的・概要

①目的	対象	住民	意図 (対象をどうするのか)	スポーツ活動の推進
②事務事業の概要		<ul style="list-style-type: none"> ・町民のスポーツの普及、体力向上と健康の増進を図り、スポーツ活動を通じて選手相互が親睦を深めたり、教室を通じて技術の向上を図る。 ・住民ひとり1スポーツを目指し、町スポーツ推進委員・町スポーツ協会、総合型地域スポーツクラブ「くまがしクラブ」や(公財)平群町地域振興センターと連携し誰もが気軽に参加できる軽スポーツを推進する。 ・町民体育大会に代わる誰もが参加しやすい新たな体育イベントについて、関係団体と連携し協議を進める。 		
③環境分析(事業開始からの状況変化や、今後の見込・住民意向など)		<ul style="list-style-type: none"> ・令和3年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、年間を通じた町やスポ協主催の大会については中止となった。 		

II 改革・改善内容(=事務事業をよりよく実施するための方策)

令和4年度を含む今後の予定・取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> ・感染拡大の収束が見えてきた中でコロナ禍で中止してきた行事につきまして、リニューアルしながら開催を目指していきたいと考えています。 ・軽スポーツデイの開催。
----------------------	---

III 事務事業の成果やコストの状況

① 令和3年度の事業概要及び執行状況	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナウイルス感染症により大会等について、全て開催中止とした。 ・町体の見直しを図るため、見直し検討委員会を立ち上げ検討した。 						
②成果を表す指標	指標名称	R元年度	R2年度	R3年度	単位	算定根拠	
	i	クラブ数	41	38	38	団体	町スポーツ協会加盟
	ii	町体参加者	中止	中止	中止	人	
	iii	スポーツ教室	105	中止	中止	数	水泳教室
② 事務事業のコスト		1,830	634	27	千円		

IV 評価・検討

① 課題(目的に対する現状など)	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢化に伴い、競技スポーツの人口が減少。大会の在り方について、出来るだけ住民のニーズにも添える形での企画・運営を工夫しながら、若い世代の参加を促進していきたい。
------------------	---

令和3年度 平群町政策基本体系表(個別シート)

事務事業名	学校給食事業	担当課名	款	項	目
		教育委員会	10	6	2

I 事務事業の目的・概要

目的	対象	小・中学校 児童生徒	意図 (対象をどうするのか)	義務教育における 学校給食の提供
事務事業の概要		<ul style="list-style-type: none"> 学校給食法等の法令に基づき、子供たちの食育も含め、適切な学校給食の提供が定められている。児童・生徒に適切な栄養摂取による健康の保持増進を行い、安全でおいしい学校給食を提供する。 		
③環境分析(事業開始からの状況変化や、今度の見込・住民意向など)		<ul style="list-style-type: none"> 昭和 46 年 4 月から小・中学校における安心・安全な給食を提供しており、1 日当たり小・中学校併せて約 1,300 食の給食を提供している。 		

II 改革・改善内容(=事務事業をよりよく実施するための方策)

令和 4 年度を含む 今後の予定・取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> 手洗いの徹底や密にならない作業で、安全、安心で美味しい給食を提供すると共に、施設の安定的な維持管理とメンテナンスを実施する。また、原油・食品価格の高騰により給食食材にも影響が出てきているため、国の交付金を活用し 6 月、7 月、9 月の 3 ヶ月分の給食費の無償化を実施しするなど、保護者負担の軽減対策等を行う。
----------------------------	--

III 事務事業の成果やコストの状況

① 令和 3 年度の事業概要及び執行状況	<ul style="list-style-type: none"> 厳選した食材で給食メニューや調理に工夫を凝らし、栄養バランスのとれた美味しい給食を提供。併せて衛生管理の徹底を行い、給食調理業務を進めている。また、地産地消の推進やアレルギー対策を徹底している。 <p style="text-align: center;">【1 日当たり小学校 855 食、中学校 410 食の計 1,265 食、年間総提供数 224,045 食】</p>					
②成果を表す指標	指標名称	R 元年度	R2 年度	R3年度	単位	算定根拠
	i 給食提供数	215,039	220,350	224,045	食	小・中の年間食数
	ii					
	iii					
② 事務事業のコスト		97,671	118,330	96,018	千円	

IV 評価・検討

①課題 (目的に対する現状など)	<ul style="list-style-type: none"> 物価が高騰する中、安定した栄養価のある美味しい給食を児童・生徒に提供しなければならない。
---------------------	--

令和3年度 平群町政策基本体系表(個別シート)

事務事業名	給食・地産地消の推進 (地元産食材)	担当課名	款	項	目
		教育委員会	10	6	2

I 事務事業の目的・概要

① 目的	対象	小・中学校 児童生徒	意図 (対象をどうするのか)	学校給食の提供
② 事務事業の概要		<ul style="list-style-type: none"> 子どもたちが、地元農業を通じて地域への理解を深め、ふるさとへの愛情をはぐくむと共に、新鮮で安全な食材を提供することにより、心豊かで健康な生活の基礎を培うことを目的に地産地消を推進する。 		
③環境分析(事業開始からの状況変化や、今後の見込・住民意向など)		<ul style="list-style-type: none"> 地元野菜の使用率は野菜全体の使用量の比較において、令和2年度の5.6%から令和3年度は8.8%に増加している。 地域の農業者等から調達することで、産業振興にも寄与する。 		

II 改革・改善内容(=事務事業をよりよく実施するための方策)

令和4年度を含む 今後の予定・取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> 従来の生産者に加え、新たな生産者の発掘により地産地消の推進を図っていくと共に、今年度は新たに地元生産者を小学校に招き、子どもたちと顔を見て意見交換することで、農業を身近に感じ、興味を持ってもらい食べ物への感謝の気持ちを抱くことができるよう進める。
--------------------------	---

III 事務事業の成果やコストの状況

①令和3年度の事業概要 及び執行状況	<ul style="list-style-type: none"> 平群町産農産品の品目、使用量が増えてきている。 特産品のぶどう(デラウェア)のマフィンの提供。 					
②成果を表す 指標	指標名称	R元年度	R2年度	R3年度	単位	算定根拠
i	地元食材	18	11	18	品目	給食使用実績
ii						
iii						
③事務事業のコスト					千円	

IV 評価・検討

①課題 (目的に対する現状など)	<ul style="list-style-type: none"> 地元野菜の使用品目を増やすことも進めながら、使用量も増やしていくことも必要。
---------------------	--